

第4回大阪マラソン共同調査研究 ーチャリティとツーリズムー



2015年3月27日

関西大学・読売新聞社

目 次

はじめに

<趣旨>

<調査実施概要>

<調査結果の概要>

I、チャリティランナー

1. あなた自身について
2. チャリティランナーの活動について
3. チャリティランナー参加の理由
4. チャリティランナーの運営について
5. 満足度の判別分析
チャリティランナー自由記述（抜粋）

II、海外ランナー

1. あなた自身について
2. 海外ランナーの活動について
3. 参加目的について
4. 参加後の感想について
5. 満足度の判別分析
海外ランナー自由記述（抜粋）

III、観 客

1. あなた自身について
2. 観客の活動について
3. 応援の理由
4. 大阪マラソンの応援について

IV、一般ランナー

1. あなた自身について
2. 参加の理由
3. 大会運営の評価
4. 一般ランナーの活動について
5. チャリティについて
6. 満足度の判別分析
一般ランナー自由記述（抜粋）

おわりに

はじめに

<趣旨>

2014年10月26日、大阪の街を3万人のランナーが駆け抜けた「第4回大阪マラソン」は、130万人の観客の応援によって、盛会のうちに幕を閉じた。

本研究は、第1回大会（2011年）から第3回大会（2013年）まで、大阪マラソンに参加したランナー、ボランティア、観客を対象に、大会参加の意識、大会運営に対する評価、チャリティマラソンの社会的意義などを明らかにすると同時に、大阪マラソンの課題を解決し、今後の大会運営に活かすことを目的とするアンケート調査を実施してきた。その結果については、大阪マラソンのホームページで公開し、大会の運営改善に寄与してきた。

今回、4回目を迎えるにあたり、これまで実施してきた一般ランナーと観客調査に加えて、大阪マラソンの特徴としてのチャリティランナーと海外ランナーに対して特別に調査を行った。このことによって、大阪マラソンの特徴を生かした大会運営に役立つデータを提供できるものと考えている。

なお、本研究は大阪マラソン組織委員会の依頼を受けて、読売新聞大阪本社と関西大学の共同調査研究によって実施したものである。

<調査実施概要>

第4回大阪マラソン 調査実施概要

	ランナー調査			当日観客調査	
	一般	海外ランナー	チャリティランナー		
調査期間	10/28-11/7			10/26	
発送数	16,089	1,665	218		
調査方式	web			街頭聞き取り調査	
集計数	5,752			569	
	5,213	455	84		
内訳		日本語	16	中之島	80
		英語	140	北御堂	90
		中国語(繁体字)	287	なんば	142
		中国語(簡体字)	12	インテックス 大阪	257
		ハングル	0		
回収率	36%	27%	39%		

<調査結果の概要>

今回の調査では、回収率が一般ランナーで36%、海外ランナーで27%、チャリティランナーで39%と、高くはないが、ただサンプル数としては、調査の信頼性を損ねるものではない。また、今回も自由記述に多くの方が記入して下さり、その関心の高さを知ることができた。

以下に、大阪マラソンの特徴であるチャリティランナーと海外ランナーの調査結果の概要について述べたのちに、観客と一般ランナーの調査結果の概要について述べる。

I、チャリティランナーについて

チャリティランナーとは、組織委員会の公募により選定された社会活動を行う13団体から、支援したい団体を選んで、インターネット上の専用サイトで広く協力者（サポーター）を募り、目標額（7万円以上）の寄付を集めて（チャレンジ）、出場権を得るランナーのことである。第3回大会から試験的に導入され、この第4回大会からは、人数枠を拡大して本格的に運営された。350人の募集に対して、375人がチャレンジに成功し、チャリティランナーとして参加した。



そのチャリティランナーに対する調査結果の概要は次のとおりである。

これまでの大阪マラソンへの参加は、一般ランナーとして参加した経験のある人が45.2%と半分近くいた。また、チャリティランナーとして参加した人も27.4%あり、3割の人がリピーターであるといえる。

これまで市民マラソンへの参加経験がなく、初めて参加する人が16.7%であり、2回目の参加の人が40.5%であり、半数以上が初心者であるといえる。

チャリティ先を決めた理由では、テーマに関心があったから（39.3%）、寄付先団体の活動に関心があったから（36.9%）が4分の3を占めている。チャリティ団体の情報提供の工夫が必要であるといえる。

どれだけのチャリティ協力者（サポーター）を集めたのかを訊いてみると、45.2%の人が自分で7万円を支払って、サポーターを集めていないことになる。寄付を集めることがチャリティランナーの役割であることを理解してもらう工夫が必要であろう。

サポーターをだれに頼んだかでは、知人・友人（41.7%）、家族・親戚（35.7%）にお願いしたと身近な人を中心に募金活動をした人が多い。また広くSNSを活用してお願いした人（32.1%）もいたが、サポーターの数の少なさからして、有効な方法になっていないと推察できる。さらに、初めから募金活動をしなかった人も35.7%あり、募金活動に関する方法のガイダンス等が必要であるといえる。

チャリティランナーとして走って見ての満足度は、「大変満足した」（59.5%）、「まあまあ満足した」（36.9%）と、満足している人が9割を超えている。ただ、チャリティランナーの参加の申込方法については、不満を持つ人が多い。また、満足度の判別分析の結果、チャリティランナーの不満を規定する運営上の要因として、「チャリティアンバサダーを置くこと」があがっており、このあり方について検討する必要がある。また、「寄付先団体との当日の交流」に加えて、「寄付先団体との事前交流」、「チャリティランナー同士交流」があがっており、チャリティランナーについては、「交流」の工夫が満足度を左右

するといえそうである。

来年もチャリティランナーとして走りたいと思っている人は、91.7%となっており、満足度と同様、高い割合になっている。ただ、「できれば走りたい」というやや消極的な回答（53.6%）については、チャリティランナーとして走った経験に満足していることが影響していると考えられる。

チャリティランナーへの参加の理由について聞いたところ、「大いに関係ある」「まあまあ関係ある」を合わせると、「チャリティランナーの趣旨に賛同したから」（94.1%）、「寄付先団体の趣旨や活動に興味があったから」（94.1%）、「チャリティ活動を盛り上げたいから」（86.9%）という理由が多かった。一方、「寄付先団体に知り合いがいるから」（20.3%）、「知人に勧められたから」（11.9%）、となっており、参加理由には知人のとの関係はあまりなさそうである。また、「チャリティを集めるのがおもしろそうだったから」（25.0%）、「募金する仲間（サポーター）がいたから」（30.9%）も参加の理由になっておらず、このことが募金活動の低調なことに影響していると考えられる。ただ、「7万円を払えば出場権を得られるから」（83.3%）とチャリティランナーの趣旨とは一致しない理由をあげている人も多く、チャリティランナーの課題が浮き彫りになった。

チャリティランナーの運営の満足度についてしてみると、「チャリティランナーの制度を設置したこと」（100%）、「寄付先団体の目的や活動を明確にしていること」（94.0%）とチャリティランナーの制度設計については非常に満足度が高い。ただ、「満足している」だけの評価でみると、チャリティランナー同士の交流（14.3%）、「寄付先団体との事前の交流」（23.8%）、「寄付先団体との当日の交流」（28.6%）と、交流に関して満足度が低い。また、「ジャストギビング（現ジャパングィビング）を通してのチャリティの募金方法」（25.0%）、「募金活動へのサポート」（27.4%）と募金に関する項目で満足度が低い。つまり、交流と募金にこれからの改善の課題があるといえる。



Ⅱ、海外ランナーについて

第4回大阪マラソンに出走した海外ランナーは3238人であった。第3回大会の1366人に比べて2.4倍に当たる。なぜ、これだけ海外ランナーが増えたのだろうか。そのことを解明するために、海外ランナーに対してアンケート調査を行った。今回のアンケートの国別回答者数は別表のとおりであり、調査結果の概要は以下のとおりである。

海外での市民マラソンの経験を訊いたところ、今回が初めての参加と答えた人が47.8%あり、海外での初マラソンに大阪マラソンを選んだ人が半分近くいることになる。

また、これまでの日本での市民マラソン参加経験を訊いたところ、「ある」と答えた人は37.2%と4割近くあった。その「ある」と答えた人は、東京マラソンと答えた人が58.1%と最も多く、次に大阪マラソンが18.6%、京都マラソンで12.6%と続く。つまり、大阪マラソンのリピーターは18.6%であるといえる。

大阪マラソンの情報はインターネットで知ったという人が81.3%と最も多く、次に友人から知った人が47.4%となった。友人の口コミが情報として有効に働いていることが分かる。

大阪での滞在日数は、大会前では前々日から大阪入りする人が46.7%と約半数を占め、次に3日前が26.8%となっており、大会前の滞在日数は日本人に比べて多いといえる。また、大会後は翌日に帰国する人が41.0%、翌々日の帰国者が24.6%、3日後に帰国する人が13.0%となっており、身体的な疲れから、他の活動を控える傾向にあり、大会後の滞在日数は大会前に比べて少ないといえる。したがって、観光や買い物といった経済効果は大会前に期待できるといえる。滞在中の活動では、「買い物(ショッピング)をした」が83.5%、「大阪名物を飲食した」が82.4%、「大阪市内観光」が83.1%、とどれも高い割合を示し、近郊県への観光も含めるとスポーツツーリズムの傾向を見て取れる。

順位	居住国	人数
1	香港	763
2	台湾	442
3	日本	97
4	中華人民共和国	88
5	タイ	51
6	シンガポール	50
7	マレーシア	37
8	アメリカ合衆国	27
9	フィリピン	20
10	マカオ	15
11	大韓民国	14
12	イギリス	8
12	カナダ	8
14	オーストラリア	7
15	朝鮮民主主義人民共和国	4
15	インドネシア	4
15	フランス	4
18	ドイツ	3
18	メキシコ	3
18	イタリア	3
21	グアム	2
21	ブラジル	2
21	オランダ	2
21	ベネズエラ	2
21	デンマーク	2
26	アルバニア	1
26	ニュージーランド	1
26	コロンビア	1
26	ベトナム	1
26	ポーランド	1
26	ロシア	1

大阪マラソンに「大変満足した」と回答した人が57.7%、「まあまあ満足した」と回答した人が37.9%であり、95.6%の人が満足したと答えており、満足度の高い大会であるといえる。ただ、満足度の判別分析では、旅行気分を味わえるかどうか、満足度を左右する要因で上がっていることから、海外ランナーに対してはスポーツツーリズムとしての運営上の工夫が必要であると考えられる。

大阪マラソンの参加動機を聞いてみた。「大いに関係ある」「まあまあ関係ある」という肯定的な回答で見ると、「沿道の応援が楽しいと聞いたから」が92.6%と最も高い割合を示しており、大阪マラソンの特徴である観客の応援が大きな誘因になっていることが分かる。次に、「海外マラソンに参加してみたかったから」(91.0%)、「マラソンへの参加で旅行を楽しみたいと思ったから」(86.4%)、「大阪の観光地を走れるから」(82.4%)とスポーツツーリズムの傾向がみられる。また、「参加手続きが簡単だから」(86.0%)、「ボランティアなどのサポート体制が充実しているから」(84.2%)と運営の良さを参加動機にあげている人も多い。「参加手続きが簡単だから」(86.0%)も比較的高い割合を占めており、エントリー方法の簡易性も参加理由の大きな要因の1つであるといえることができる。

しかし一方で、「チャリティの趣旨に賛同したから」と回答した人は64.3%と他に比べて少なく、チャリティマラソンとしての認識は低いといえる。さらに「制限時間が7時間だから」は48.5%と最も低い割合を示したことから、海外の人にとって制限時間は、参加動機にあまり関係がないことがわかる。

参加後の感想では、全体的に評価が良いので、「まったくそう思う」という意見の人だけを見ても、「一般の観客の応援が良かった」(68.4%)、「ランナー盛上げ隊！が良かった」(63.5%)と、期待していた観客の応援に評価が高く、満足している様子がうかがえる。また、「旅行気分を味わえてよかった」

(62.8%)、「大阪の観光地を走れてよかった」(50.8%)と、スポーツツーリズムについての評価も高い。さらに、「ボランティアなどのサポート体制が充実していたよかった」(60.6%)、「救護等の安全対策が充実していた」(46.8%)と運営面での評価も高い。

ただ、「日本のランナーと交流できてよかった」は24.9%と、交流に関しては評価があまり高くない。チャリティに関しては、「チャリティのために走るマラソン大会の趣旨が良かった」は45.0%と評価する一方で、「自分の選んだチャリティカラーのナンバーカードやチャリティTシャツを身につけて走ることが良かった」に対しては31.6%と評価が低く、チャリティグッズの工夫が望まれる。



Ⅲ、観客について

今回も「中之島公園」「北御堂」「なんば」「インテックス大阪」の4箇所で調査を行った。今回はできるだけ、インタビュー形式で、聞き取りをすることで質の高いデータを得ようとした。調査結果の概要は次のとおりである。

観客の居住地は、マラソンコース付近が3.6%、大阪市内が28.3%、大阪府内が35.4%と大阪在住者が約67%にも及んでいる。第3回調査では大阪在住者が約60%であったことから、大阪マラソンが大阪のイベントとして住民に定着しつつあることがうかがえる。

大阪府以外の都道府県では、当然のこととして近隣の近畿圏が66.0%と多い。ただ、関東からは14.2%、中国四国からは8.6%の観客があり、全国に広がっていることがうかがえる。

誰と応援に来たかを尋ねると、家族と来た人が48.0%と最も多く、家族の中で参加しているランナーを応援に来たという人が多い。同様に、友人・知人と一緒に来た人(20.7%)も、知り合いのランナーを応援しに来ている。一方で、27.5%が一人で来たとなっており、応援自体を楽しみにきている人もいる。また、誰を応援したかを尋ねたところ、家族(28.5%)、知人・友人(28.3%)を応援している人と同じように、ランナーみんなを応援している人(26.4%)も多いことが分かる。このことより、知らない人を応援する観客も多くいることの実態を見て取れる。



チャリティのことについて訊いてみた。56.3%の人がチャリティランナーのことを知っていると答えており、知らないと答えた43.7%の人を上回っていた。これは、コブクロの小淵健太郎氏やIPS細胞研究の山中伸弥氏等のチャリティアンバサダーの効果があったと考えられる。また、募金を何らかの形でした人は25.1%と4人に一人はチャリティをしている。また、36.3%の人が募金をする予定であるとしており、募金方法の工夫が必要である。募金をしようとした理由について聞いてみると、34.4%の人が、「大阪マラソンはチャリティマラソンと知

ったから」を募金の動機にあげており、大会の趣旨の周知が有用であることを物語っている。また、「ランナーの姿を見て感動したから」という募金の動機も 29.2%あり、当日の募金方法の工夫が必要である。



滞在日数は 52.8%の人が当日のみとなっており、これは観客が 7 割の人が大阪府内なので、当然の結果といえる。ただ、宿泊を伴う滞在が約 2 割あり、観客を含めてスポーツツーリズムを考える必要があるであろう。

大阪マラソンの応援以外にしたことでは、「別にしなかった」が 37.9%あり、多くの人が大阪マラソンを応援することを目的に来ていることが読み取れる。ただ、活動をしたという人は大阪名物の飲食（16.2%）、市内観光（15.4%）、買い物（13.2%）であり、観光やショッピングを含めたスポーツツーリズムの工夫が必要だと思われる。

応援後の行動では、39.4%の人が「そのまま帰る」となっており、応援で知り合った人と飲食に行く人が 0.8%であることから、応援で知り合いになることの仕掛けが必要である。

応援の場所を決めた理由では、「来やすかったから」（23.2%）という応援場所へのアクセスと、「ランナーが良く見える場所だから」（20.0%）という見やすさは、観客にとって大事な要素であることが分かる。市民マラソンの特徴である応援場所の移動では、1箇所では応援すると答えた人が 32.8%、2箇所と答えた人が 27.8%、3箇所と答えた人が 22.8%で、複数箇所応援すると答えた人が約 7 割いた。このような実態を勘案して、観客の移動に配慮した運営が望まれる。

応援の理由では、「出場している知人を応援したいから」が 59.1%と最も多い。次に、「大阪を盛り上げたいから」という理由で応援している人が 23.8%で、お祭りとしての大阪マラソンを楽しもうとしている。さらに、「ランナーから元気をもらいたいから」が 19.1%で、市民マラソンへの大きな誘因となっている。

IV、一般ランナーについて

第 1 回大会から続けている一般参加のランナーの調査を、今年も Web により行った。回答をいただいたランナーは例年より少なく 5213 名であった。ただ、このサンプル数は調査の信頼性を十分に担保できるといえる。調査結果の概要は以下のとおりである。



これまでの大阪マラソンへの参加経験を尋ねたところ、ランナー（一般）として参加したが 61.5%と最も高かった。次にランナーとして申し込んだが抽選に外れたが 38.7%であり、約 4 割を占めた。つまり、大阪マラソンのリピーターが多いのが特徴である。

一方、これまでの市民マラソンへの参加経験がなく、初めて参加する人が 9.0%である。1~5 回市民マラソンを経験した人が 39.1%、6 回~15 回市民マラソンを経験した人が 30.3%、16 回以上のベテランランナーが 21.6%となっており、市民マラソンの経験者がこれまでになく

多いといえる。

大阪マラソンの参加動機では、大阪で開催されるから（80.0%）、コースが良いから（45.6%）という大阪マラソンの大会内容を参加理由にあげている人が多い。また、沿道観衆が多いから（35.6%）、沿道の応援が楽しいから（45.9%）と祭りとしての大阪マラソンの特徴が理解されているといえる。

大阪マラソンの満足度は、大変満足した（51.1%）、まあまあ満足した（41.6%）と全体の9割が満足している。ただ、満足度の判別分析を見てみると、「沿道の給水」、「大阪マラソン EXPO2014」、「沿道の給食」が満足度を左右する要因として上がっており、走ることに関連したサポートのあり方と、前日のEXPOの工夫が必要であることが示唆された。

ランナー受付の運営に対する評価では、ボランティア、スタッフの対応の良さが80.6%と多く、スタッフのランナーへの気配りが評価されている。また、受付完了までの経路やレイアウトが良いとする人が50.5%で、改善が必要であるとした人が24.7%であることから、この点に関して、工夫が必要であるといえる。また、スタートエリアの運営に対する評価では、手荷物預かり（56.9%）、ランナーのブロック分け（45.1%）、ボランティア・スタッフの対応（50.1%）が良かったとする人の割合が多い。一方、トイレの数・配置について54.4%の人は改善が必要であるとしている。さらに、フィニッシュエリアの運営に対する評価では、ボランティア・スタッフの対応が良かったとする人が68.7%と高い。また、手荷物の受け取りも57.0%の人が良かったとしており、ボランティアの対応の良さが目立つ。ただ、更衣室の広さ・配置について28.1%の人は改善が必要であると答えており、スタートエリアと違った改善項目となっている。

大会前日の活動では、大阪マラソン EXPO2014 のイベントを楽しんだ人が62.8%と一番が多い。また、大阪名物を飲食した（23.7%）、大阪市内観光をした（11.8%）となっており、スポーツツーリズムの傾向はみられる。ただ、仕事、学校へ行った17.2%、何もしなかった15.2%と二極化している傾向がみられる。

また、大会当日のマラソン終了後は、すぐ自宅・ホテルに帰った人が48.5%と圧倒的に多い。一方、家族・仲間と大阪市内へ飲食に行った33.3%、EXPO2014で飲食した19.3%と前日より増えており、大会後は飲食中心の活動となっている。

さらに、大会翌日の活動では、仕事・学校に行った70.2%と割合が圧倒的に多い。ただ、休暇をとって体を休めた人も23.1%おり、大阪マラソン後の活動に変化がみられた。

この1年に大阪マラソンのために使った金額は、5万円未満の人が39.2%、5万円以上10万円未満が30.0%となっており、7割の人がそれほどお金をかけていないという結果である。この経済的な負担が少ないことは、市民スポーツとして広がりを見せる大きな要因の一つであると考えられる。

来年の大阪マラソンの参加について、必ず応募する（71.1%）、たぶん応募する（20.6%）と9割以上が応募すると希望していることから、今回の大阪マラソンへの満足度が感じられると同時に、リピーターの可能性が大きいことがうかがえる。逆に、応募しない理由は、大阪マラソンが良くなかったからは4.0%と割合が少なく、否定的な理由ではない。むしろ、今回走って満足したからが59.6%で、他の大会へ出てみたいからが36.4%であることから、大阪マラソンを走ったという経験に満足し、他の大会で違う経験をしてみたいとする経験的満足感からの理由であると考えられる



大会の運営について「良いと思った」人だけで見てみると、ボランティアの対応が 84.8%と最も多く、大阪マラソンのボランティアが高く評価されていると言える。次に、記念品（メダル、タオル）が良いと思った人は 72.2%で、記念品も評判が良い。また、紙コップをゴミ箱に自分で投入する取り組みについても、71.8%の人が良いと答えており、環境への取り組みが評価されている。さらに、ランナー盛上げ隊！（沿道の音楽やダンスの応援パフォーマンス）を良いとしている人は 68.5%で、応援に元気づけられた人が多いということである。また、安全面での救護に対して 66.3%の人が良かったと評価しているという結果であった。

一方、スタートセレモニーについては、22.0%の人しか「良いと思った」と答えていないのは、スタートまでの距離があり、ほとんどの人が見るができなかったことに起因しているのではないかと考えられる。トイレの設置については、良いと思った人が 35.0%で、これは積年の課題ともなっているが、その使い方の工夫をすることで満足度を上げていく工夫が必要であろう。コースに設けた 7 色応援ステーションが良いと答えた人は 37.4%で、これはランナーの認知度の低さからきているように思える。沿道の給食が良いと思った人は 38.8%で、給食をとれなかった人もいて、満足度を下げていると考えられる。しかし、32.5 km地点での給食（まいどエイド）は、工夫が凝らされている分、52.5%の人が良いと答えており、評価は高いと言える。

チャリティ団体を決めた理由を聞いてみたところ、テーマに関心があったからの割合が 75.5%と圧倒的に多い。また、自分のしていることに関係があったからは 11.4%と、何らかの関連あるテーマにチャリティをしていることがわかる。一方、チャリティ T シャツのデザインが良かったからという理由で選んでいる人も 12.1%あり、チャリティグッズの効果も見逃せない。

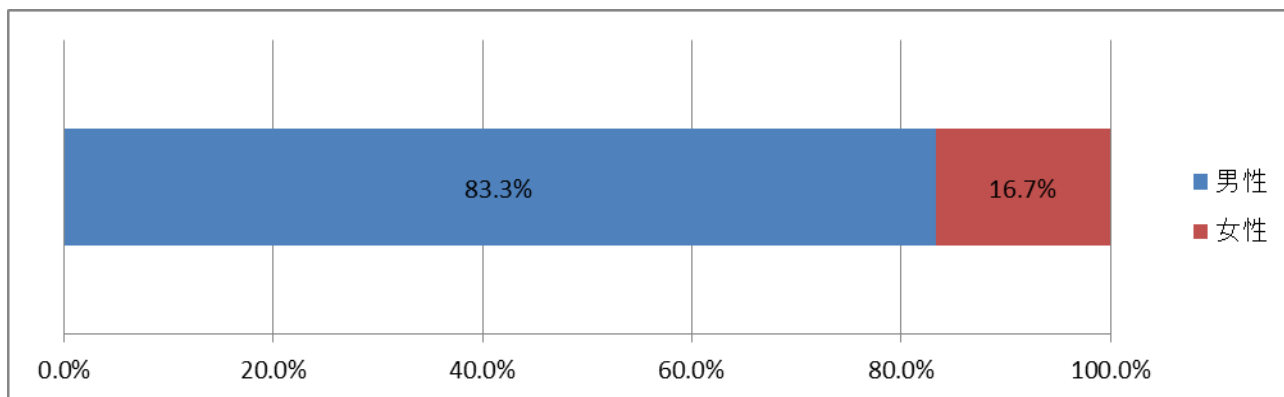
チャリティの取り組みについて聞いたところ、「良いと思った」人だけで比較してみると、寄付先団体の目的や活動を明確にしていることが良いとする人が 67.8%あり、自分のチャリティがどのように使われているかを知っていることが寄付行為では大切であると思われる。と同時に、寄付先団体は自分たちの活動を知らせ、それに賛同してもらうことが必要であると考えられる。その意味で、大阪マラソン EXP02014 でチャリティ団体コーナーを設けていることに対して 55.0%と評価が高い。ただ、そのコーナーでの団体の広報については、43.5%の人しか評価しておらず、これからは広報の仕方の工夫が必要であるといえる。



I、チャリティランナー

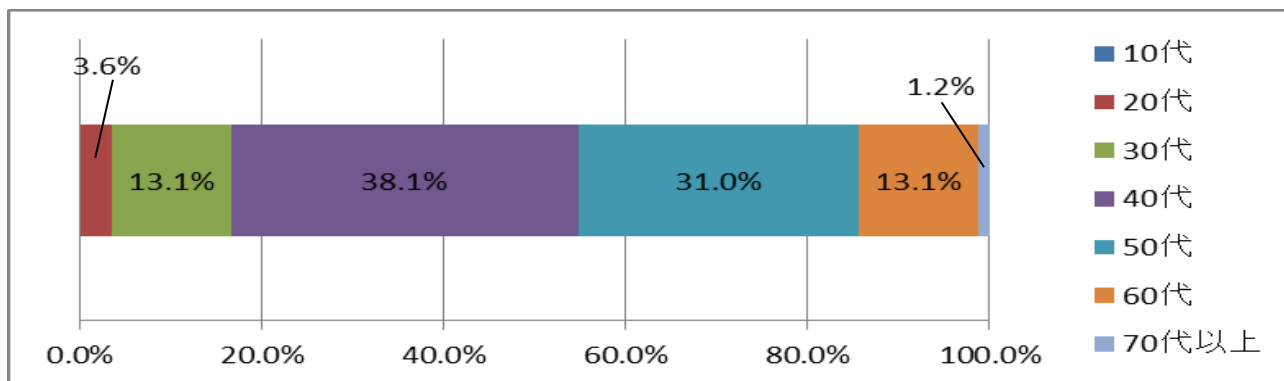
1. あなた自身について

■性別



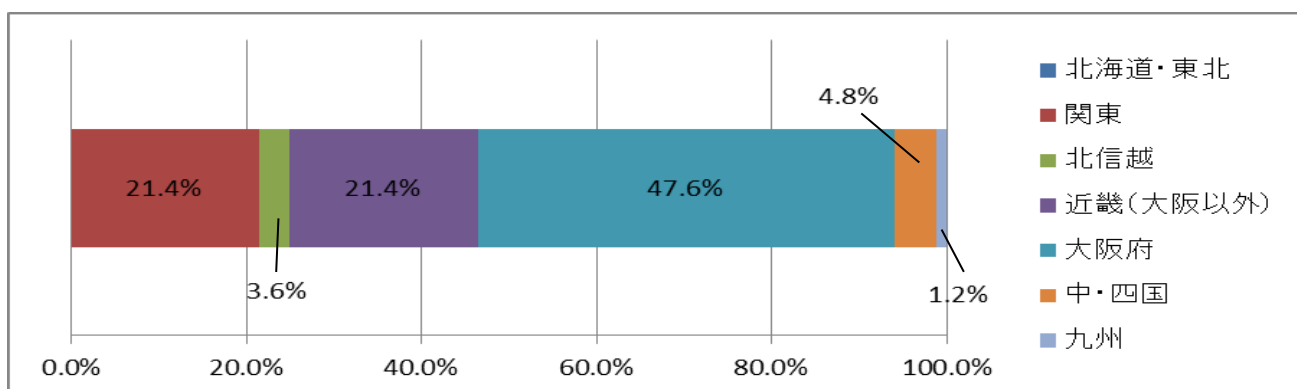
性別では男性が83.3%と大半を占めていて、女性の割合が16.7%と少ない状況である。

■年齢（年代）



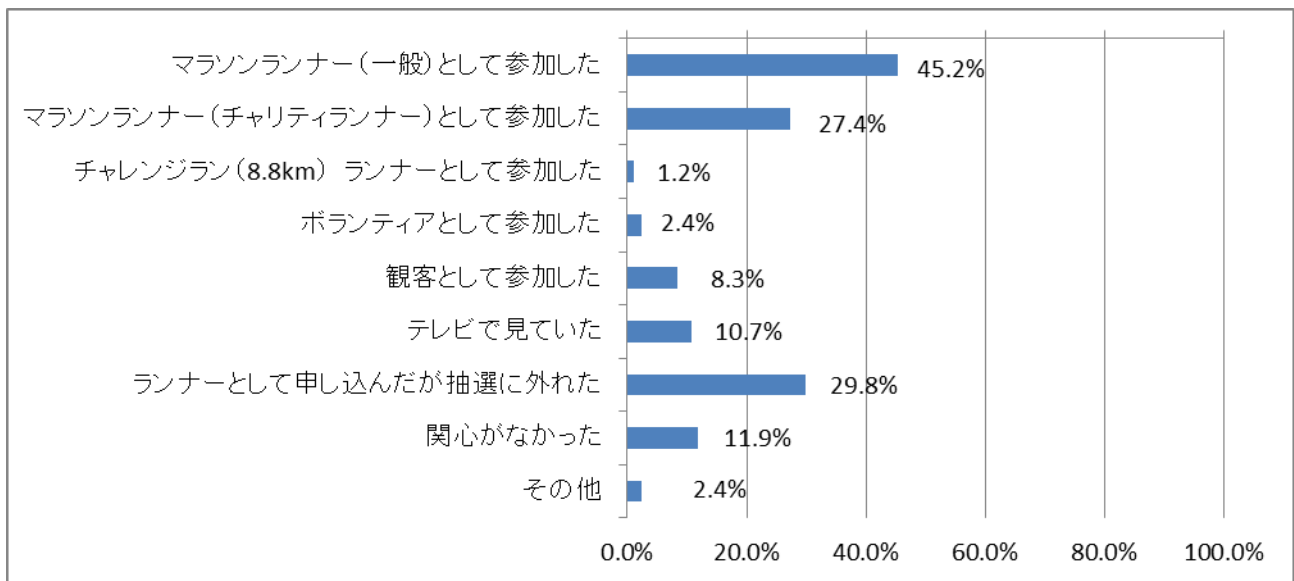
今回、調査に協力していただいた参加ランナーは、40歳代が38.1%で最も多く、次に50歳代が31.0%である。全体の参加者と比べて50歳代、60歳代が多く、少し高齢化の傾向がみられる。

■居住地



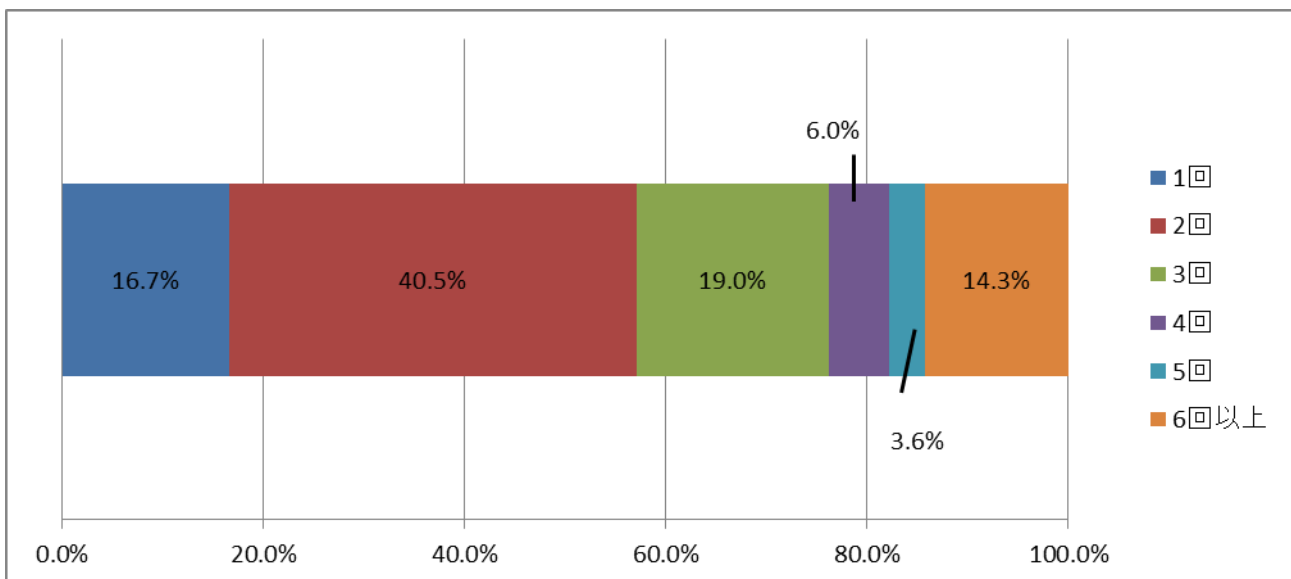
ランナー参加の居住地を尋ねたところ、大阪府の47.6%を加えると、近畿圏が約7割を占めた。全体の参加者と比べて、大阪府が多いのが特徴である。

■これまでの大阪マラソンへの参加経験はありますか？（複数回答可）



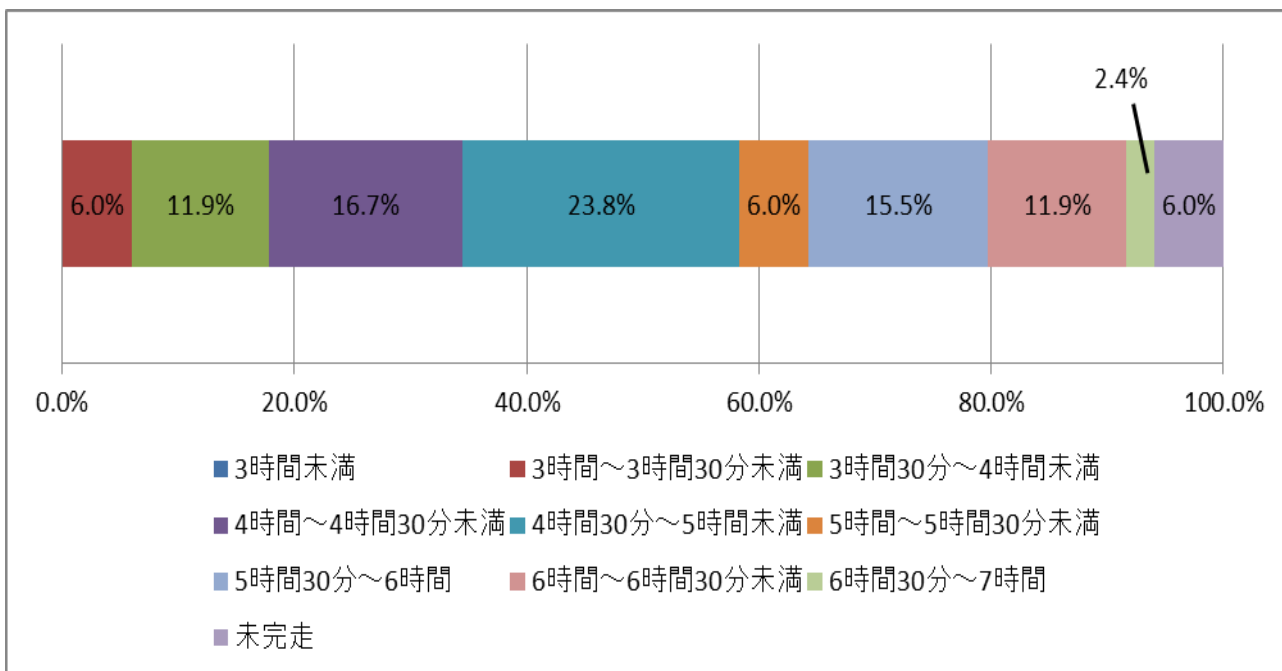
これまでの大阪マラソンへの参加は、一般ランナーとして参加した経験のある人が45.7%と半分近くいた。また、チャリティランナーとして参加した人も27.4%あり、3割の人がリピーターであるといえる。

■市民マラソンの参加経験はどのくらいですか？



これまでの市民マラソンへの参加経験がなく、初めて参加する人が16.7%である。2回目の参加の人が40.5%であり、半数以上が初心者である。

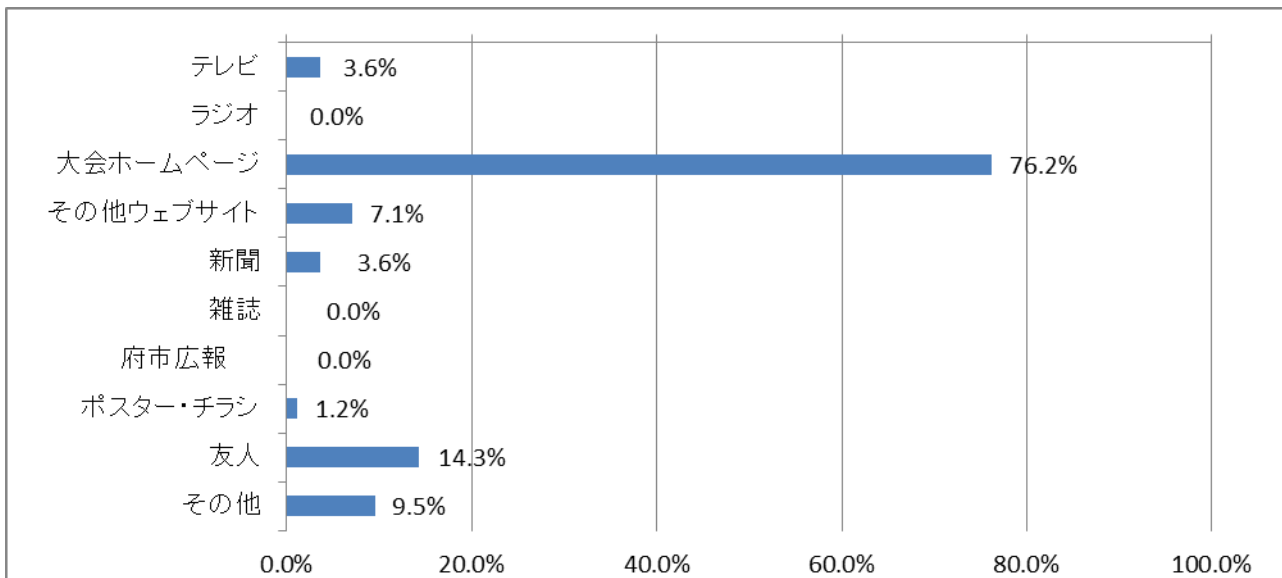
■ 今回のフルマラソンのタイムはどのくらいですか？



フルマラソンの完走タイムは、4時間30分～5時間未満が23.8%で最も多く、4時間～4時間30分未満が16.7%で次に多い。偏りのない完走タイムの分布となっている。

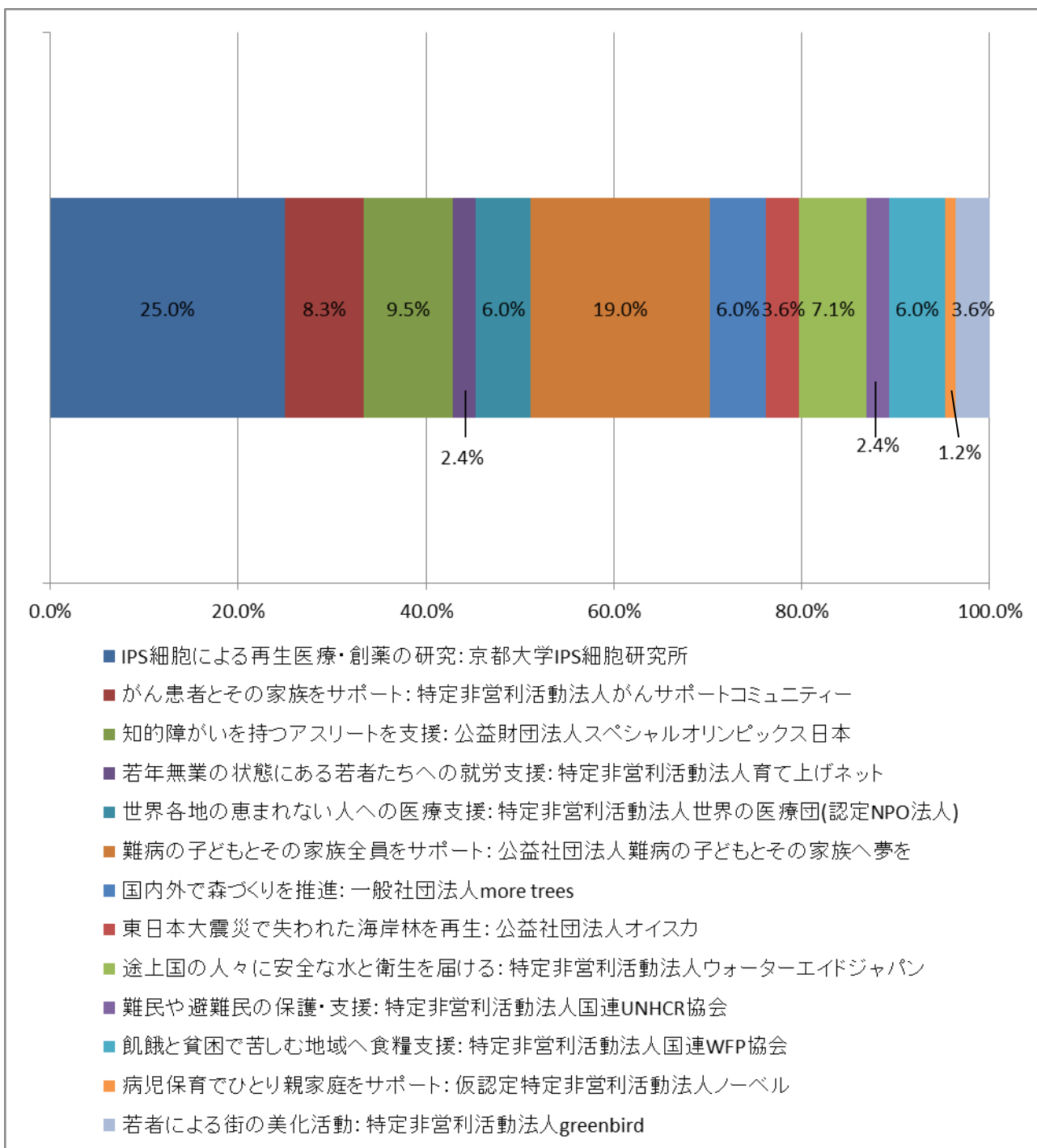
2. チャリティランナーの活動について

■ チャリティランナー募集をどのようにして知りましたか？（複数回答可）



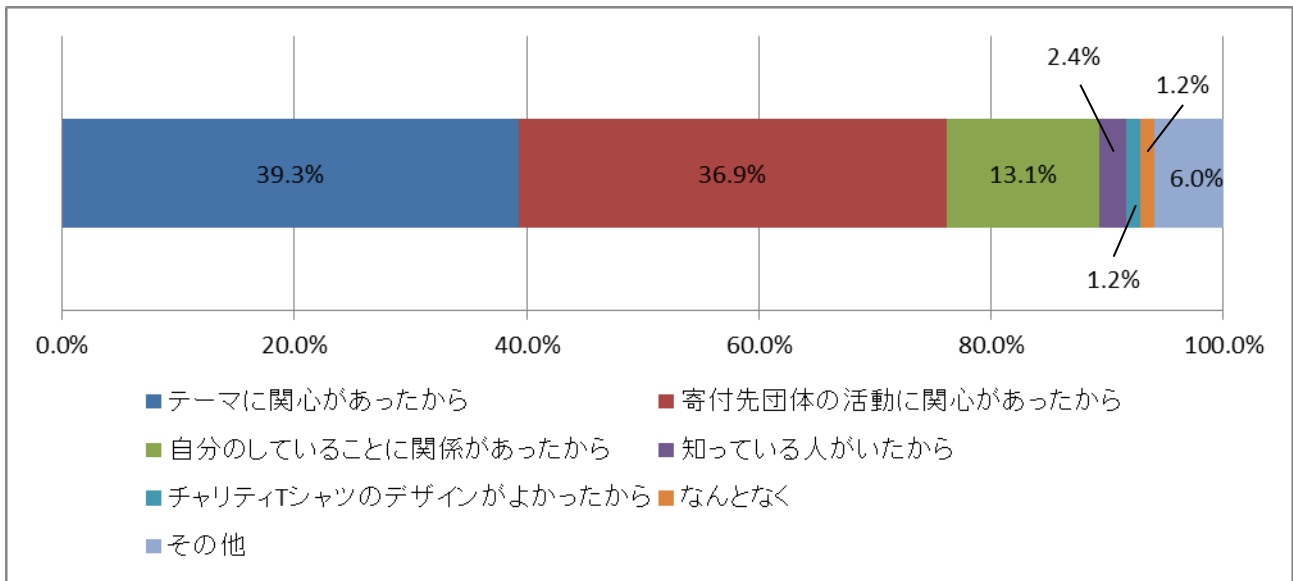
大会ホームページでチャリティランナーの募集について知った人が76.2%で大半を占めている。その他の媒体の回答が少ないことから、大阪マラソンに関心の少ない人への情報発信の提供が課題であるといえる。

■チャリティ先はどこですか？



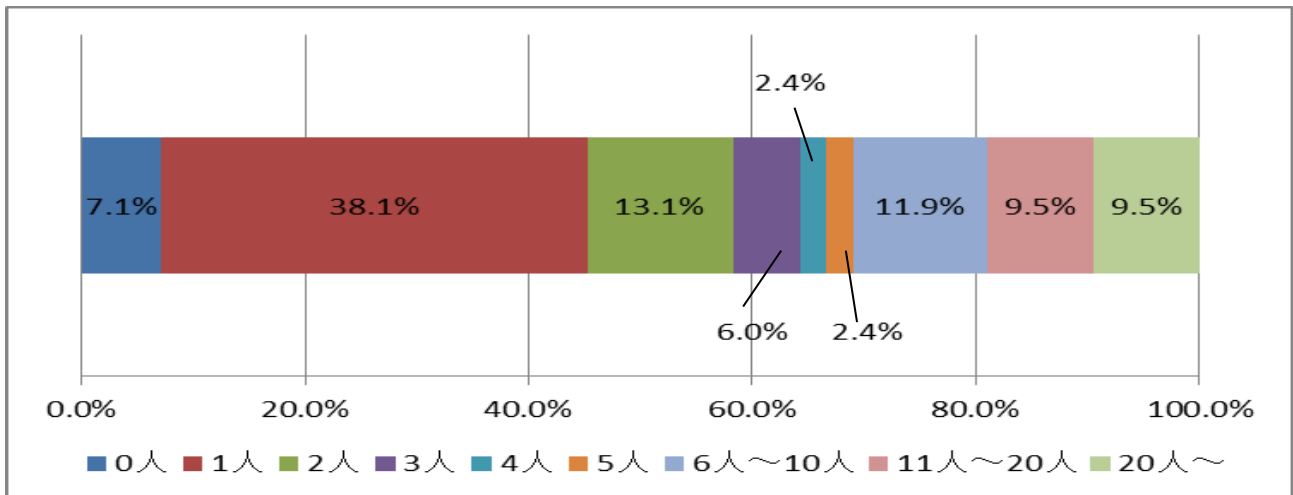
IPS細胞による再生医療・創薬の研究：京都大学IPS細胞研究所が25.0%と全体の4分の1を占めている。それに続き、難病の子どもとその家族全員をサポート：公益財団法人難病の子どもとその家族へ夢を19.0%である。このことから、医療系へのチャリティ団体先を選ぶ傾向にある。

■その寄付先チャリティ団体に決めた一番の理由は何ですか？



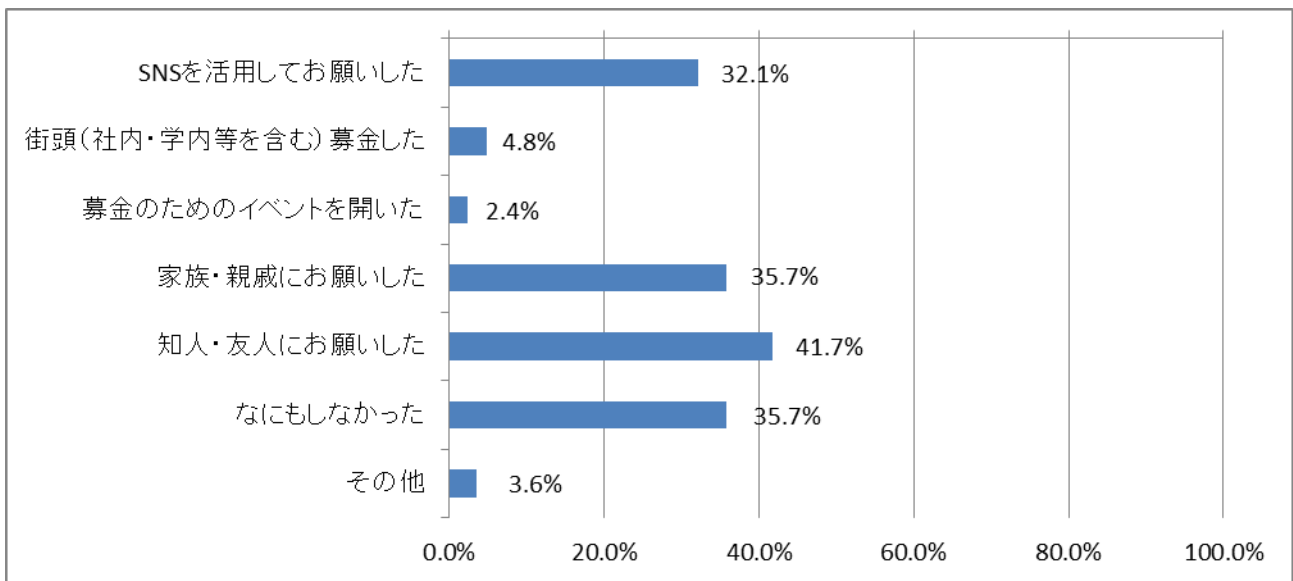
テーマに関心があったから (39.3%)、寄付先団体の活動に関心があったから (36.9%) が4分の3を占めている。決定前のチャリティ団体の情報提供の工夫が必要であることが示唆された。

■自身を含め実際に何人のサポーターから寄付をいただきましたか？



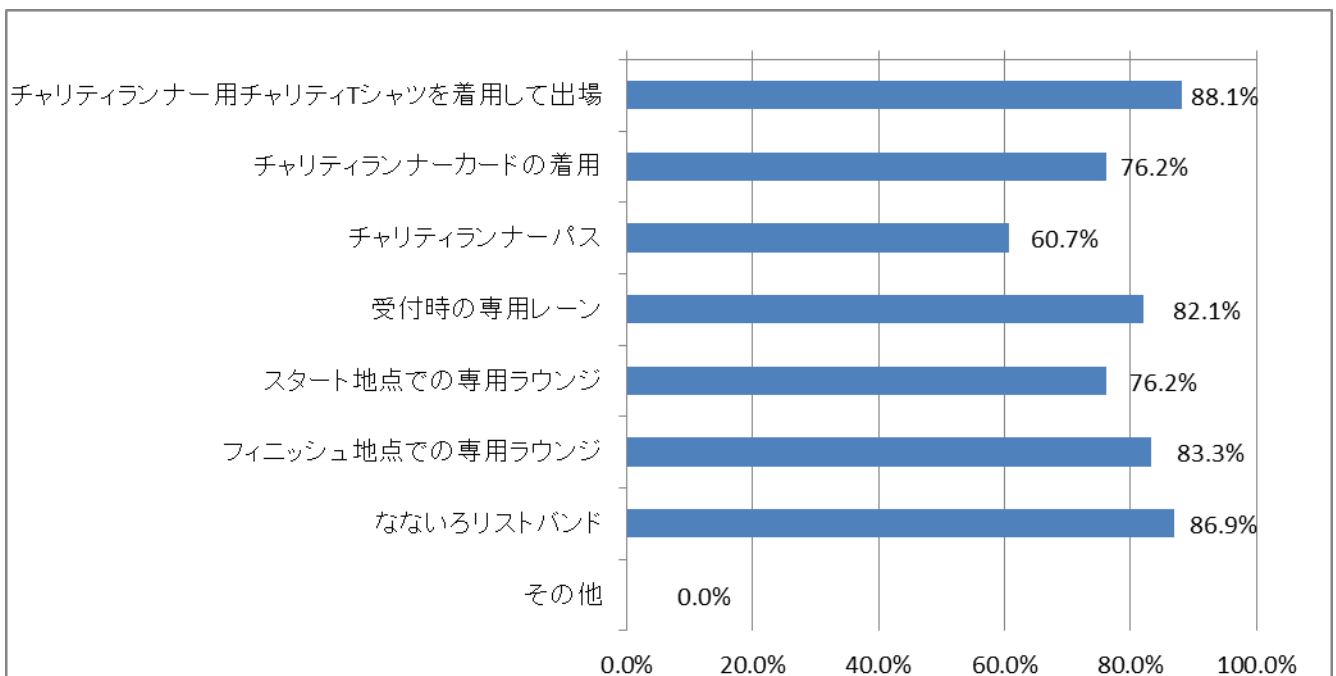
1人の割合が38.1% (0人を加えると45.2%)、2人の割合が13.1%となっており、半分以上の人が複数のサポーターを集めていないことになる。チャリティランナー設置の趣旨を理解してもらう工夫が必要であろう。

■募金活動はどのようにしましたか？（複数回答可）



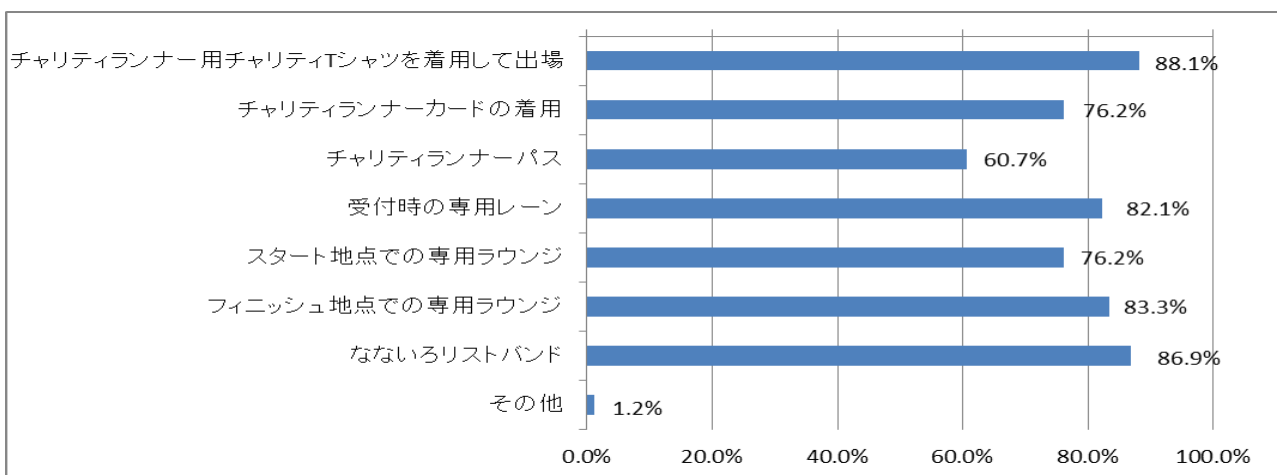
知人・友人(41.7%)、家族・親戚(35.7%)にお願いしたと身近な人を中心に募金活動をした人が多い。また広く SNS を活用してお願いした人(32.1%)もいたが、サポーターの数の少なさからして、有効な方法になっていないと推察できる。さらに、初めから募金活動をしなかった人も35.7%あり、募金活動に関する方法のガイダンス等が必要であるといえる。

■チャリティランナーに対して行っていることについて、知っているものは何ですか？（複数回答可）



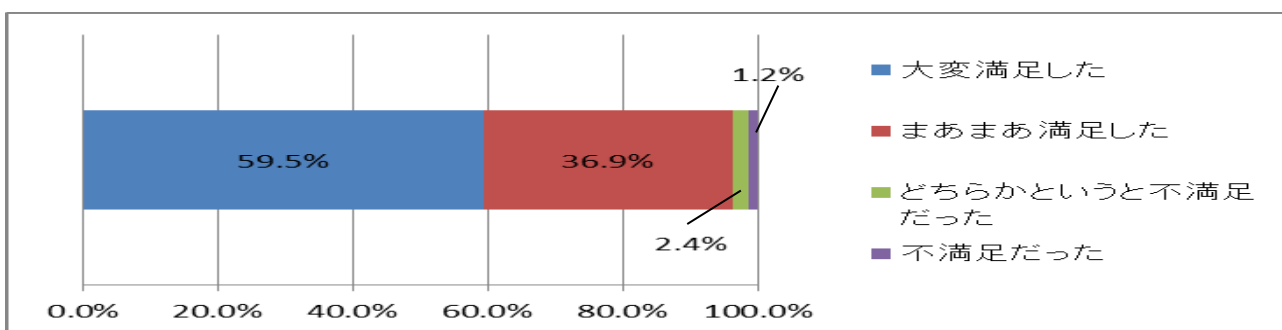
チャリティランナーに対して行っていることについて認知度は高い。ただ、すべてのチャリティランナーの人が認知しているとは言い難く、徹底した周知が必要であろう。

■チャリティランナーに対して行っていることについて、良かったものは何ですか？



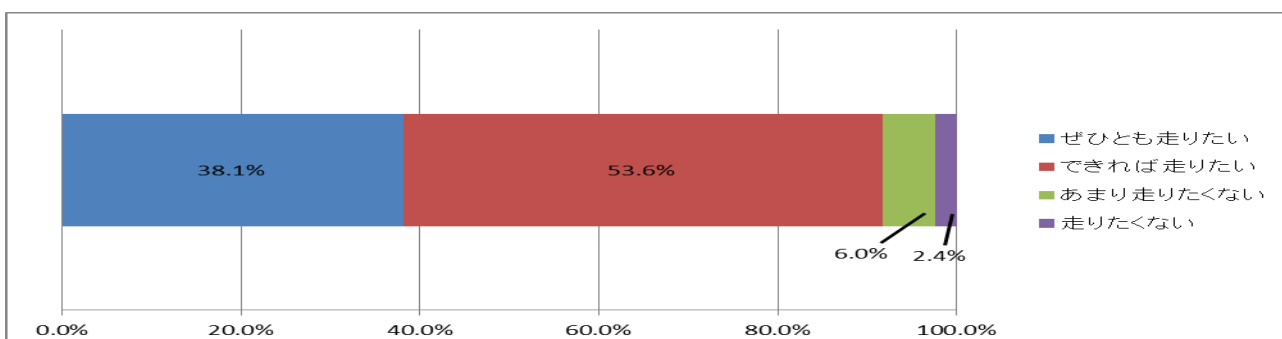
チャリティランナーに対して行っていることについての満足度は高い。特に、七色リストバンドやTシャツといったチャリティランナーであることを証明する記念品に対する満足度が高いといえる。

■チャリティランナーとして走ってみて満足しましたか？



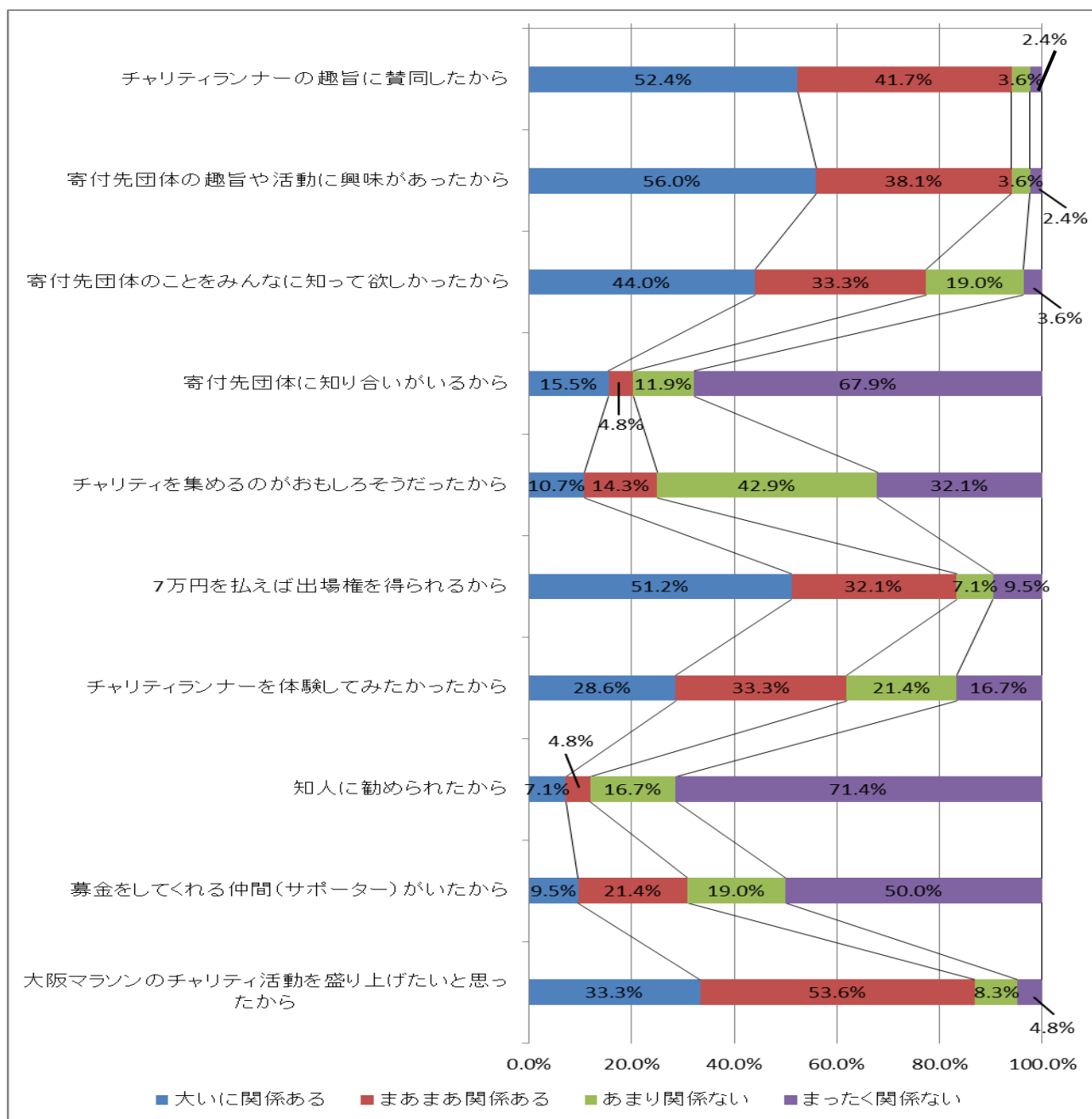
チャリティランナーとして走ってみての満足度は、「大変満足した」(59.5%)、「まあまあ満足した」(36.9%)と満足している人が9割を超えている。ただ、「まあまあ満足した」と答えた人は、何らかの不満点があるということなので、その要因を追求する必要があるだろう。

■チャリティランナーとして来年も走りたいですか？



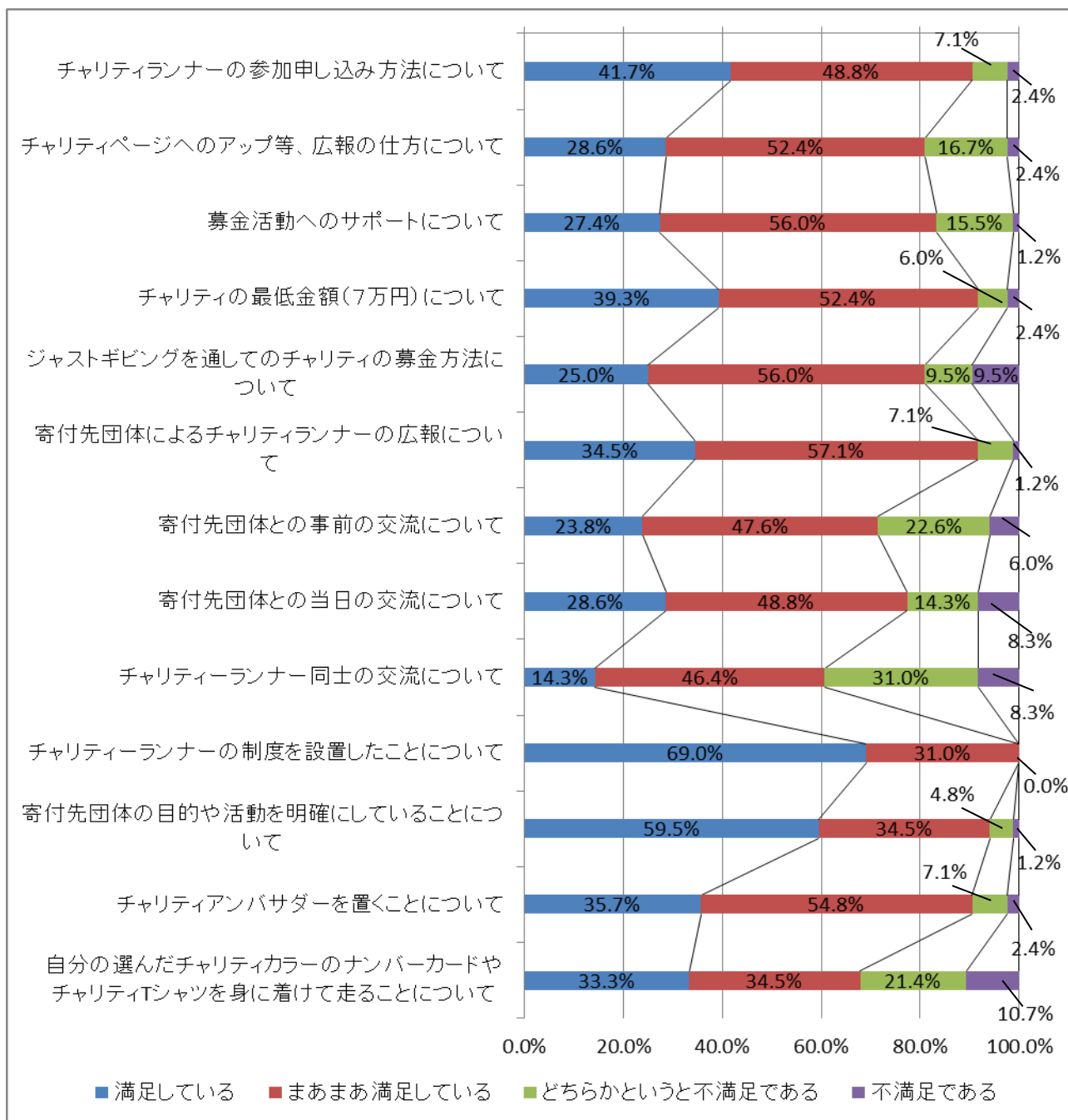
来年もチャリティランナーとして走りたいと思っている人は、91.7%となっており、満足度と同様、高い割合になっている。ただ、「できれば走りたい」というやや消極的な回答(53.6%)については、チャリティランナーとして走った経験に満足していることが影響していると考えられる。

3. チャリティランナー参加の理由



チャリティランナーへの参加の理由について聞いたところ、「大いに関係ある」「まあまあ関係ある」を合わせると、「チャリティランナーの趣旨に賛同したから」(94.1%)、「寄付先団体の趣旨や活動に興味があったから」(94.1%)、「チャリティ活動を盛り上げたいから」(86.9%)という理由が多かった。一方、「寄付先団体に知り合いがいるから」(20.3%)、「知人に勧められたから」(11.9%)、となっており、参加理由には知人のとの関係はあまりなさそうである。また、「チャリティを集めるのがおもしろそうだったから」(25.0%)、「募金をしてくれる仲間(サポーター)がいたから」(30.9%)も参加の理由になっておらず、このことが募金活動の低調なことに影響していると考えられる。ただ、「7万円を払えば出場権を得られるから」(83.3%)とチャリティの趣旨とは一致しない理由をあげている人も多く、チャリティランナーの課題が浮き彫りになった。

4. チャリティランナーの運営について



チャリティランナーの運営の満足度についてみると、「チャリティランナーの制度を設置したこと」(100%)、「寄付先団体の目的や活動を明確にしていること」(94.0%)とチャリティランナーの制度設計については非常に満足度が高い。ただ、「満足している」だけの評価でみると、チャリティランナー同士の交流(14.3%)、「寄付先団体との事前の交流」(23.8%)、「寄付先団体との当日の交流」(28.6%)と、交流に関して満足度が低い。また、「ジャストギビングを通してのチャリティの募金方法」(25.0%)、「募金活動へのサポート」(27.4%)と募金に関しての項目で満足度が低い。つまり、交流と募金にこれからの改善の課題があるといえる。

5、満足度の判別分析

チャリティランナーの満足度の規定要因を明らかにするために、「大変満足した」と答えた人と、それ以外の人（「まあまあ満足した」「どちらかというとな満足だった」「不満足だった」と答えた人）で、大会運営について、どのような項目で満足度に違いがあるのかを判別分析によって明らかにした。

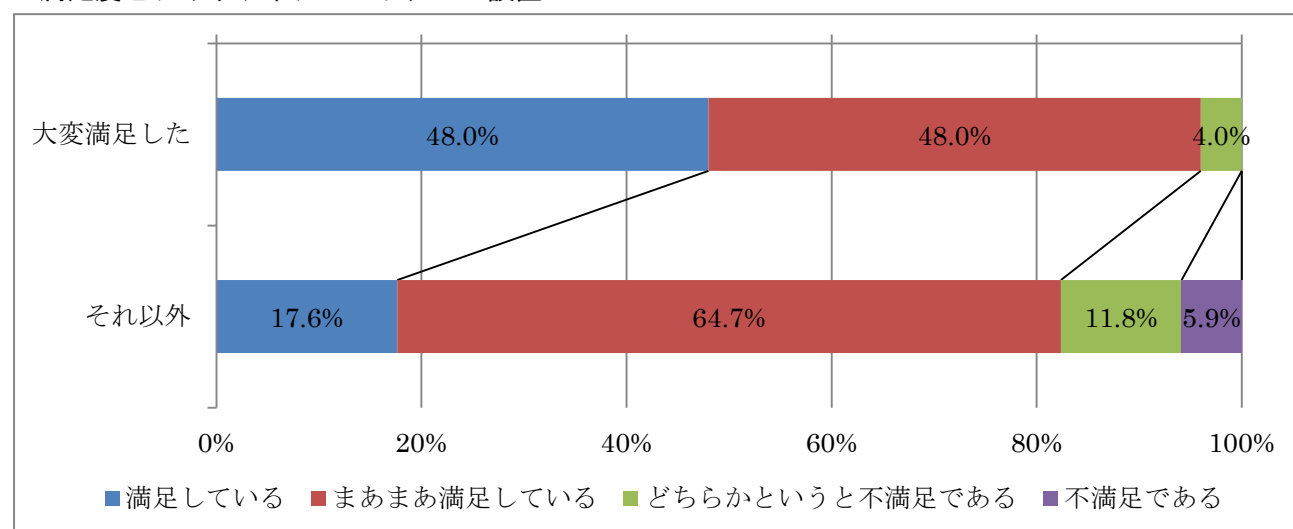
■大会運営と満足度の判別分析

項目	偏相関係数
チャリティアンバサダーを置くこと	0.282141
寄付先団体との当日の交流	0.279181
チャリティランナー制度を設置したこと	0.261083
寄付先団体との事前の交流	0.234716
チャリティランナー同士の交流	0.175061
チャリティ参加申込方法	0.167828
寄付先団体によるチャリティランナーの広報	0.128483
ジャストギビングによる募金方法	0.122159
チャリティ最低金額（7万円）	0.068834
寄付先団体の目的や活動の明確化	-0.042304
チャリティグッズの装着	-0.045109
募金活動のサポート	-0.075239

その結果、1位に「チャリティアンバサダーを置くこと」、2位に「寄付先団体との当日の交流」、3位に「チャリティランナー制度を設置したこと」があがっており、これらに満足度の違いみられた。

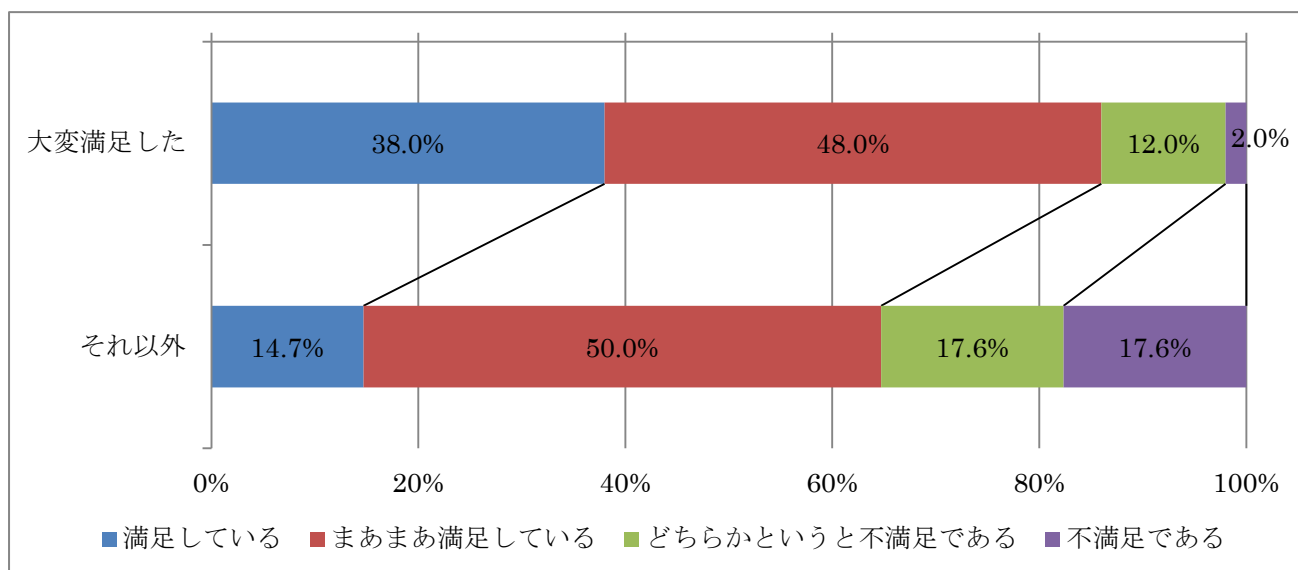
次にその上位三位について違いの内容を見ていく。

■満足度とチャリティアンバサダーの設置



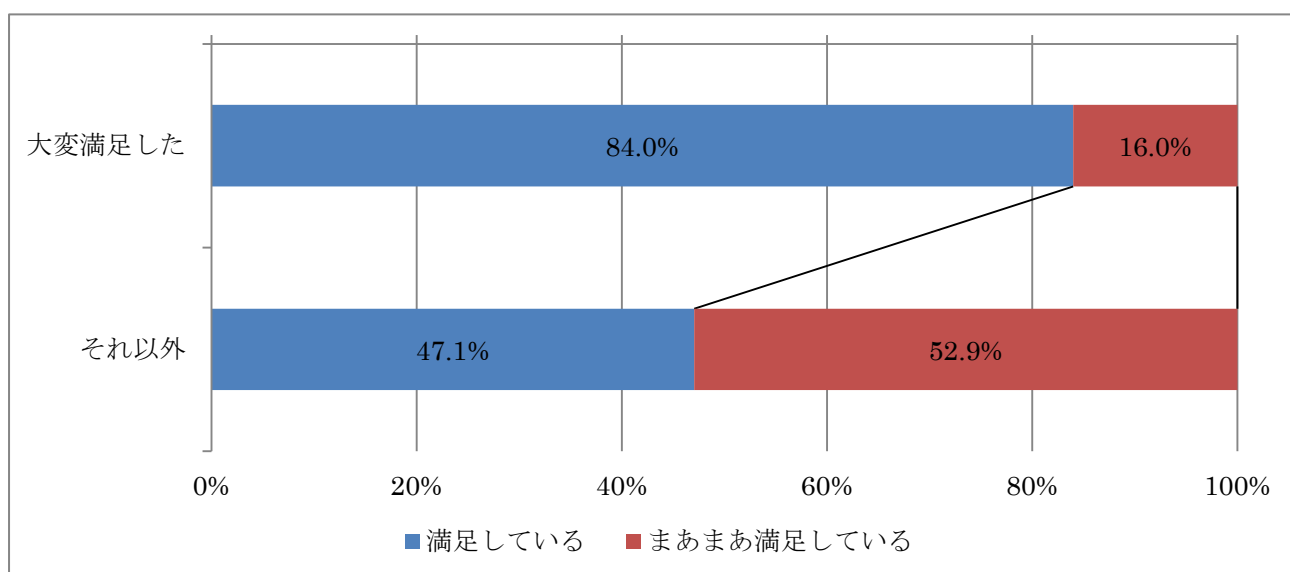
チャリティランナーで何らかの不満を持っている人は、チャリティアンバサダーを置くことについて、あまり積極的な評価をしていないということである。

■満足度と寄付先団体との当日の交流



チャリティランナーで何らかの不満を持っている人は、寄付先団体との当日の交流についても、あまり高く評価していないといえる。

■満足度とチャリティランナー制度の設置



チャリティランナーで何らかの不満を持っている人は、チャリティランナー制度を設置したことについても、あまり高く評価していないといえる。

以上のように、チャリティランナーにとっては、チャリティアンバサダーを置く意義が理解しがたいということであり、このあり方について検討する必要があるだろう。また、「寄付先団体との当日の交流」に加えて、第4位に「寄付先団体との事前交流」、第5位に「チャリティランナー同士交流」があがっており、チャリティランナーについては、「交流」の工夫が満足度を左右するといえそうである。

チャリティランナー自由記述（抜粋）

◆アンケート調査

- 満足はしているが、今回初参加でチャリティの方法や募金の集め方の勉強不足で集められず。その方法についてもっと周知していただければ有難いです。
- 手続きが複雑で、多数の友人に多数断られました。
- 募金方法がよくわからない、と言われ直接現金をいただく形での寄付がほとんどでした。年配者にも募金しやすい方法は他にないのかな・・・と思いました。
- ジャストギビングを使った仕組みがわかりにくい。いつまでも最終的に参加できるかわからない。
- 大会ページのリンク先の申し込み方法がややこしかった。チャリティ方法も含めてシンプル且つ分かり易くしてほしい。
- 寄付のやり方が難しすぎた。「画面の遷移」を示すなどの工夫があっても良かった。facebook等のログインはかえってわかりにくい（facebookとの連携がどうなっているか。連携させたくない人=fbのタイムラインに自分が寄付したことがわかってしまうのではないかと不安に思った人には逆効果）。fbのタイムラインには載りません、など明確にしておくべき。
- 東京マラソンに比べてみてもチャリティランナーへの支援、待遇は寄付先、主催者とも大変素晴らしく感謝しています。寄付最低額が惜しくない内容でした。
- 今までチャリティランナーに対して、お金で出場権を買うような気がしてあまり良いイメージを持っていなかったが、今回チャリティで参加して寄付先が明確で喜んで頂けたことがこちらに伝わりお役に立つことができたことを実感できたので良い制度だと感じた。
- チャリティはあくまでも支援する気持ちが大切であり、それによって優遇されるとは思っていませんでした。荷物の預け場所は皆と一緒に良いし、ゴールした後も特別なエリアを設け、アイシング、ストレッチ、食事まで用意されているとは思わなかった。とても恥ずかしい気がした。なんの為のチャリティだったのだろうか…。こんなサービスがなければチャリティが集まらないとすれば、とても悲しいことだ。
- チャリティランナーの位置づけを「7万円払って出走権を得た人たち」と言われることが悲しい感じがしました。マスコミでもそういわれていましたし、「そこまでして（7万円も払って）マラソンでたいの？」と言われることもあり、主旨が違うことをどう伝えたらいいか正直悩みました。チャリティの心をジャストギビング以外にも伝える術がないのでしょうか。個人がSNS等を使用して発信するには限りがあります。もっとマスコミ等を使用して、チャリティランナーの主旨を明確に伝えていただけたら「7万円払って出走権を得た人」のイメージを払拭できるのではないかな・・・と思います。

◆組織委員会によるインタビュー調査

- 多くの方にこちらの団体について知ってほしいという思いから、“金額よりも人数”を目標にチャレンジに取り組んでいました。すると、うれしいことに100人以上の方から寄付をいただいたのです！また、病気を患っている知人がわたしのチャレンジをどこかで知ってくれたようで、「iPSが治療に役立てられる日に、わたしはもう間に合わないかもしれないけど、みんなのためになるのなら」

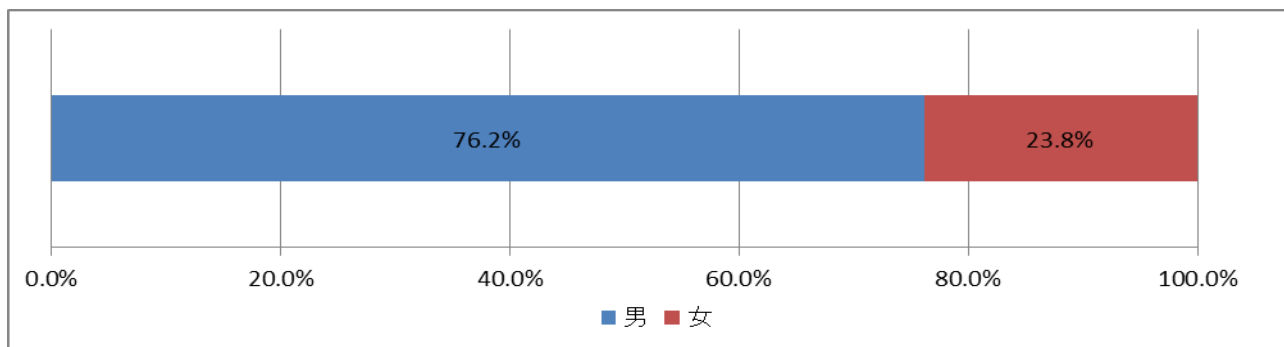
といって寄付をしてくれたんです。感動と同時に、もっとがんばろうと思いました。(IPS)

- チャリティランナーのゼッケンを付けているかとか、沿道でも 7 色の手袋で応援している方がいて、チャリティランナーは初めてでしたが、前回とは違う楽しみ方ができました。来年も絶対に参加したいです。チャリティの仕組みを知らない人も多いから、わたしのまわりで広げる力を持っている人がたくさんいるので、あちこちに声をかけて関心が少しでも広まればいいなと思います。
(more trees)
- 寄付してもらった人たちの思いを考えると力が湧いてきて、最後まで走ることができました。沿道の方からゼッケンに書いてあるぼくのニックネームを呼んで声援していただいたのが心強かったです。(ウォーターエイド)
- 家族、友人、仕事の仲間などさまざまな方にメールをお送りしました。なかには、手紙を書いてチャレンジへの思いを伝えたこともあります。その甲斐もあって、すぐに目標金額を達成することができました。(がんサポートコミュニティ)
- やはり 7 万円というのは高額ですので、本当に集まるかどうか不安でした。そんな気持ちを抱えているときに、身近な人たちから寄付をしてもらうだけでもうれしいのですが、まったく誰かわからない方からも寄付をいただいたときはうれしさだけでなく、驚きもありました。(がんサポートコミュニティ)
- これまでは自分ひとりで運動をする楽しみを噛みしめていたのですが、寄付を募るにあたって、まわりの方々に運動をする喜びやだれかのために活動する喜びが伝わったことがうれしかったです。(ノーベル)
- やはり、長男と同じ病気でお子さまを亡くされた親御さんから寄付をしていただくことはうれしいですね。よし、がんばろうという気持ちになります。7 万円以上の寄付が集まったのは、そういったみなさまのご協力があってこそです。また、亡くなる前に長男とめぐった思い出の場所をトレーニングコースとして走ったのは楽しかったですね。長男といっしょに走っているような気持ちでした。
(難病の子どもとその家族)

Ⅱ、海外ランナー

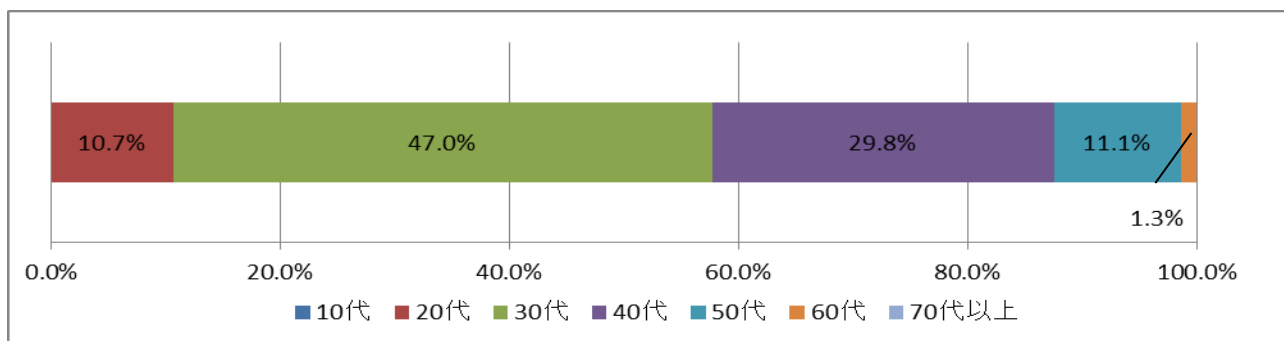
1. あなた自身について

■性別



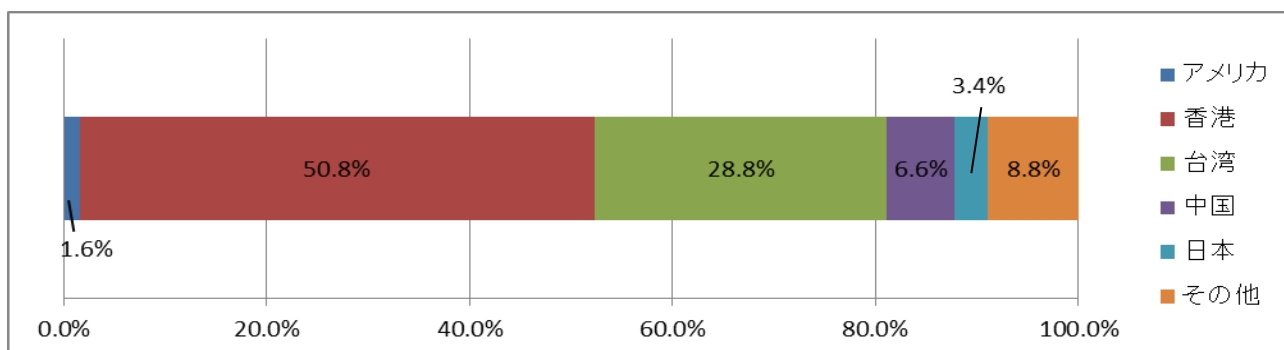
今回調査に協力していただいた海外ランナーの性別では、男性が 76.2%と大半を占めている。女性は 23.8%であった。

■年齢(年代)



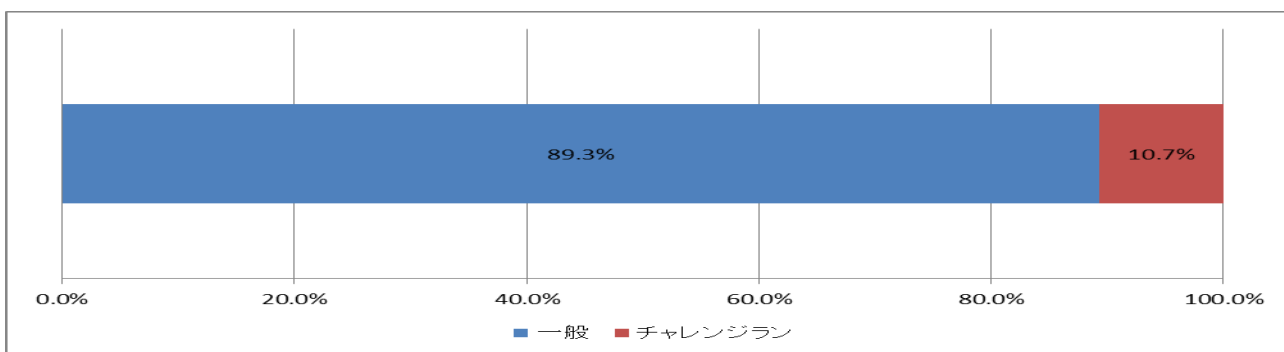
今回調査に協力していただいた海外ランナー年齢は、30歳代が 47.0%と最も多く、次に 40歳代が 29.8%で、50歳代が 11.1%と続いている。

■在住国



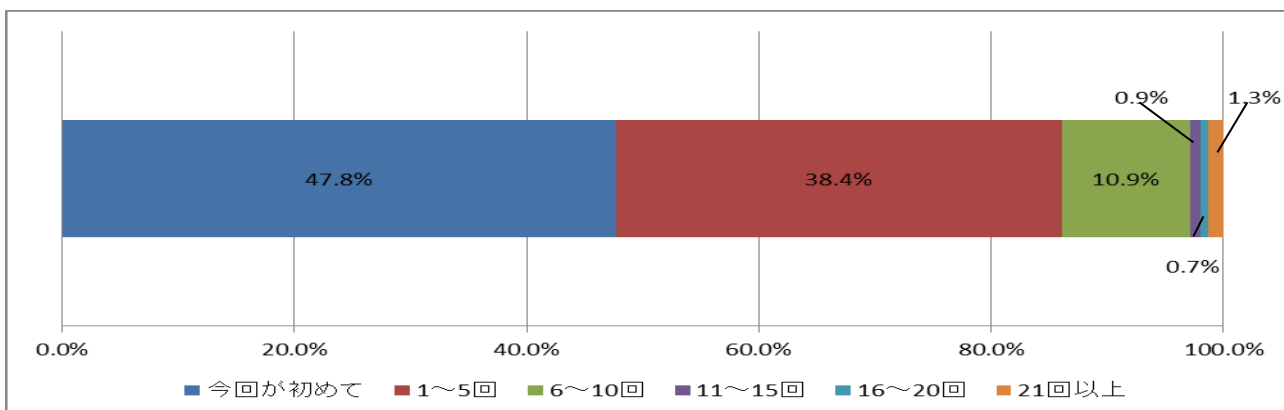
今回調査に協力していただいた海外ランナーの在住国は、香港 (50.8%) が半数を占めているのに加え、台湾 (28.8%)、中国 (6.6%) とアジア圏でおよそ 8 割を占めている。その他 (8.8%) にはカナダやロシア、イタリアからの参加者が含まれている。

■参加種目は何ですか？



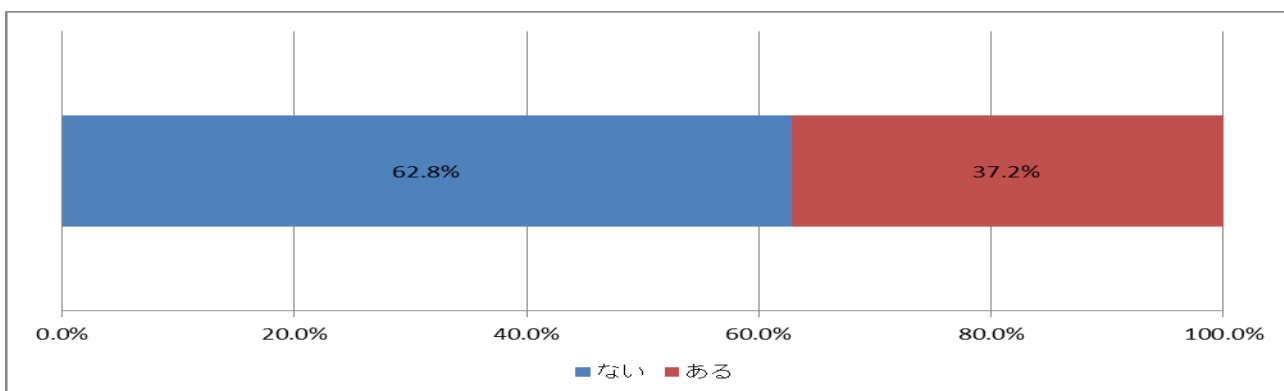
一般(42.195km)種目の参加者がチャレンジラン(8.8km)に比べ、圧倒的に多い。

■これまでの海外での市民マラソン参加経験はありますか？



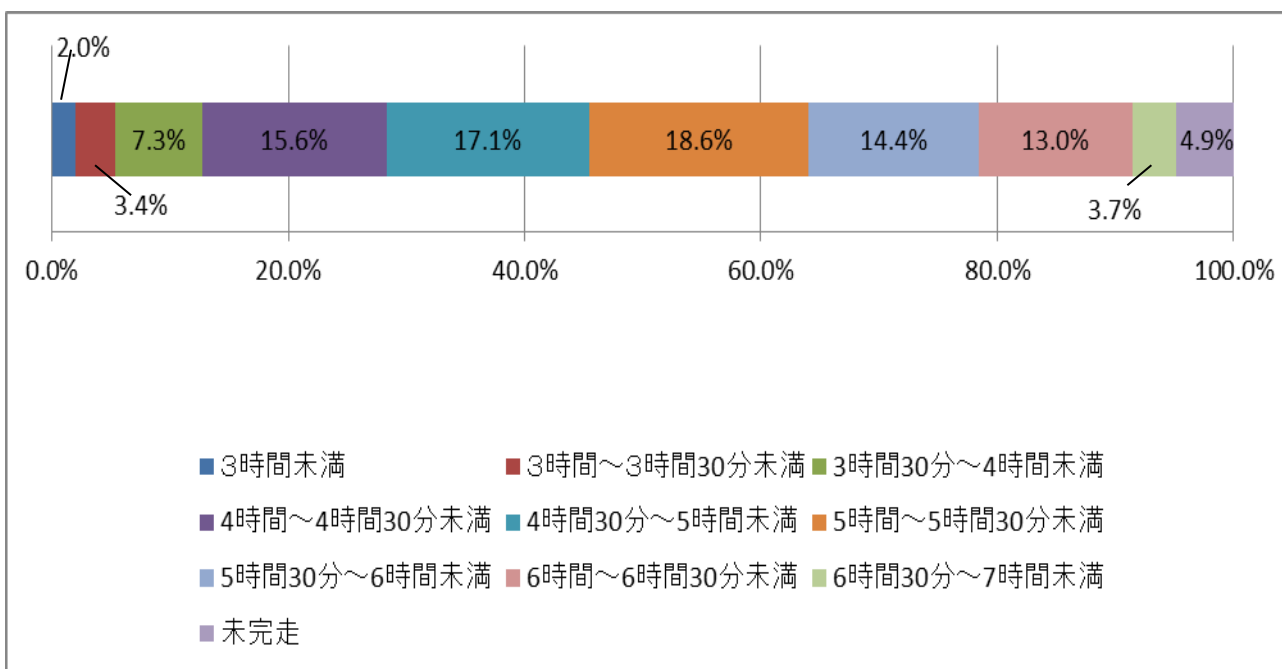
今回の大阪マラソンが初めての参加と答えた人が47.8%と半数近くを占めており、海外での初マラソンに大阪マラソンを選んだ人が半分近くいることになる。

■これまでの日本での市民マラソン参加経験はありますか？



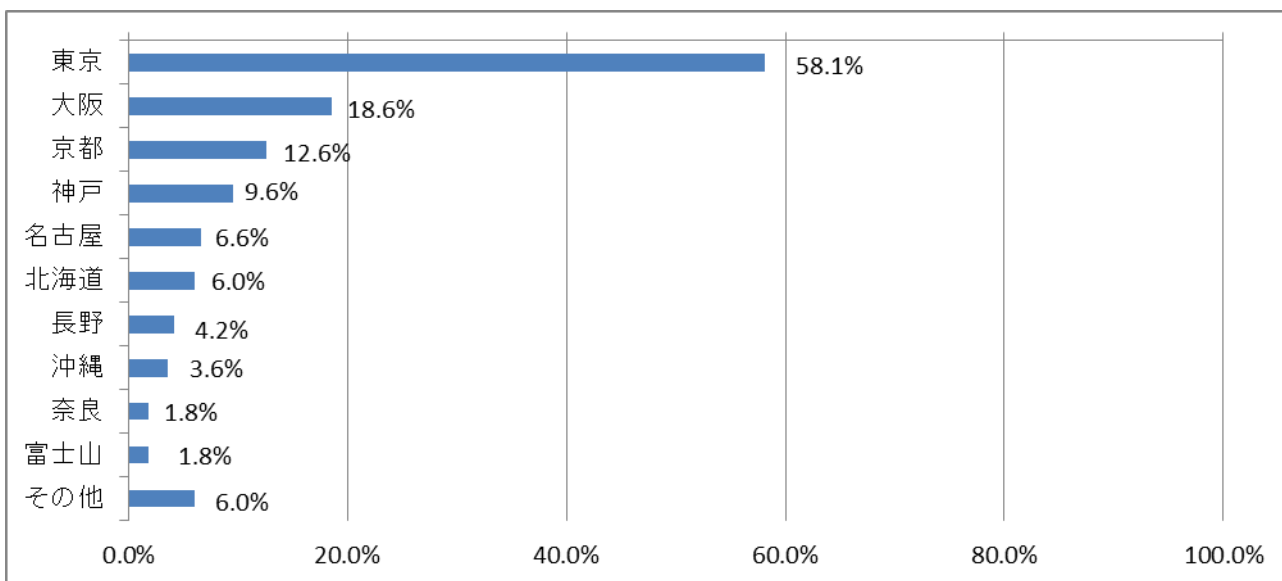
これまでの日本での市民マラソン参加経験は「ない」と答えた人が62.8%と6割を占めており、「ある」と答えた人は37.2%と4割近くあった。

■ 今回のフルマラソンのタイム(チャレンジランを除く)はどのくらいですか？



5時間~5時間30分未満と答えた人が18.6%と最も多く、次に4時間30分~5時間未満と答えた人が17.1%と続く。タイムの上では、偏りが無いといえる。

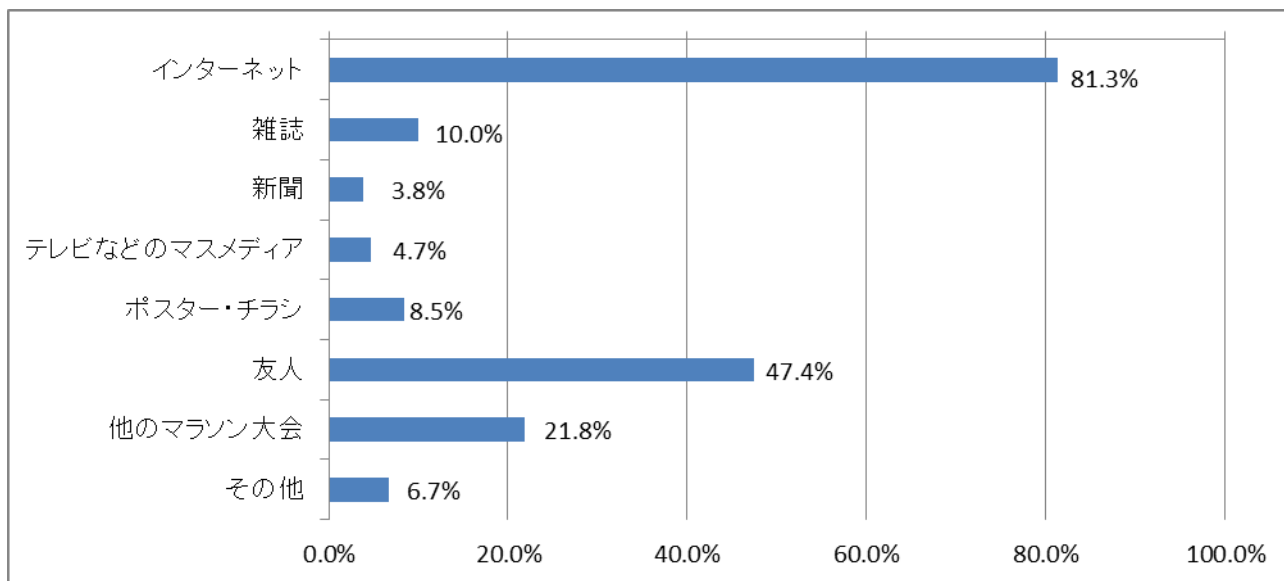
■ 日本で参加したマラソン大会はどこですか？(前項の質問であると答えた人のみ)(複数回答可)



日本での市民マラソン経験のある人は、東京マラソンと答えた人が58.1%と最も多く、次に大阪マラソンで18.6%、京都マラソンで12.6%と続く。つまり、大阪マラソンのリピーターは18.6%であるといえる。

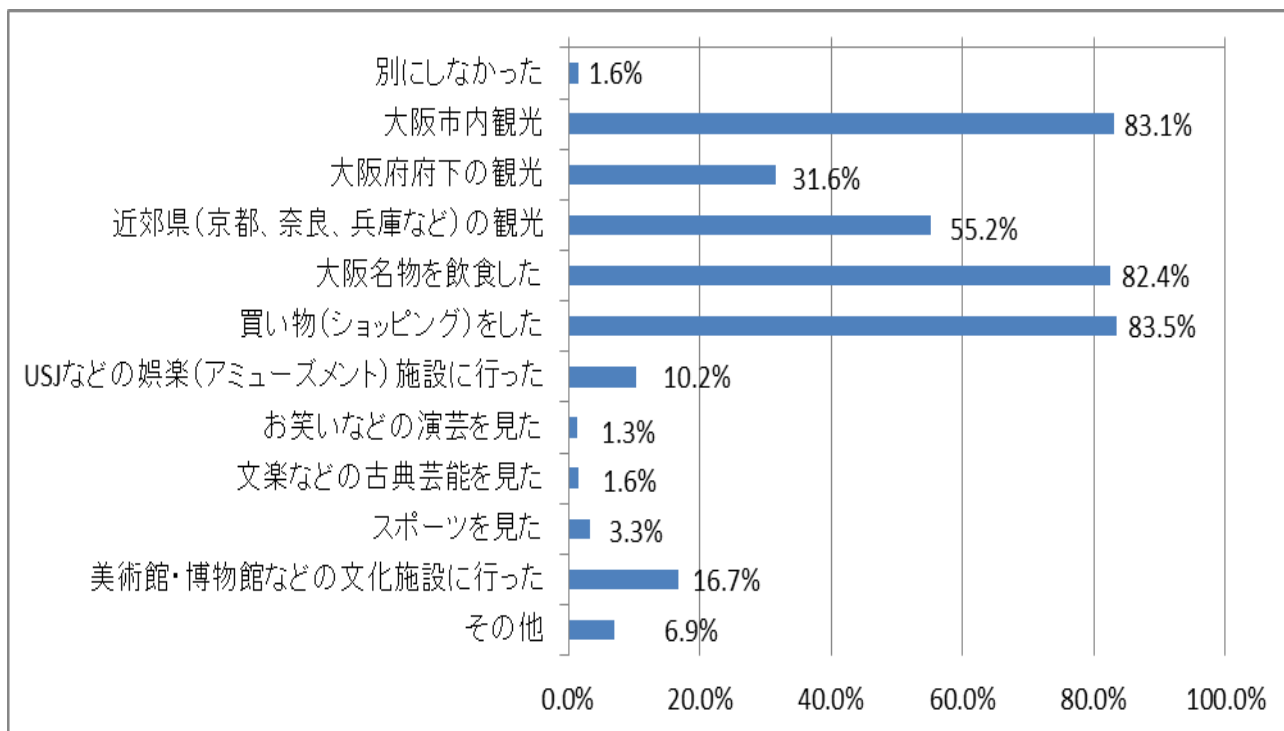
2. 海外ランナーの活動について

■ランニングやマラソン大会の情報は何で知りますか？（複数回答可）



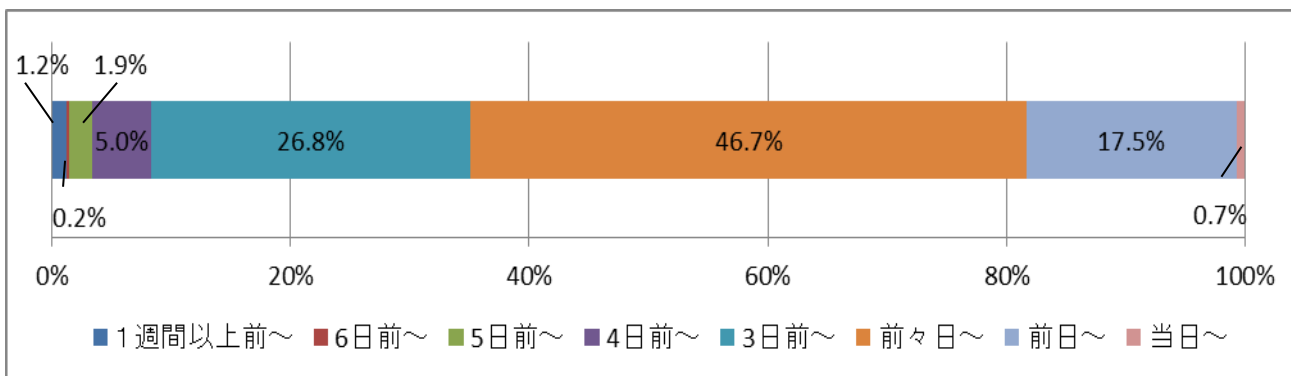
インターネットで知ったという人が81.3%と最も多く、次に友人から知った人が47.4%となった。友人の口コミが情報として有効に働いていることが分かる。

■大阪滞在中に大阪マラソン参加以外に何か活動をしましたか？（複数回答可）



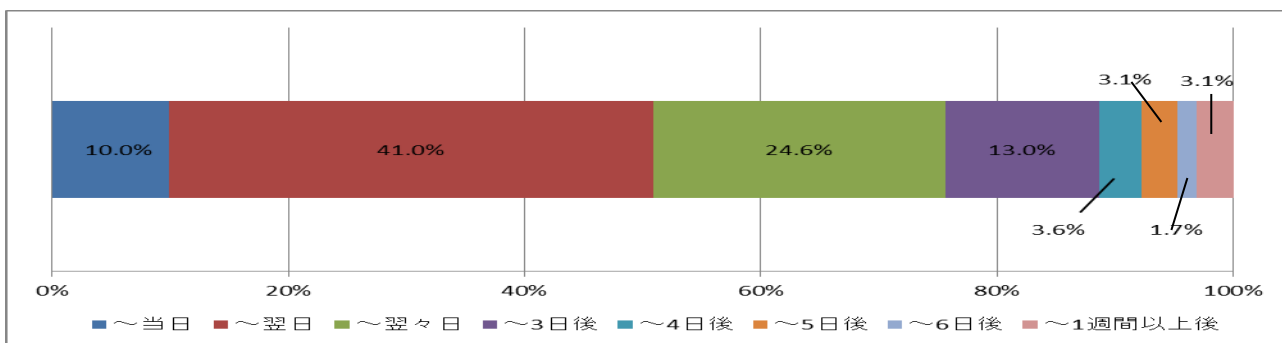
「大阪市内観光」が83.1%、「大阪名物を飲食した」が82.4%、「買い物をした」が83.5%とどれも高い割合を示した。近県への観光も含めるとスポーツツーリズムの傾向が見て取れる。

■大阪には何日滞在しましたか？（大会前）



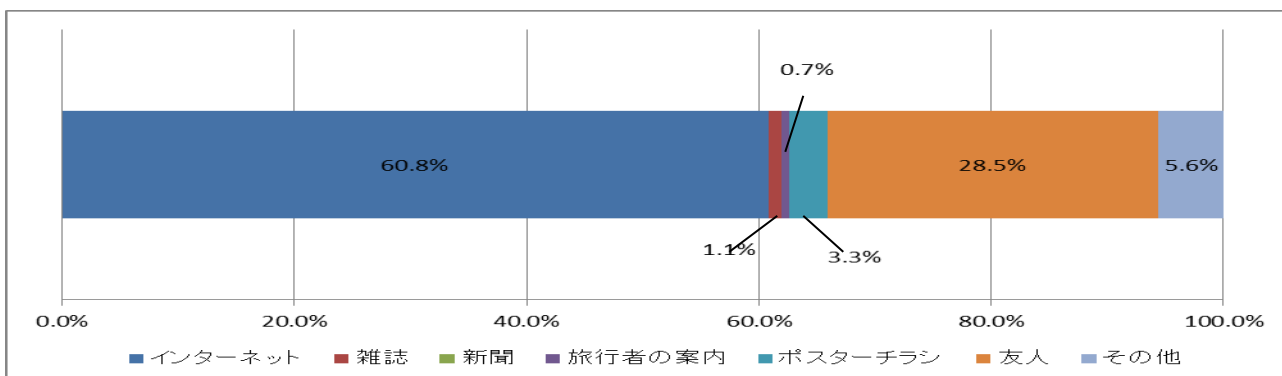
前々日から大阪入りする人が46.7%と約半数を占め、次に3日前が26.8%となっており、大会前の滞在日数は日本人に比べて多いといえる。

■大阪には何日滞在しましたか？（大会後）



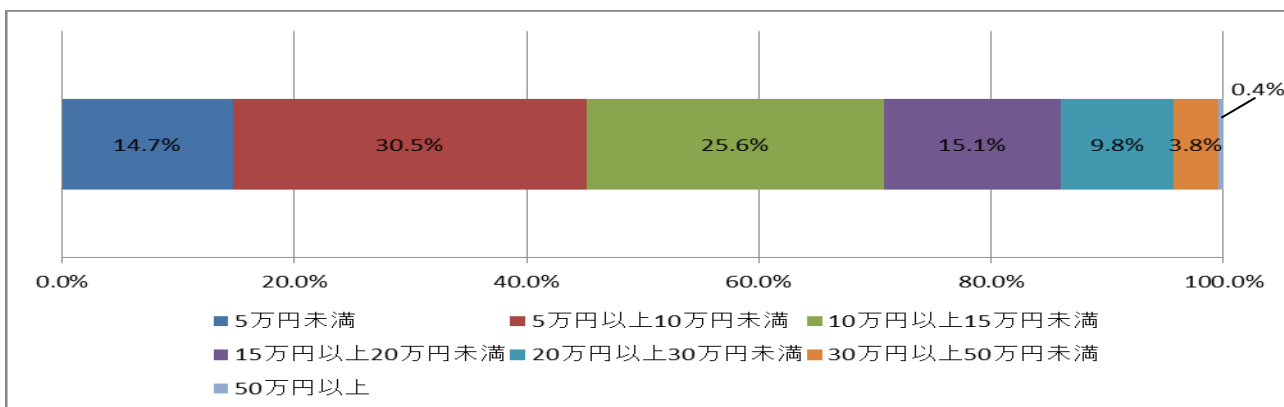
翌日に帰国する人が41.0%、翌々日に帰国する人が24.6%、3日後に帰国する人が13.0%となっており、大会後の滞在日数は少ないといえる。大会後は身体的な疲れから、他の活動を控える傾向にあるといえる。

■大阪マラソンをどのようにして知りましたか？



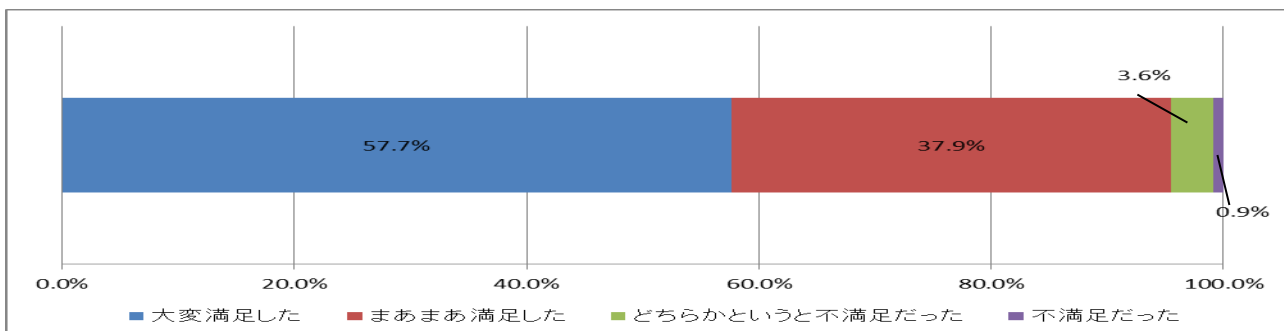
インターネットで知った人が60.8%と最も多く、次に友人から知った人が28.5%となった。大阪マラソンへの参加に友人からの情報が強く機能していることが分かる。

■あなたは大阪マラソンのために概算でどれだけの経費を使いましたか？



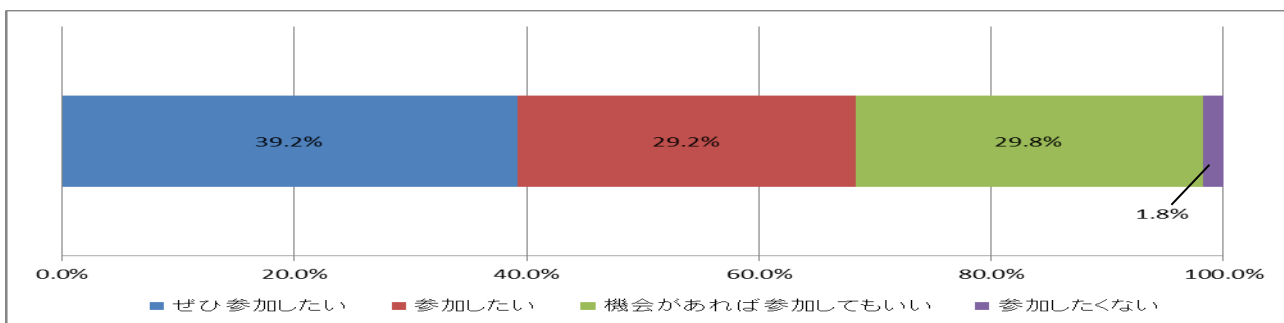
5万円以上10万円未満と答えた人が30.5%と最も多く、10万円以上15万円未満と答えた人が25.6%である。アジア圏からの参加が大半ということもあり、経費はあまりかかっていないといえる。

■第4回大阪マラソンに満足しましたか？



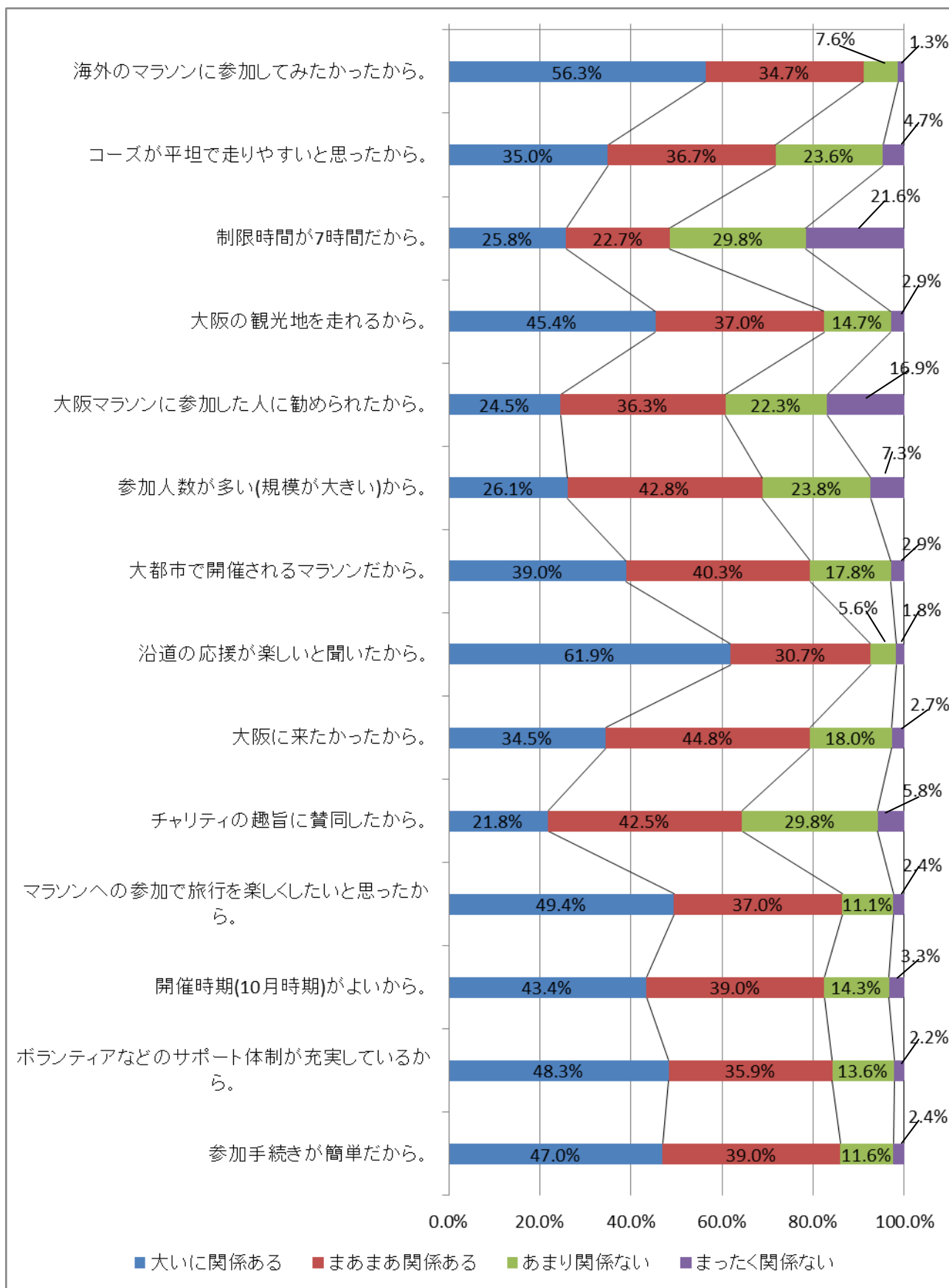
第4回大阪マラソンに「大変満足した」と回答した人が57.7%、「まあまあ満足した」と回答した人が37.9%であり、95.6%の人が満足したと答えており、満足度の高い大会であるといえる。

■大阪マラソンにまた参加したいですか？



「ぜひ参加したい」と回答した人が39.2%、「参加したい」と回答した人が29.2%、「機会があれば参加してもいい」と回答した人が29.8%と、参加意向がある人が9割を超えており、これは満足度の裏づけであるといえる。

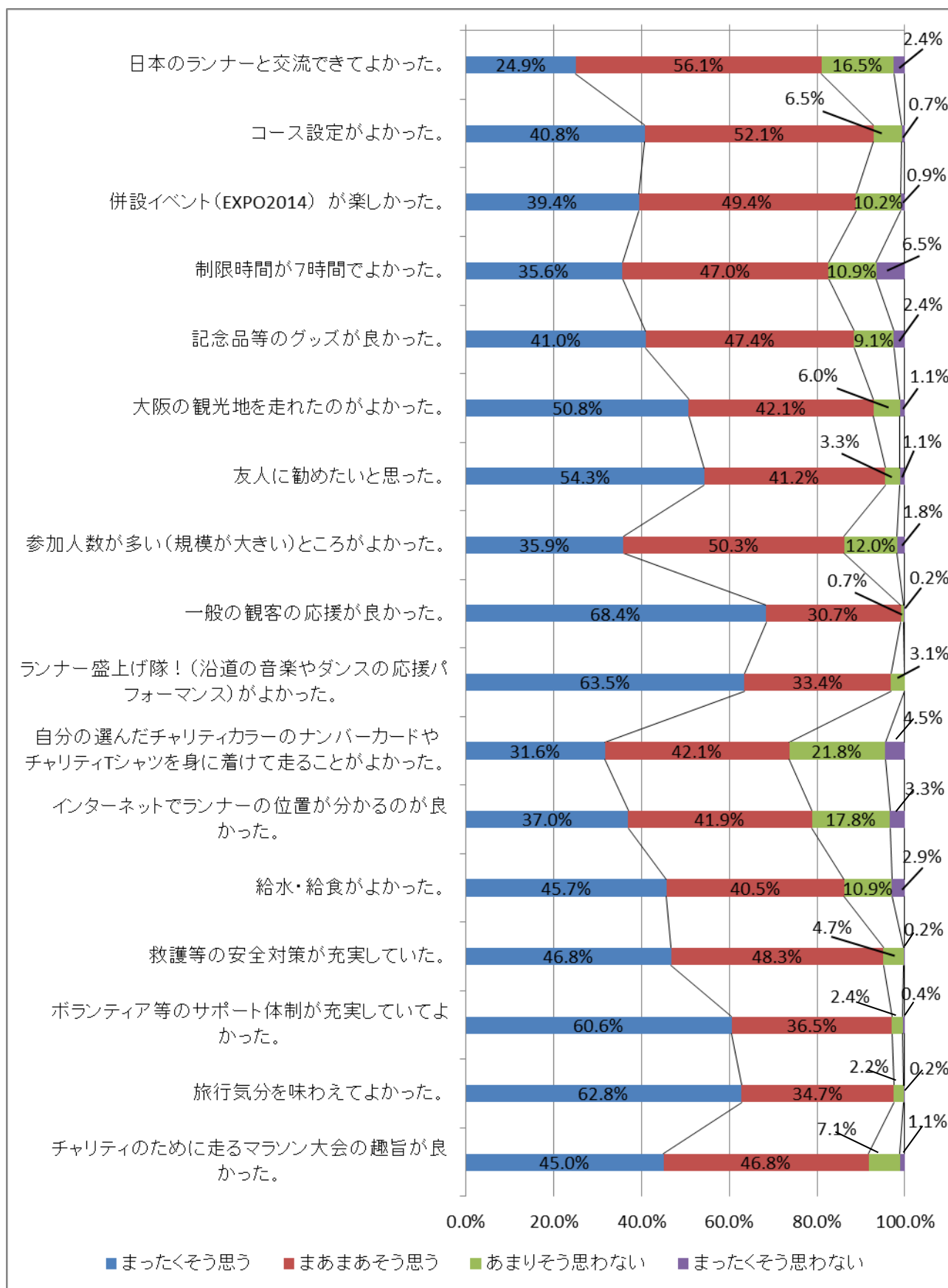
3. 参加目的について



大阪マラソンの参加動機を聞いてみた。「大いに関係ある」「まあまあ関係ある」という肯定的な回答で見ると、「沿道の応援が楽しいと聞いたから」が92.6%と最も高い割合を示しており、大阪マラソンの特徴である観客の応援が大きな誘因になっていることが分かる。次に、「海外マラソンに参加してみたかったから」(91.0%)、「マラソンへの参加で旅行を楽しくしたいと思ったから」(86.4%)、「大阪の観光地を走れるから」(82.4%)とスポーツツーリズムの傾向がみられる。また、「参加手続きが簡単だから」(86.0%)、「ボランティアなどのサポート体制が充実しているから」(84.2%)と運営の良さを参加動機にあげている人も多い。「参加手続きが簡単だから」(86.0%)も比較的高い割合を占めており、エントリー方法というものも参加理由の大きな要因の1つであるということがうかがえる。

しかし一方で、「チャリティの趣旨に賛同したから」と回答した人は64.3%と他に比べて少なく、チャリティマラソンとしての認識は低いといえる。さらに「制限時間が7時間だから」は48.5%と最も低い割合を示したことから、海外の人にとって制限時間は、参加動機にあまり関係がないことがわかる。

4. 参加後の感想について



参加後の感想では、全体的に評価が良いので、「まったくそう思う」という意見の人だけを見ると、「一般の観客の応援が良かった」（68.4%）、「ランナー盛り上げ隊が良かった」（63.5%）と、期待していた観客の応援に対する評価が高く、満足している様子が見える。また、「旅行気分を味わえて良かった」（62.8%）、「大阪の観光地を走れて良かった」（50.8%）と、スポーツツーリズムについての評価も高い。さらに、「ボランティアなどのサポート体制が充実していた」（60.6%）、「救護等の安全対策が充実していた」（46.8%）と運営面での評価も高い。

ただ、「日本のランナーと交流できて良かった」は24.9%と、交流に関しては評価があまり高くない。チャリティに関しては、「チャリティのために走るマラソン大会の趣旨が良かった」は45.0%と評価する一方で、「自分の選んだチャリティカラーのナンバーカードやチャリティTシャツを身につけて走ることが良かった」に対しては31.6%と評価が低く、チャリティグッズの改善が望まれる。

5、満足度の判別分析

海外ランナーの満足度の規定要因を明らかにするために、「大変満足した」と答えた人と、それ以外の人（「まあまあ満足した」「どちらかという不満足だった」「不満足だった」と答えた人）で、大会運営について、どのような項目で満足度に違いがあるのかを判別分析によって明らかにした。

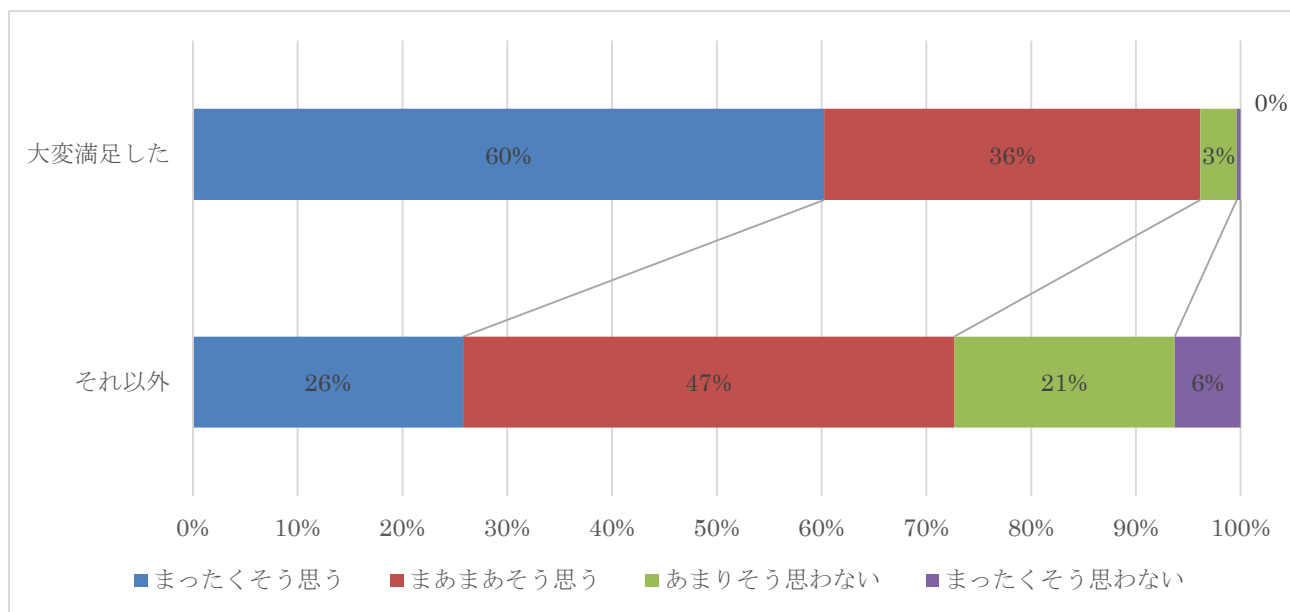
■参加後の感想と満足度の判別分析

項 目	偏相関係数
給水・給食	0.28817
友人への推薦	0.28569
旅行気分を味わえる	0.19327
コース設定	0.18581
関連グッズ	0.18549
参加人数の多さ	0.18004
併設イベント	0.17391
一般観客の応援	0.17304
安全対策の充実	0.14493
サポート体制の充実し	0.14169
チャリティの趣旨	0.13851
盛上げ隊の設置	0.13378
観光地の走行	0.10312
7時間の制限時間	0.08284
日本人ランナーとの交流	0.06267
チャリティカラーのグッズの装着	0.06023
インターネットでのランナーの位置情報の提供	0.02972

その結果、1位に「給水・給食」、2位に「友人への推薦」、3位に「旅行気分を味わえる」があがっており、これらに満足度の違いみられた。

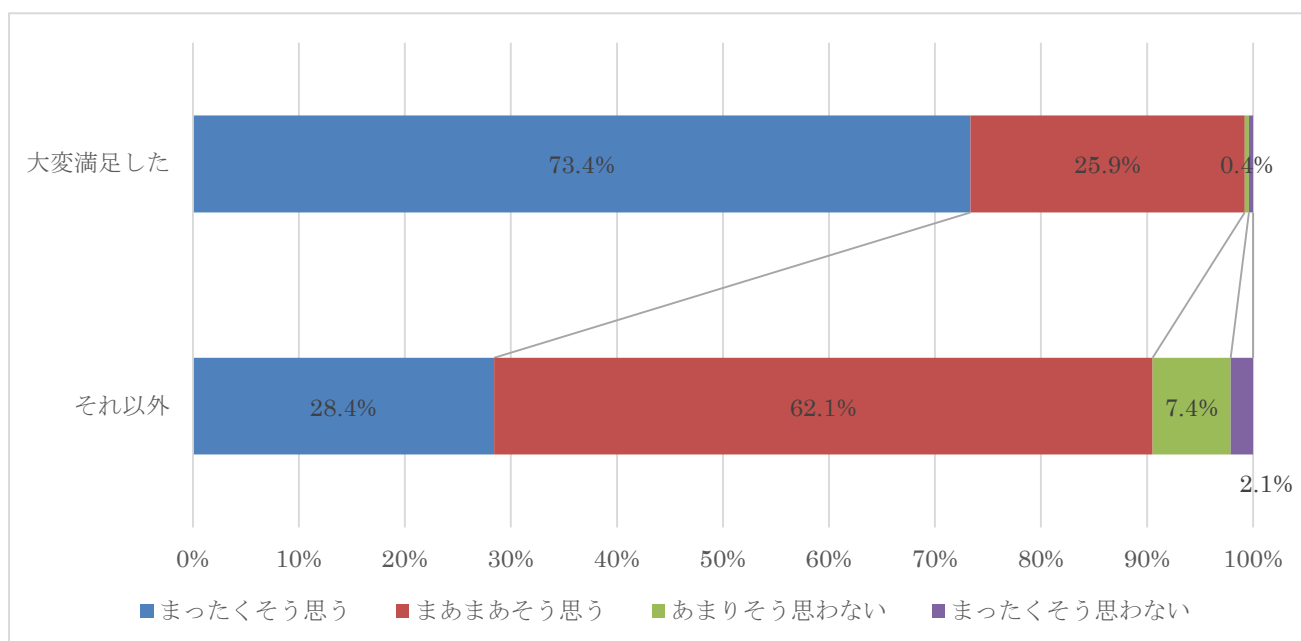
次にその上位三位について内容をみていく。

■満足度と給水・給食



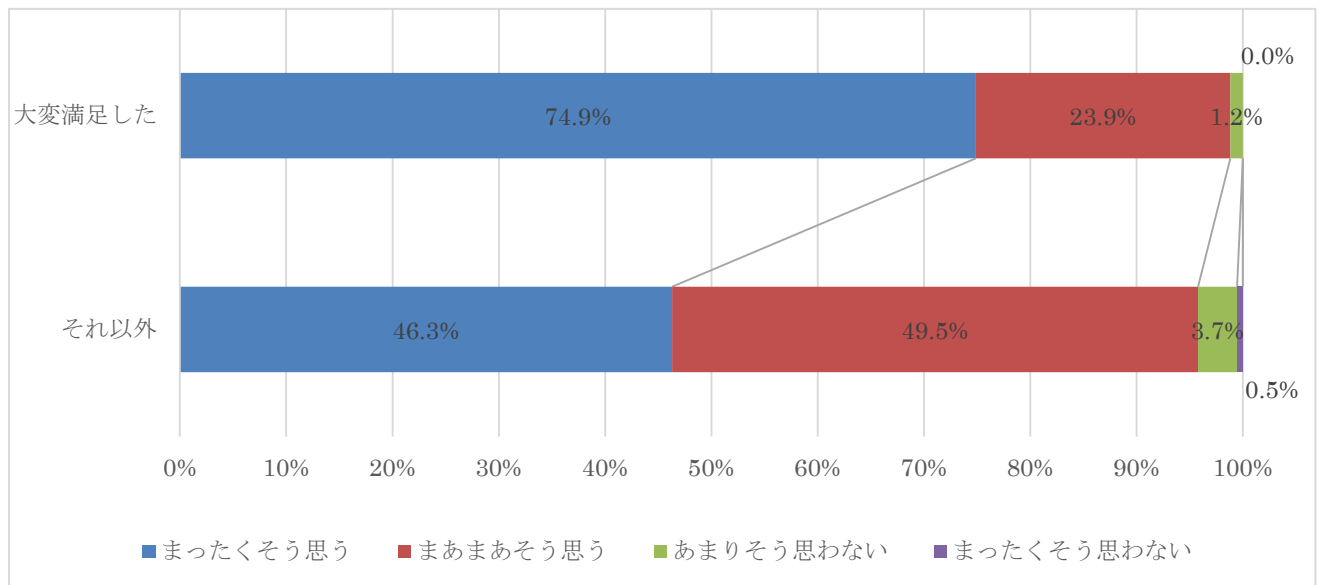
海外ランナーで何らかの不満を持っている人は、給水・給食のサービスについて、あまり積極的な評価をしていないということである。

■満足度と友達への推薦



海外ランナーで何らかの不満を持っている人は、大阪マラソンを友達に積極的に勧めようとしていないということである。

■満足度と旅行気分が味わえる



海外ランナーで何らかの不満を持っている人は、あまり旅行気分を味わえたとは思っていないということである。

以上のように、海外ランナーにとっては、給水や給食といった走ることを支えるサービスについて改善する必要があると思われる。また、当然のことであるが、不満を持った人は友達に薦めようと思わないので、この項目があがっている。さらに、旅行気分を味わえるかどうか、満足度を左右する要因としてあがっていることから、海外ランナーに対してはスポーツツーリズムとしての運営上の工夫が必要であると考えられる。これに加えて、満足度を高めるために、コースの設定の改善や関連グッズの改善などが望まれる。

海外ランナー自由記述（抜粋）

- 軽食はゴール後に設置した方が良い。そのほうが魅力的だ。ランナーはきっと本場の美味しいものを食べる時間がある。そうすると 32 キロ地点でわざわざ止まって食べる必要はない。ゴール地点でまず水やバナナを配置し、ランナーは完走後まずエネルギーと水を補給する必要がある。記念品はそのあとにゆっくりと取る。ありがとう!!（香港）
- 全体的に良かったです。1. 私のような後尾ランナーへ 23 キロ地点のステーションでバナナが残っていませんでした。その時点で、この後も水もフードも残っていないのではないかと怖くなり、大変気落ちしました。2. 25 キロ地点でスポーツドリンク用のカップがなかったので、ゴミ箱から使用済みのカップを拾って使わなければいけませんでしたが。3. 東京マラソンと比べて、コース上の大阪の観光スポットはあまり魅力的ではありませんでした。（香港）
- 大阪マラソンはとても良い経験でした。よく企画されていました。もっともっと良くなって、メジャーなマラソンになってほしい。（香港）
- 英語で交通機関のガイドがあれば良いと思います。どの駅で降りれば、スタートラインに着くのか、大阪の中心地に戻るのに複数の方法の提案など。他の駅を目指しているとき、少し迷ってしまい、ものすごく遠い所に着いてしまいました。42 キロ走った後歩くと本当にきつかったです。どう行けばよいのか誰も説明してくれなくて、本当に泣きそうになりました。もしもバスのオプションなど教えてもらえたら、すごく嬉しかったと思います。（お分かりと思いますが、本当に座りたかったです。）（中国）
- すばらしいマラソンでした。人々がとてもフレンドリーで、マラソンはよく準備されており、楽しいコースとすばらしい都市でした。大阪、ありがとう！（香港）
- 荷物預かりの場所とスタート地域が遠すぎる。これまで参加したすべての大会と比較しても、極端に遠い。初参加で要領をよく得ない人たちは、プログラムの見取り図では荷物預かり場所が完璧に把握できず、スタートの時間が迫ってあせっているのを多々見かけた。（カナダ）
- 完走後、英語でどのように、またウェブ上のどこで、結果を知りえるのか全然わかりませんでした。作動しているリアルタイムオンラインチェックはあるのですか。（シンガポール）
- マラソン初体験のランナーとして、スタート地点を通過まで 20 分もかかったせいで、関門閉鎖時間に間に合うように追いかけて、大変だった。関門閉鎖時間をもう少し伸ばしたらもっと良いかもしれない。（台湾）

- でんでんタウンと黒門市場をコースに含むことは可能か？（香港）
- 基本的に非常に見事だ。特にずっと頑張り続けたボランティアたち、どんなポジションにいても、いずれも専門的に応対し、非常に親切でやさしかった!ありがとう！（香港）
- 企画者側はもっと多くの大阪の商店と密接に連携して、マラソンランナーへのディスカウントを奨励するとよいでしょう。T シャツですが、サイズの交換ができればよかった（レースの数週間前に）（香港）
- 次回はもっと大きな完走者メダルをください。（フィリッピン）
- どんどん海外のランナーに大阪の良さをアピールし、東京に負けない素晴らしいマラソンに育てて下さい。微力ながら、海外でマラソンに取り組む友人に大阪の良さ、楽しさを口コミで広めていきたいと思います。（アメリカ）
- 主催者側と日本の人々のおもてなしの心に感謝します。みなさんは、素晴らしい仕事をしてください、事前の準備やボランティアたちも見事でした。そのお蔭でランナーたちはレースを完走することができました。もしも時間が許すなら、また戻ってきてレースに喜んで参加したいです。みなさんの尽力に感謝します。（香港）
- すばらしいマラソンでした。とても良いコースと人々、そしてマラソン自体よく企画されていました。今まで7回マラソンに参加してきましたが、大阪マラソンはその中でもベストになると思います。すばらしい経験をさせてくれてありがとう。（香港）
- 電車で受付会場までに行く路線案内をもっと明確にしたほうがいい。 a, 中央線の主な乗換駅で看板や地図を増やすこと。中央線から南港ポートタウン線に乗り換えた時、ちょっと迷った。会場に辿り着くまで、時間がかかった。 b, 受付会場の外に大会の気球を上げて、目標を明確にすることを提案する。 2、給水所の水とスポーツ飲料が十分で、この点がすばらしい!大会のすべてのボランティアに感謝する。食塩やスライスレモンの給食を増やしてほしい。沿道で水やスポーツ飲料を飲んだが、塩分や電解質の流失により、25キロ地点から水やスポーツ飲料が飲めなくなるからだ。その中の一つの補給所に塩飴の給食があって、2つ食べて塩分を補充した。3、沿道のトイレの配置数が十分ですばらしかった!4、私は海外からのランナーで、エントリーのゼッケンに中国語の名前を印刷してほしい。大会の記念になるため。（台湾）
- 大阪の街の精神は勇気を与えてくれて、とても良かった!この中には、ボランティアや盛上げ隊なども含みます。大阪の文化を見ることができてよかった。大阪マラソンはランキング上位にします。また参加したいです。日本語を読めない、話せないアメリカ人としても、このマラソンはよく企画

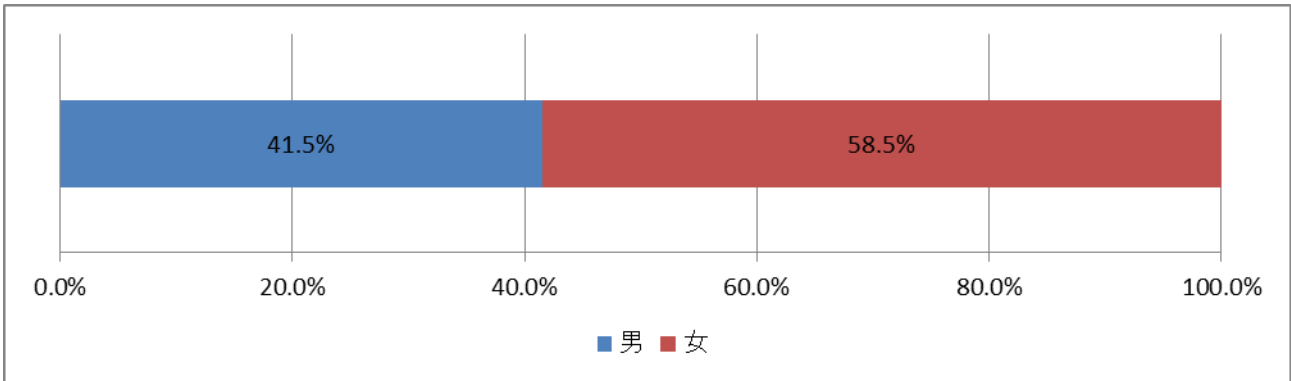
されたものだと思います。本当によかったです！このイベントの鍵は、大阪の人々の情熱でマラソンを支えていることに違いないと思います。（アメリカ）

- 日本の文化や走ることへの情熱や愛が大好きです。日本で走ることは楽しい気分にしてくれるし、それが一番重要なことです。（香港）
- 大阪マラソンの名物は給食だ。給食をもっと早くスタート（例えば 26 キロ地点）したほうがもっと良い。（マカオ）
- もし補給の準備をもっと十分にし、沿道の市民とのコミュニケーションをもっと多くなり、大阪の有名な観光地を見ることができたら、私は毎年参加したいと思う。（台湾）
- 全体的によく運営されていて、とても良かったです。特にゴール前のチアリングダンスがすごく、すごく、良かったです。（シンガポール）

Ⅲ、觀 客

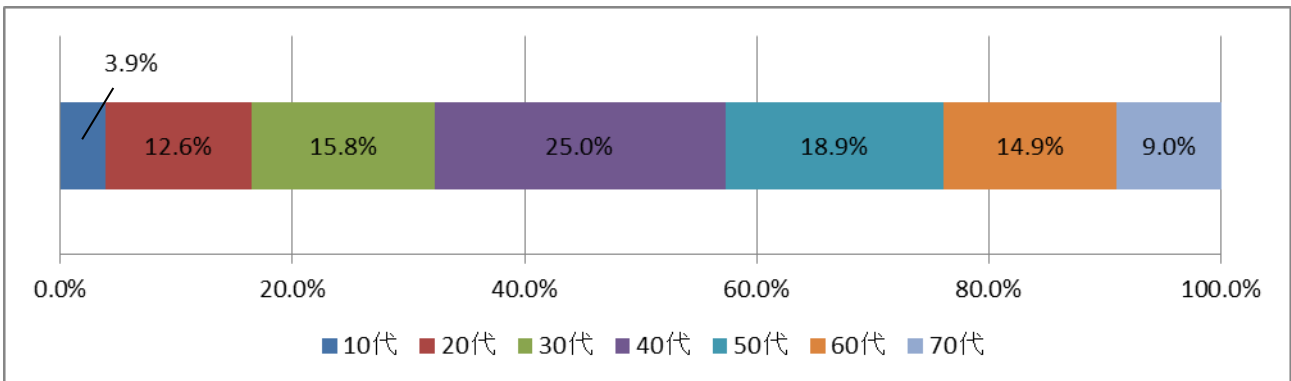
1. あなた自身について

■性別



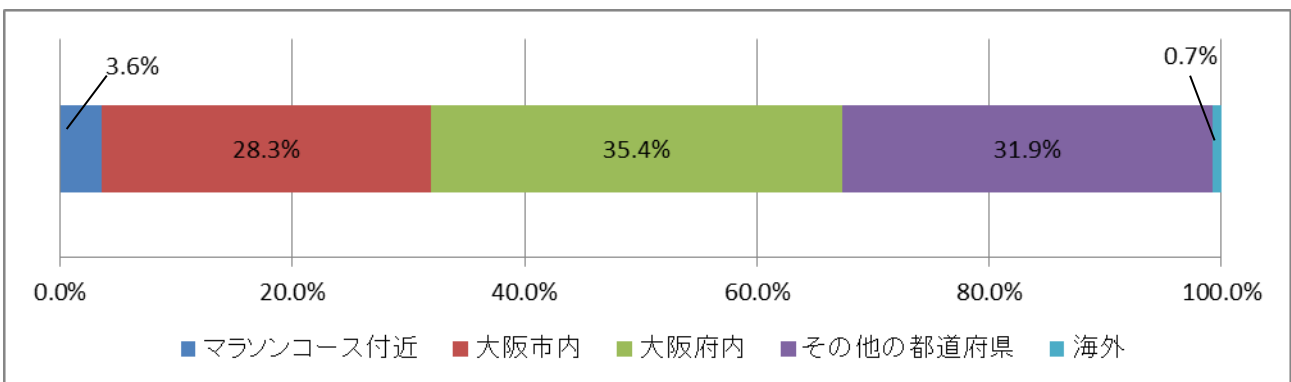
男性が41.5%、女性が58.5%と女性の方がやや多い結果になった。

■年齢（年代）



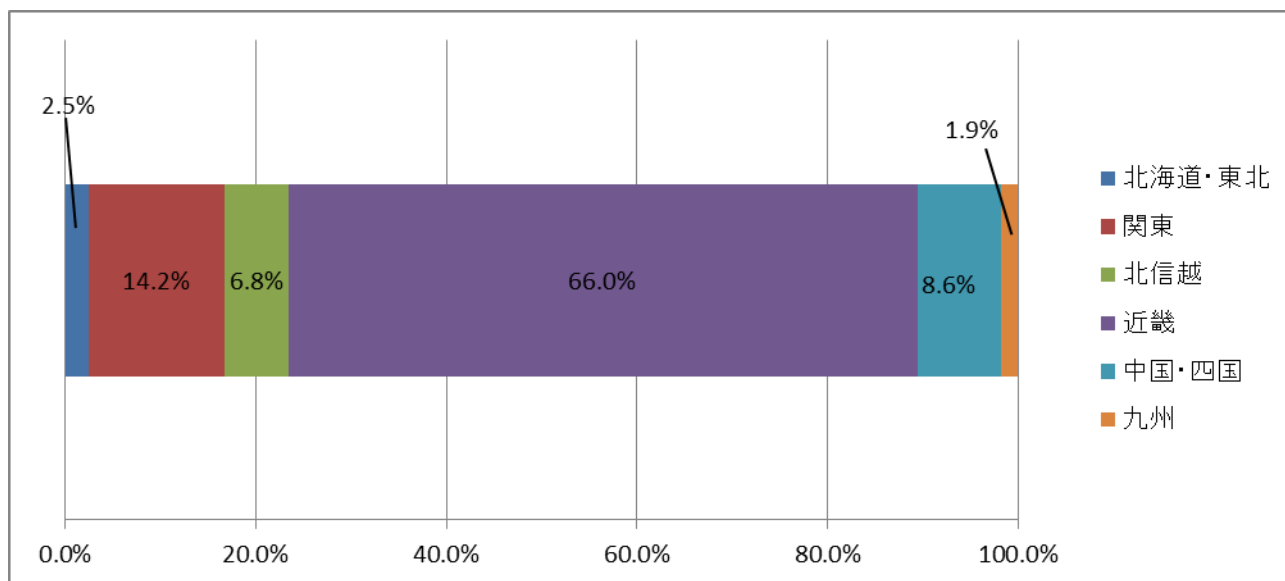
調査対象である観客の年齢は、40代が25.0%と最も多く、20代が12.6%、30代が15.8%、50代が18.9%とバランスよく分布しているが10代が3.9%と少なくなっている。

■居住地



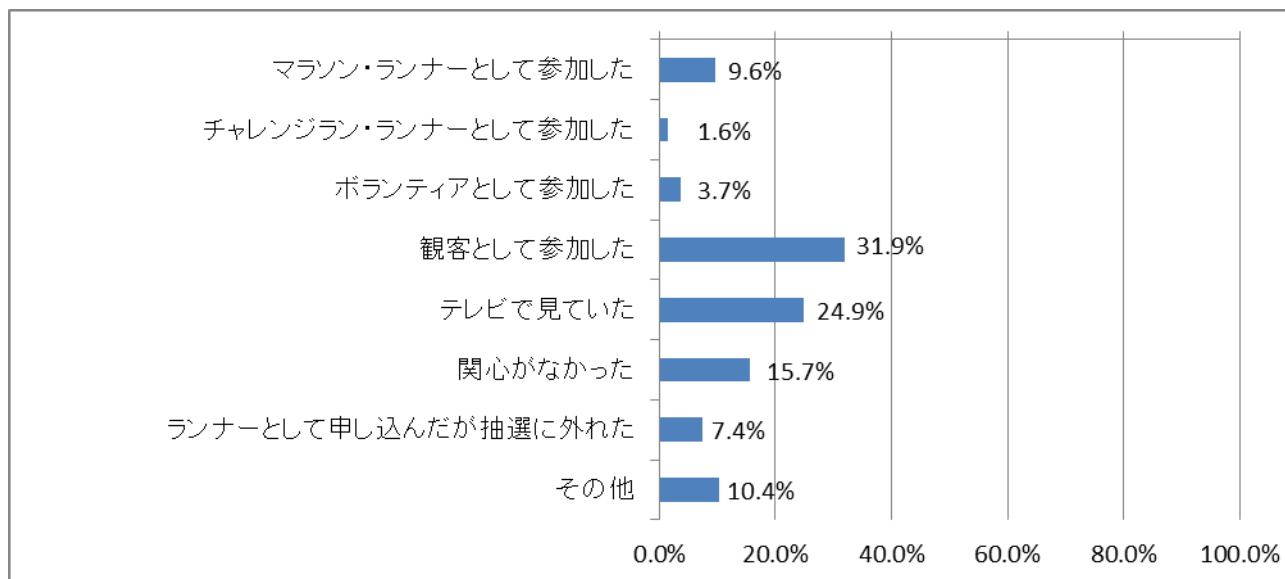
マラソンコース付近が3.6%、大阪市内が28.3%、大阪府内が35.4%と大阪在住者が約67%にも及んでいる。第3回調査では大阪在住者が約60%であったことから、大阪マラソンが大阪のイベントとして住民に定着しつつあることがうかがえる。

■大阪府以外の都道府県



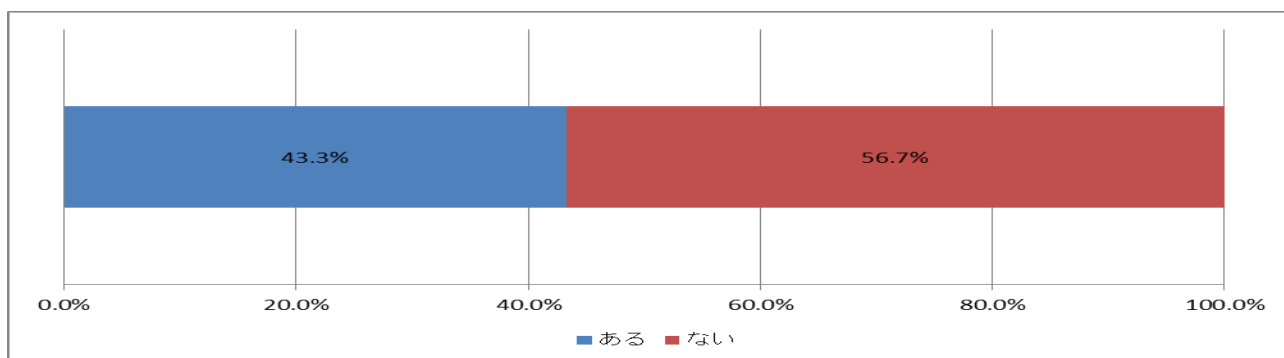
当然のこととして近隣の近畿圏が66.0%と多い。ただ、関東からは14.2%、中国四国からは8.6%の観客があり、全国に広がっていることがうかがえる。

■これまで、大阪マラソンには参加されましたか？（複数回答可）



観客としてのリピーターが31.9%、テレビで見ていて今回は観客として参加した人が24.9%、関心なかった人が今回は観客として参加している人が15.7%と、実際にマラソンをみることへの移行傾向がみられる。

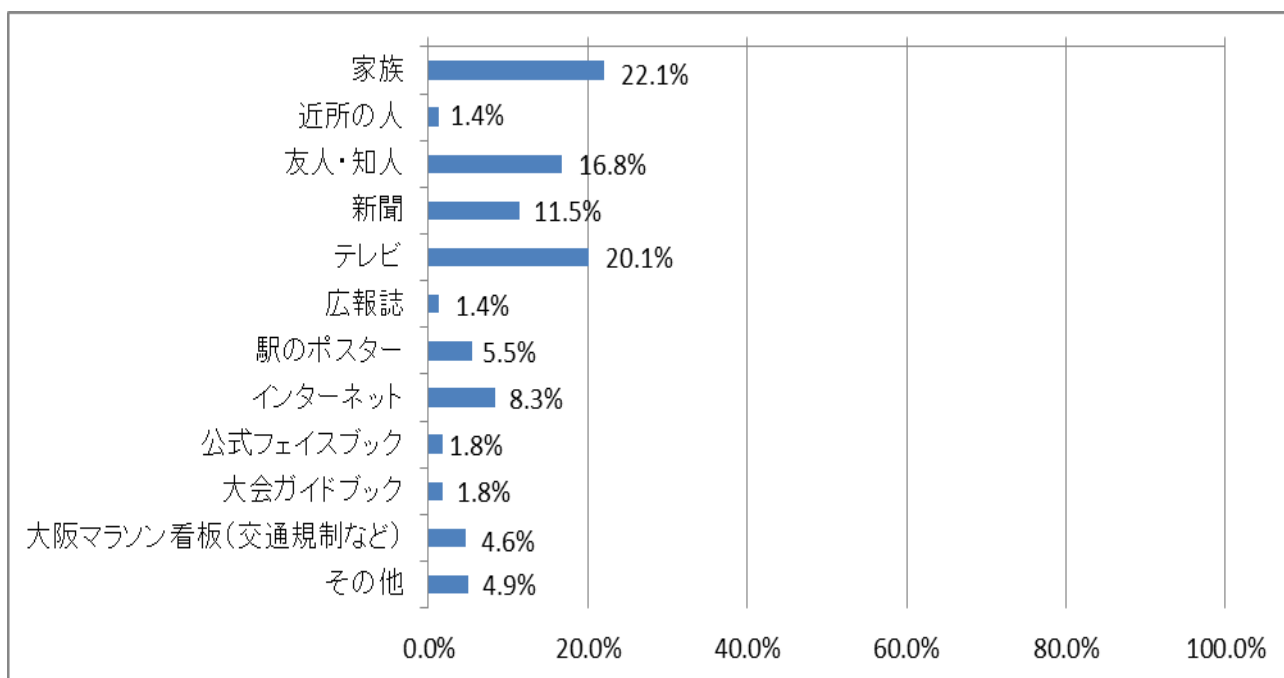
■大阪マラソン以外のマラソンの観戦経験はありますか？



大阪マラソン以外のマラソンの観戦経験があると答えた人は43.3%であり、大阪マラソン以外のマラソンの観戦経験がないと答えた人は56.7%であった。大阪マラソン以外のマラソンの観戦経験がないと答えた人が56.7%と若干高いことから、マラソンそのものに興味があるのではなく、開催場所や非日常を味わうなど他の要因が影響していると考えられる。

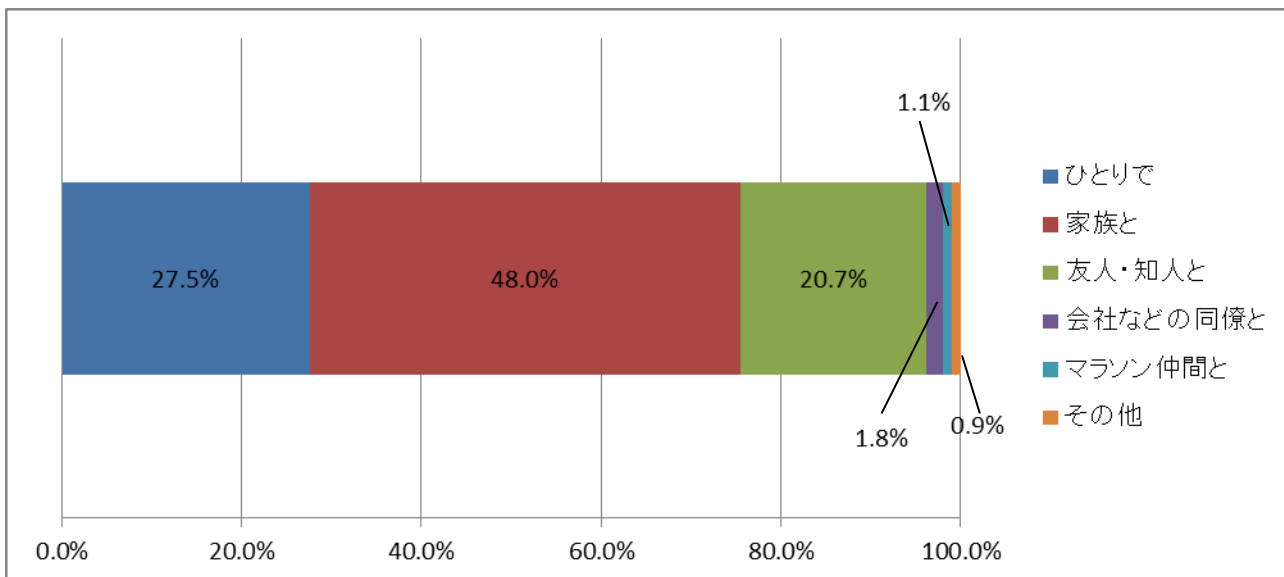
2. 観客の活動について

■大阪マラソンについてどのようにして知りましたか？（複数回答可）



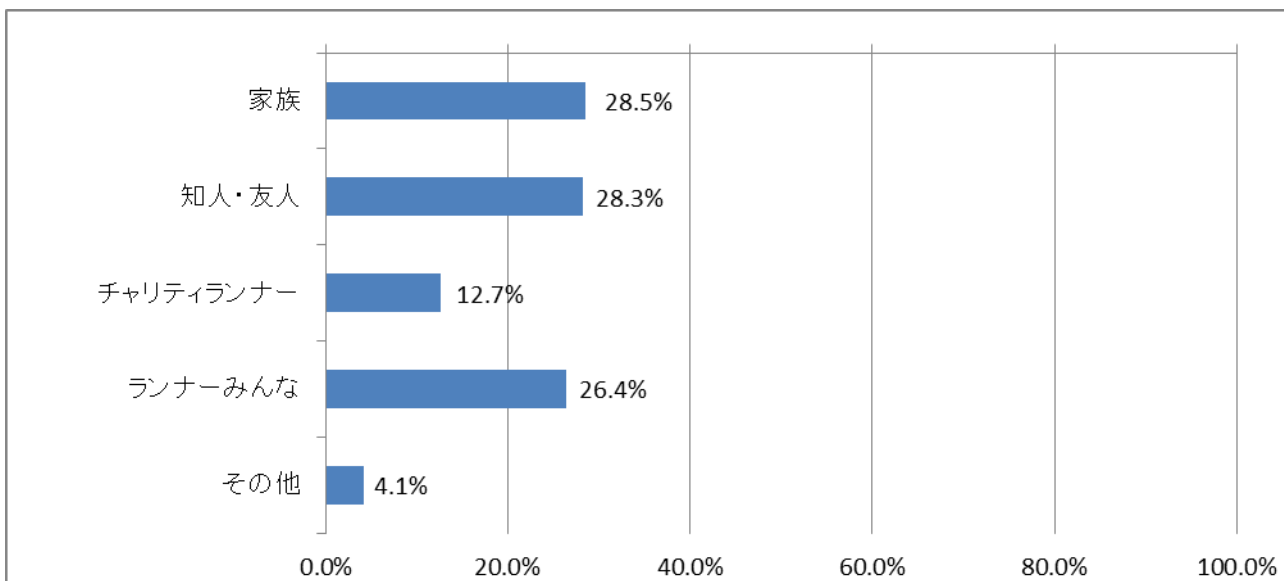
大阪マラソンを知った経緯として、第3回と同じように家族(22.1%)、テレビ(20.1%)、友人・知人(16.8%)が多いことより、口コミで広がっていることが読み取れる。

■今日はどうなとお越しになりましたか？



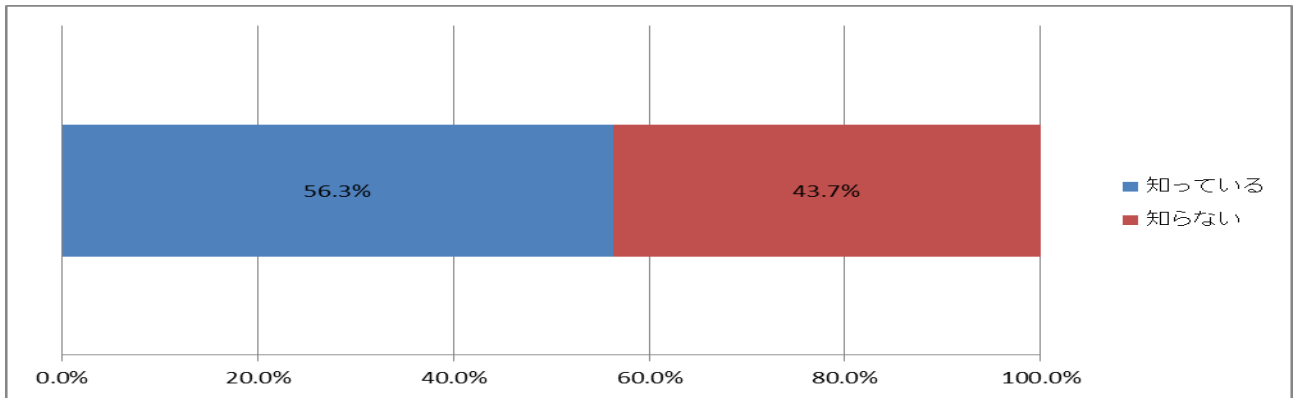
家族と来た人が48.0%と最も多く、家族の中で参加しているランナーを応援に来たという人が多い。同様に、友人・知人と一緒に来た人（20.7%）も、知り合いのランナーを応援しに来ている。ただ、27.5%が一人で来たとなっており、応援自体を楽しみにきているといえる。

■だれを応援しましたか？（複数回答可）



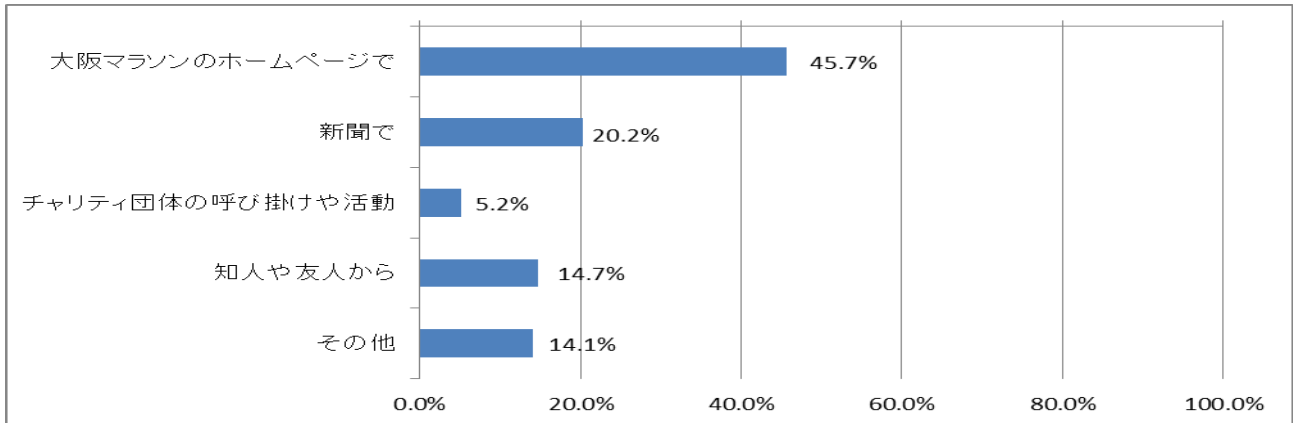
家族（28.5%）、知人・友人（28.3%）を応援している人と同じように、ランナーみんなを応援している人（26.4%）も多いことが分かる。このことより、知らない人を応援する観客も多くいることの実態を見て取れる。

■チャリティランナーを知っていますか？



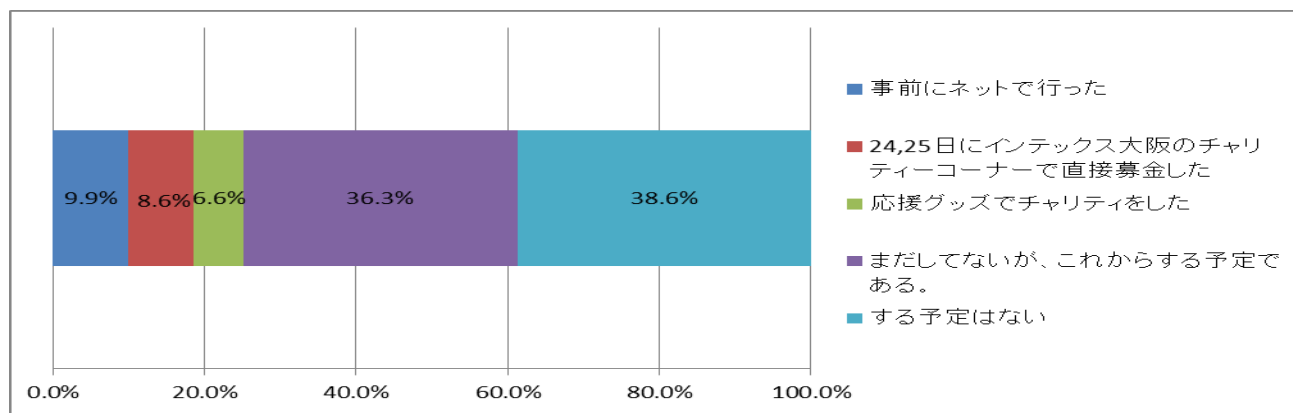
調査した人の 56.3%の人がチャリティランナーのことを知っていると答えており、知らないと答えた 43.7%の人を上回っていた。これはチャリティアンバサダーの人たちの効果があったと考えられる。

■チャリティランナーをどうしてお知りになりましたか？



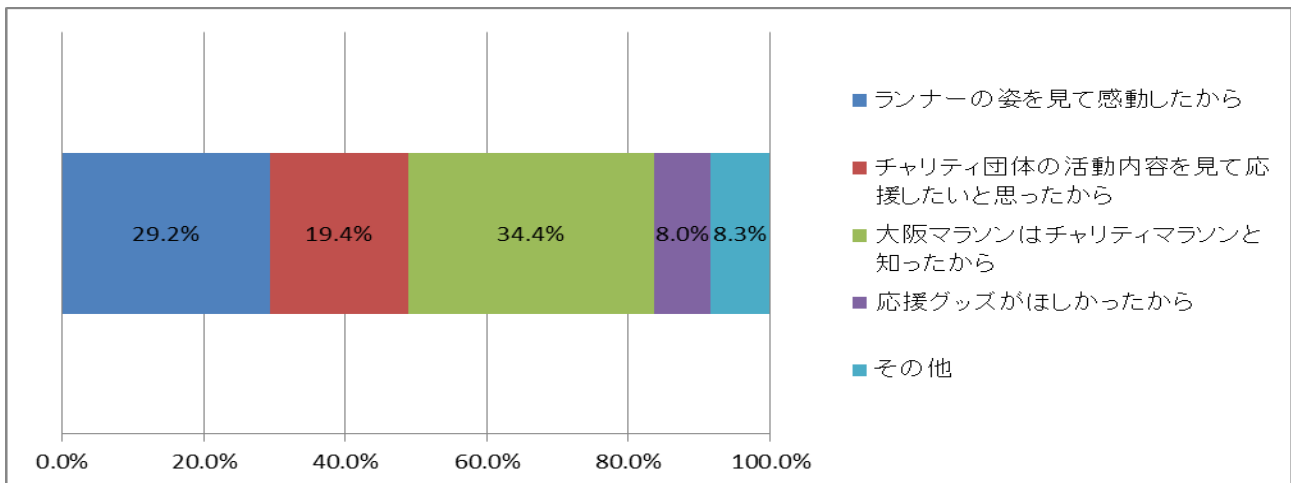
チャリティランナーについては、45.7%と大半が大阪マラソンのホームページで知っており、ホームページでその趣旨を明確にわかりやすく伝えていく必要がある。

■募金（チャリティ）はされましたか？



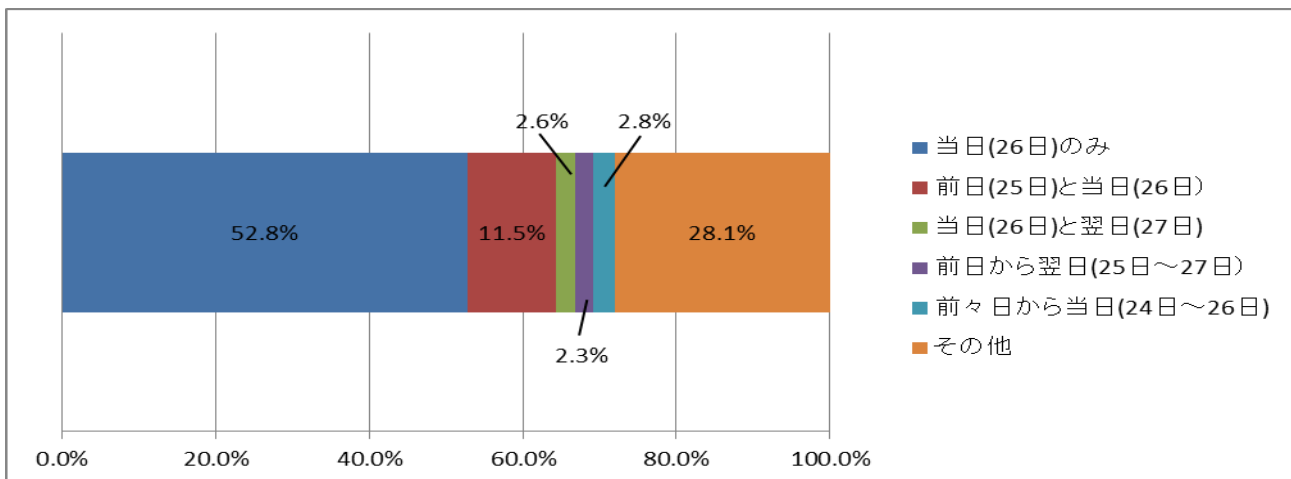
募金を何らの形でした人は 25.1%と 4 人に一人はチャリティをしている。また、36.3%の人が募金をする予定であるとしており、募金方法の工夫が必要である。

■募金をしようと思われたきっかけはなんですか？



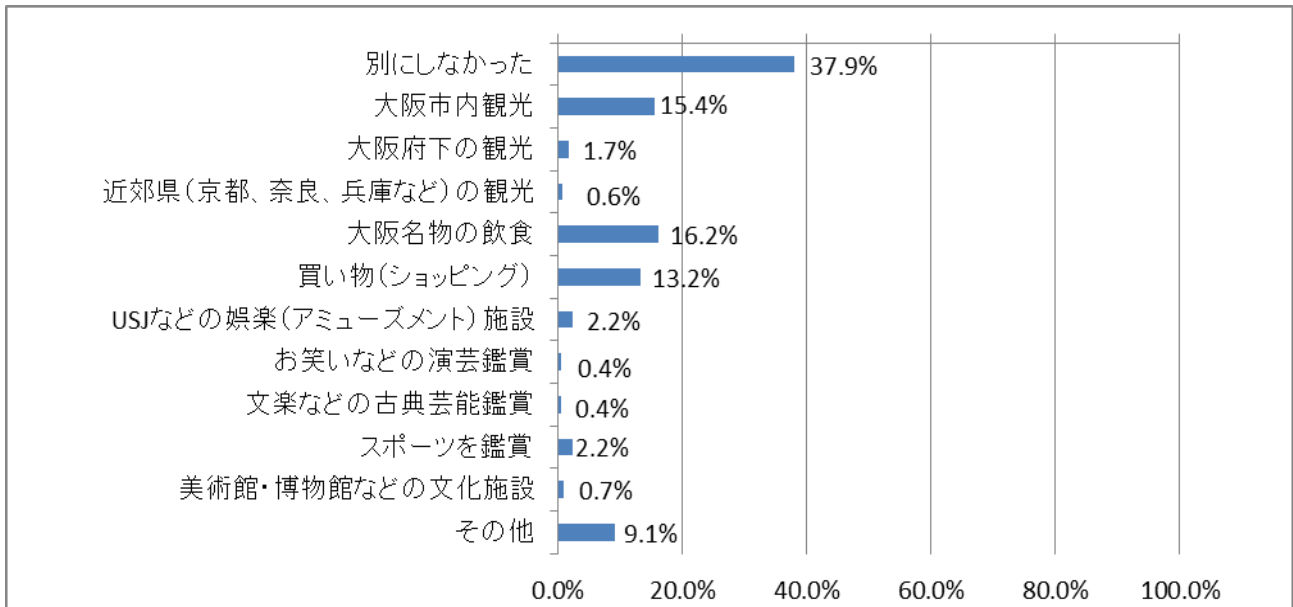
34.3%の人が、「大阪マラソンはチャリティマラソンと知ったから」を募金の動機にあげており、大会の趣旨の周知が有用であることを物語っている。また、「ランナーの姿を見て感動したから」という募金の動機も 29.2%あり、当日の募金方法の工夫が必要である。

■大阪での滞在日数はどのくらいですか？



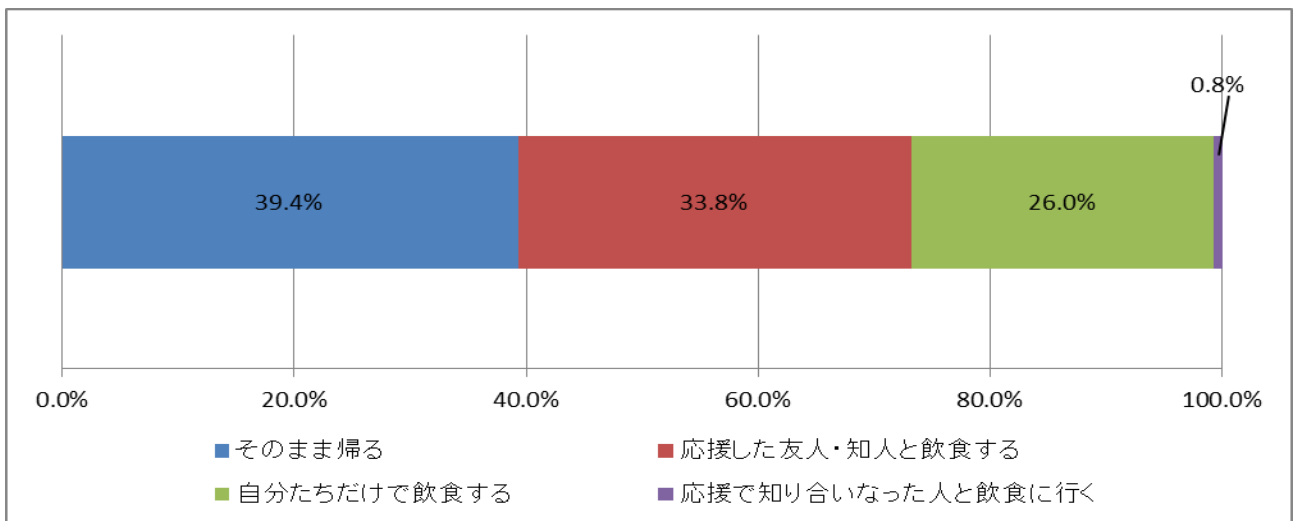
滞在日数は 52.8%の人が当日のみとなっており、これは観客が7割の人が大阪府内なので、当然の結果といえる。ただ、宿泊を伴う滞在が約 2割あり、観客を含めてスポーツツーリズムを考える必要があるであろう。

■大阪マラソン応援以外に何か活動をしましたか、あるいは活動する予定ですか？（複数回答可）



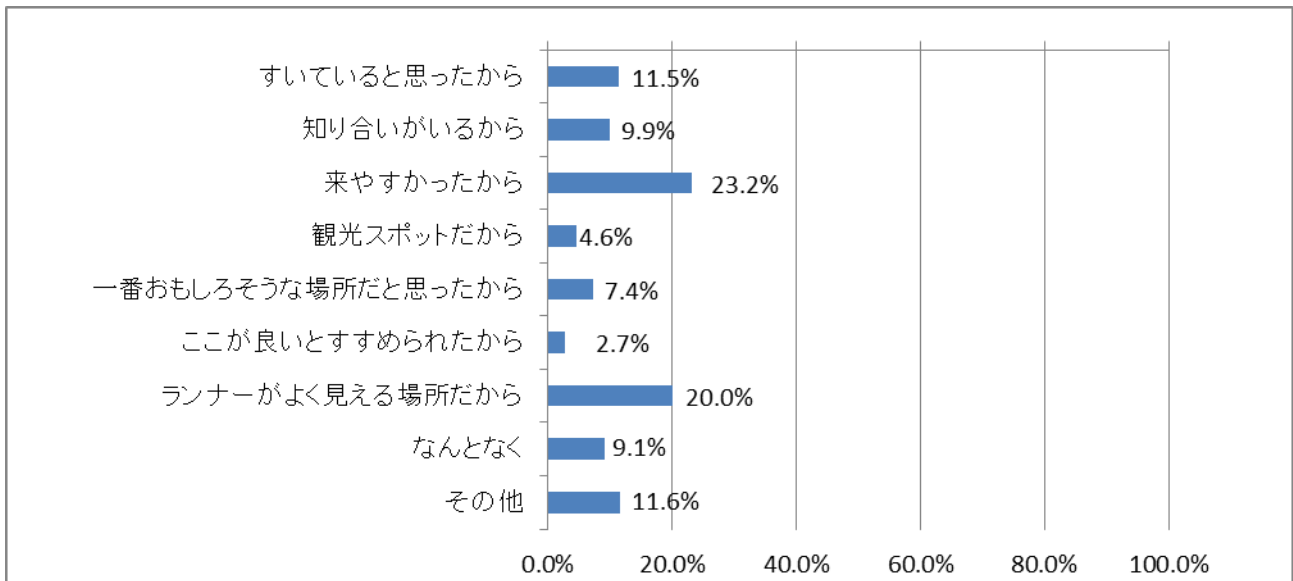
「別にしなかった」が37.9%あり、多くの人が大阪マラソンを応援することを目的に来ていることが読み取れる。ただ、活動をしたという人は市内観光15.4%、大阪名物の飲食16.2%、買い物13.2%であり、観光やショッピングを含めたスポーツツーリズムの工夫が必要であると思われる。

■応援を終えた後、どうしますか？



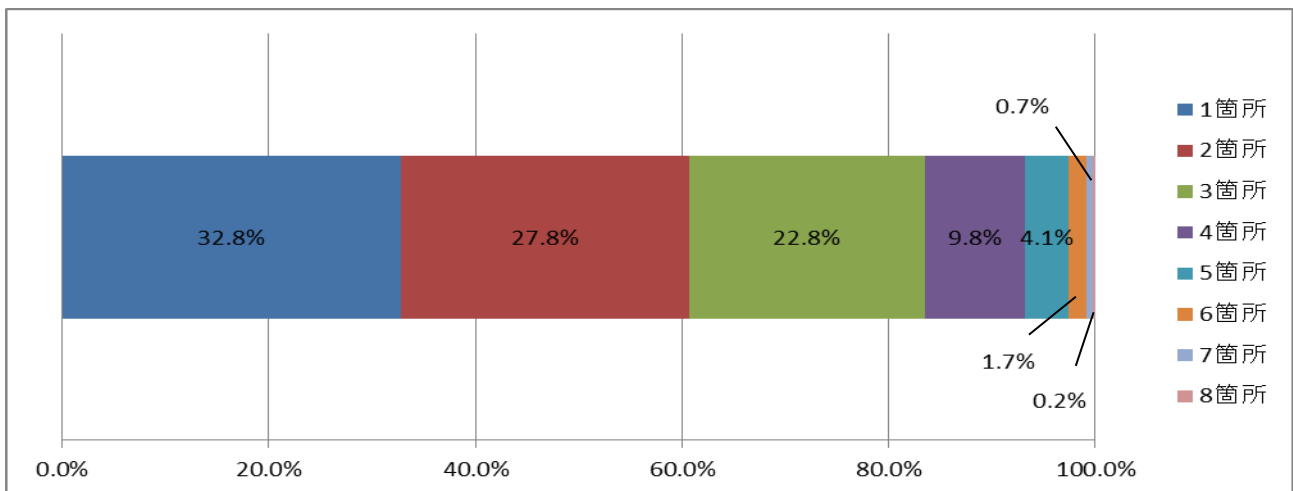
39.4%の人が「そのまま帰る」となっており、応援で知り合った人と飲食に行く人が0.8%であることから、応援で知り合いになる仕掛けが必要である。

■なぜ、この場所を選んだのですか？（複数回答可）



「来やすかったから」（23.2%）という応援場所へのアクセスと、「ランナーがよく見える場所だから」（20.0%）という見やすさは、観客にとって大事な要素であることが分かる。

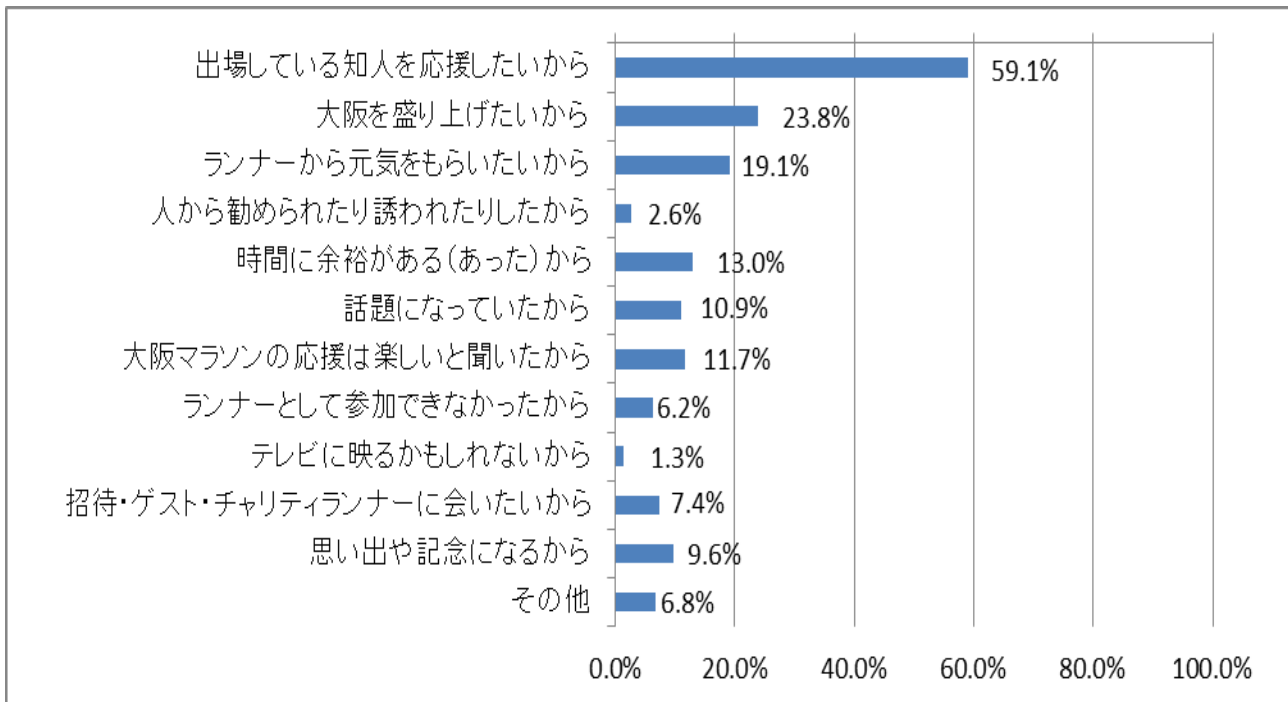
■何箇所まで応援しますか？あるいはしましたか？



市民マラソンの特徴である応援場所の移動では、1箇所まで応援すると答えた人が32.8%、2箇所と答えた人が27.8%、3箇所と答えた人が22.8%で、複数箇所まで応援すると答えた人が約7割いた。このような実態を勘案して、観客の移動に配慮した運営が望まれる。

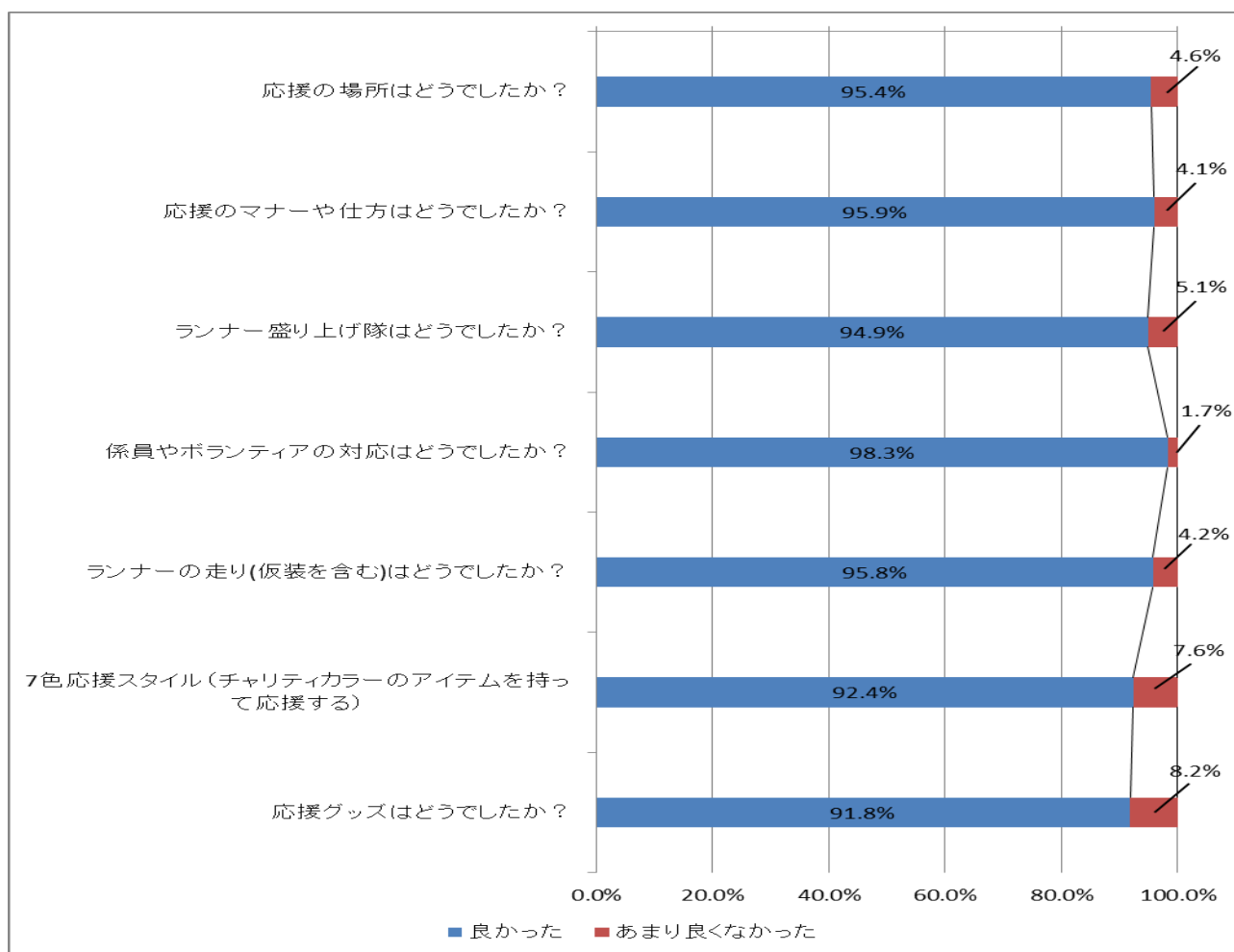
3. 応援の理由

■あなたが大阪マラソンを応援しようと思われた理由は何ですか？（3つまで）



応援の理由では、「出場している知人を応援したいから」が59.1%と最も多い。次に、「大阪を盛り上げたいから」という理由で応援している人が23.8%で、お祭りとしての大阪マラソンを楽しもうとしている。さらに、「ランナーから元気をもらいたいから」が19.1%で、市民マラソンへの大きな誘因となっている。

4. 大阪マラソンの応援について

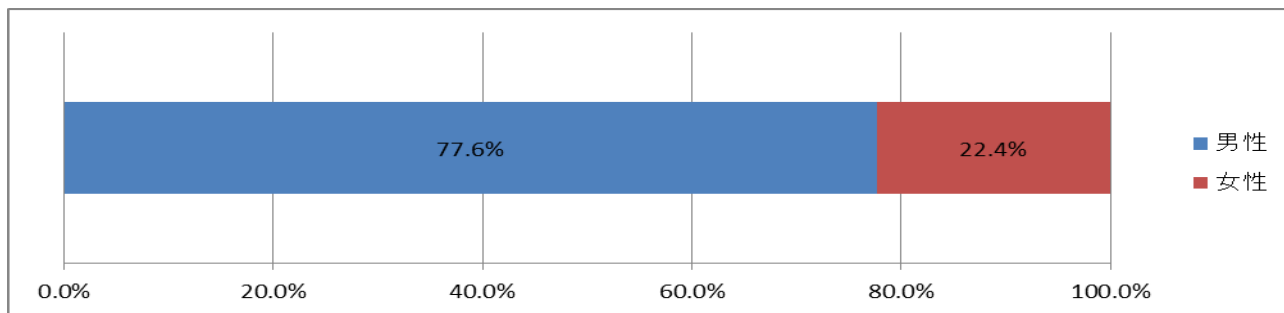


全ての質問において、9割以上が良かったと回答している。ただ、応援グッズについては8.2%の人が、7色応援スタイルについては7.6%が良くなかったと答えており、これらの工夫が必要だと言える。

IV、一般ランナー

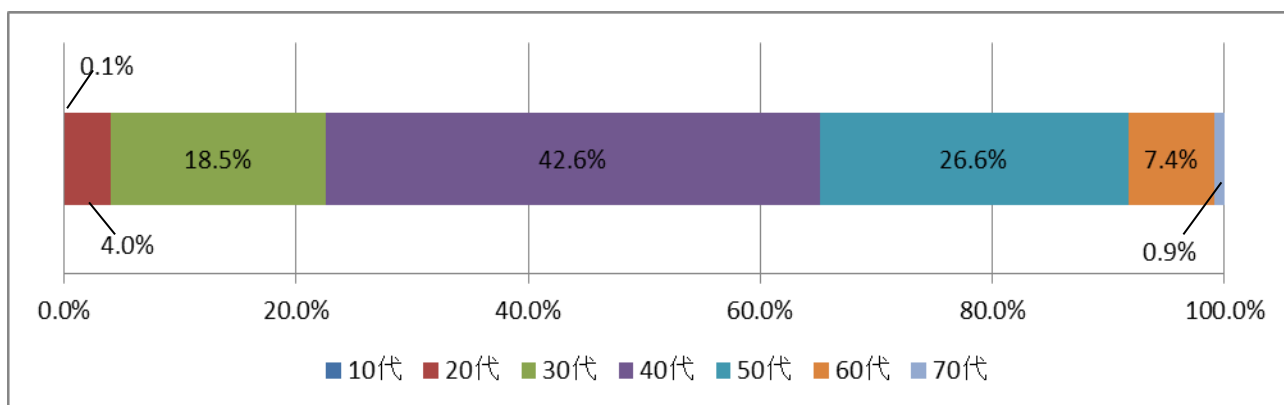
1. あなた自身について

■性別



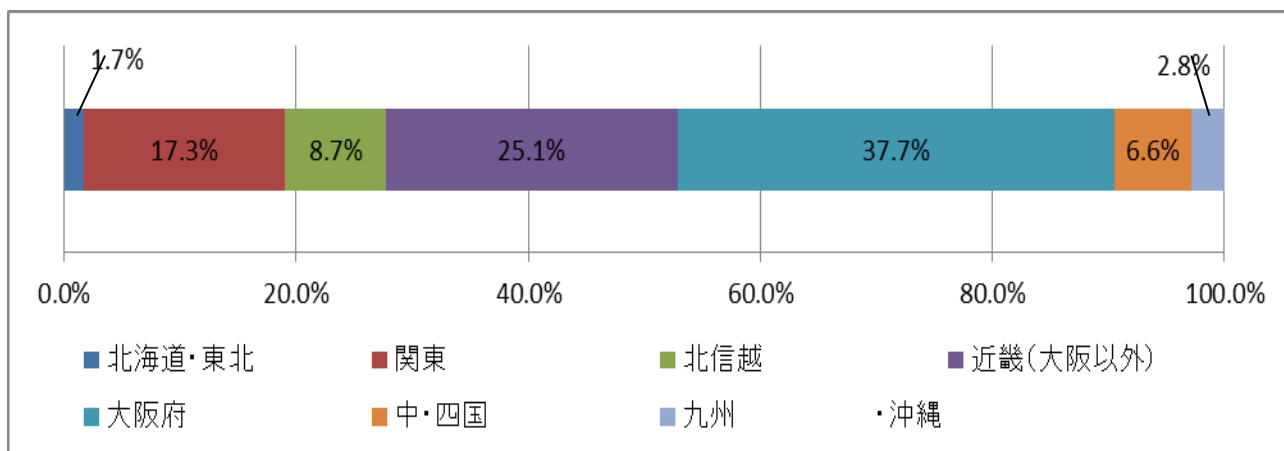
性別では、男性が77.6%と大半を占めており、女性は22.4%と少ない状況である。

■年齢(年代)



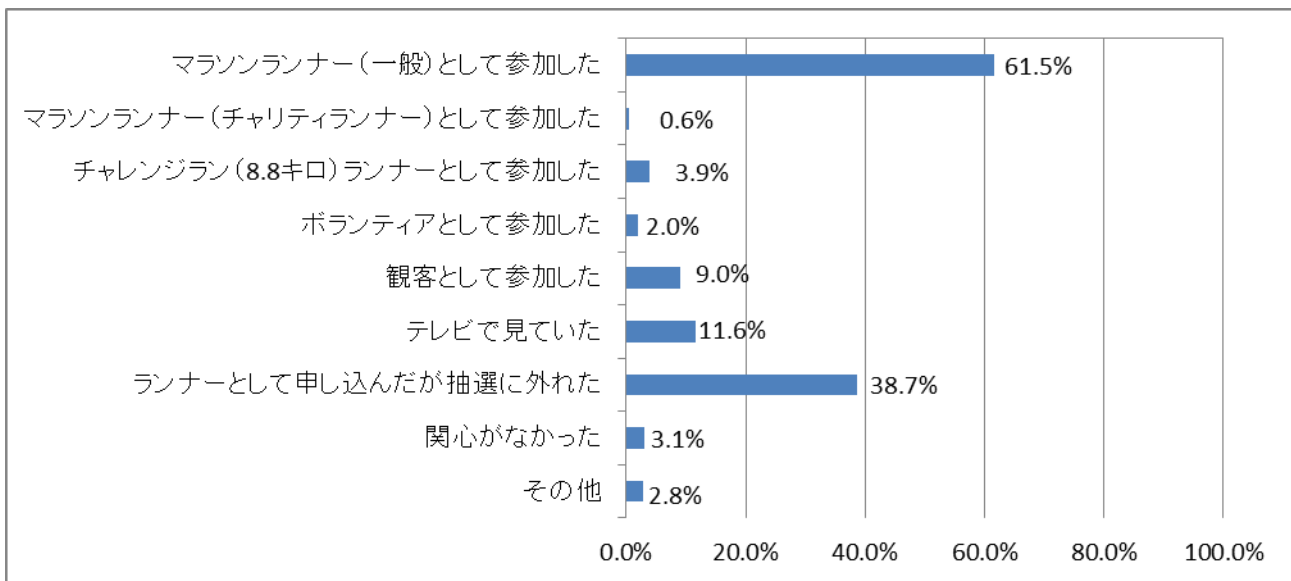
今回、調査に協力していただいた参加ランナーは、40歳代が42.6%と最も高く、次に50歳代が26.6%で、30歳代が18.5%と続いている。全体の参加者と比較して40歳代、50歳代が多く、30歳代が少ない傾向にある。

■居住地



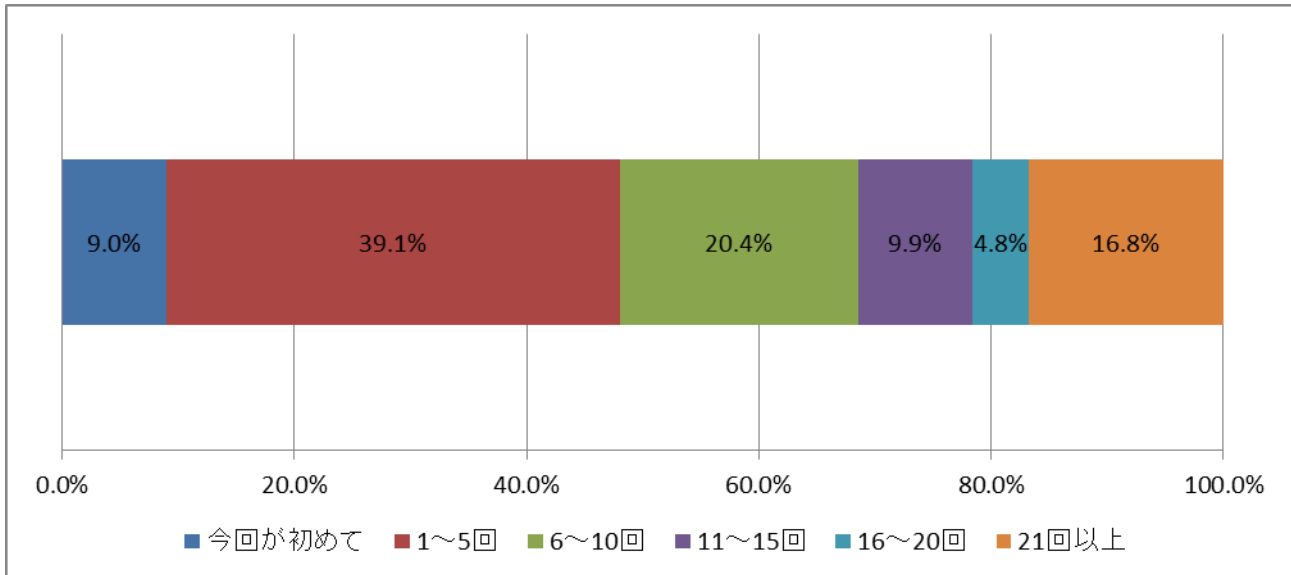
居住地を尋ねたところ、大阪府の37.7%を加えると、近畿県が62.8%となっており、全体の参加者の居住地の割合と変わらない。

■これまでの大阪マラソンへの参加経験はありますか？（複数回答可）



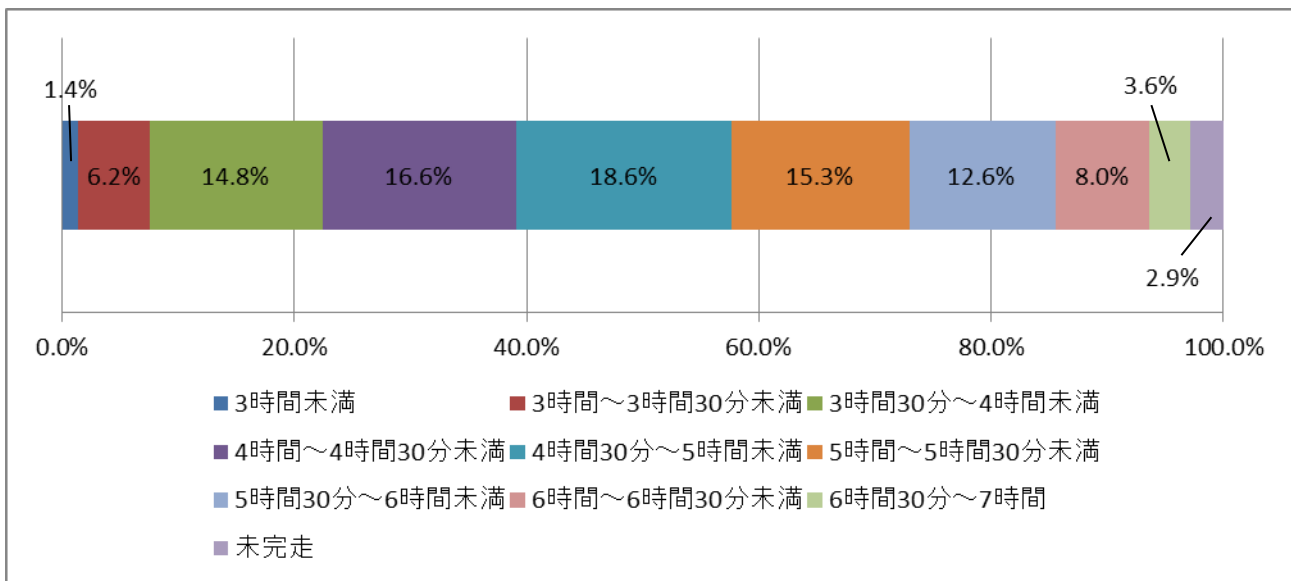
これまでの大阪マラソンへの参加経験を尋ねたところ、マラソンランナー（一般）として参加したが61.5%と最も高かった。次にランナーとして申し込んだが抽選に外れたが38.7%であり、約4割を占めた。つまり、大阪マラソンのリピーターが多いのが特徴である。

■市民マラソンの参加経験はどのくらいですか？



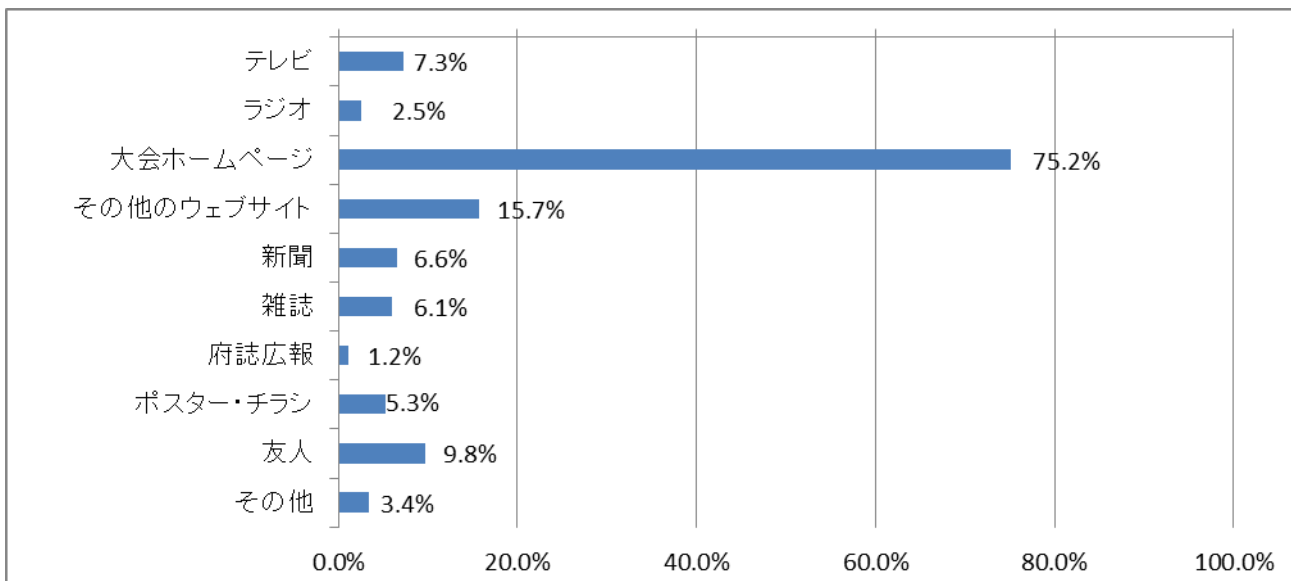
これまでの市民マラソンへの参加経験がなく、初めて参加する人が9.0%である。1～5回市民マラソンを経験した人が39.1%、6回～15回市民マラソンを経験した人が30.3%、16回以上のベテランランナーが21.6%となっており、市民マラソンの経験者がこれまでに多く多いといえる。

■ 今回のフルマラソンのタイムはどのくらいですか？



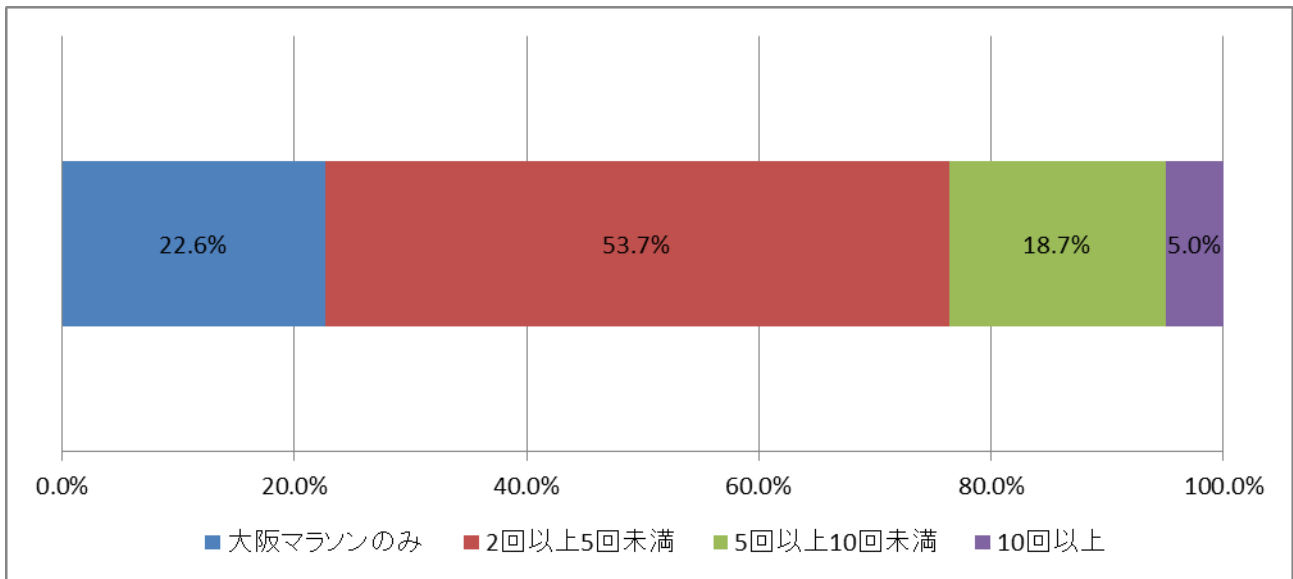
マラソンの完走タイムは、3時間30分から6時間未満がほとんどで、偏りなく分布している。

■ 第4回大阪マラソンランナー募集をどのようにして知りましたか？（複数回答可）



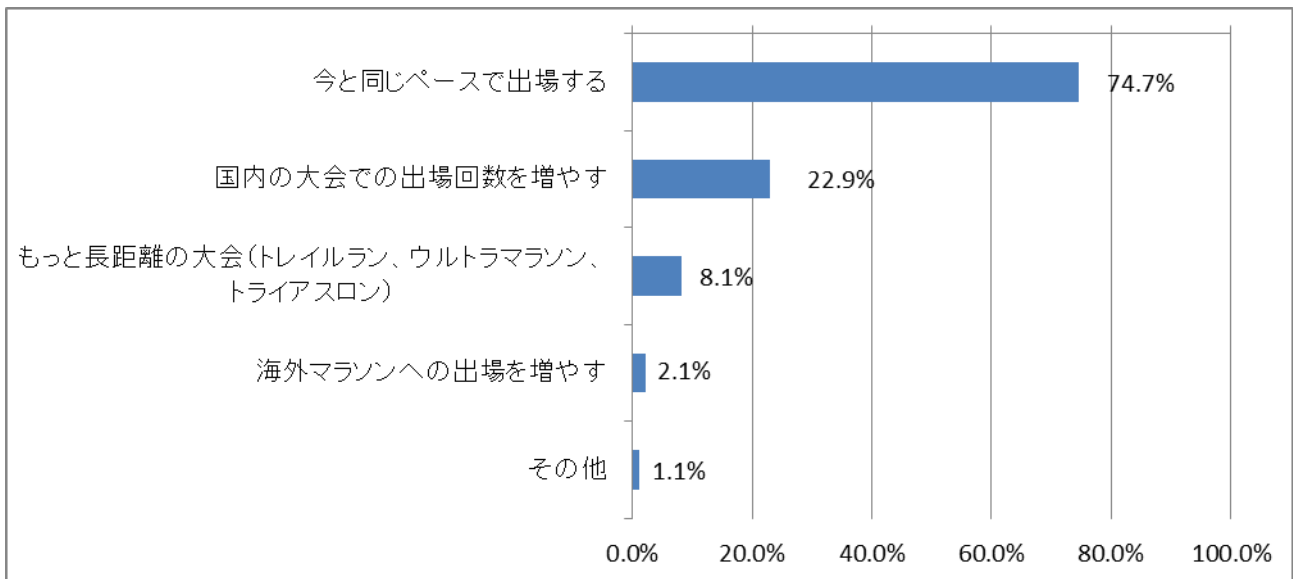
大会ホームページの割合が75.2%と圧倒的に多い。これは大阪マラソンのリピーターが多いことからも頷けるが、逆に新たなランナーの獲得のための他のメディアからの情報が少ないといえる。

■あなたはこの1年間にどのくらいマラソン大会(ハーフマラソン以上)へ出場されましたか？



2回以上と回答する割合が9割を超えていることから、市民マラソンへの関心が高まっている中で大阪マラソンへの参加であることがうかがえる。

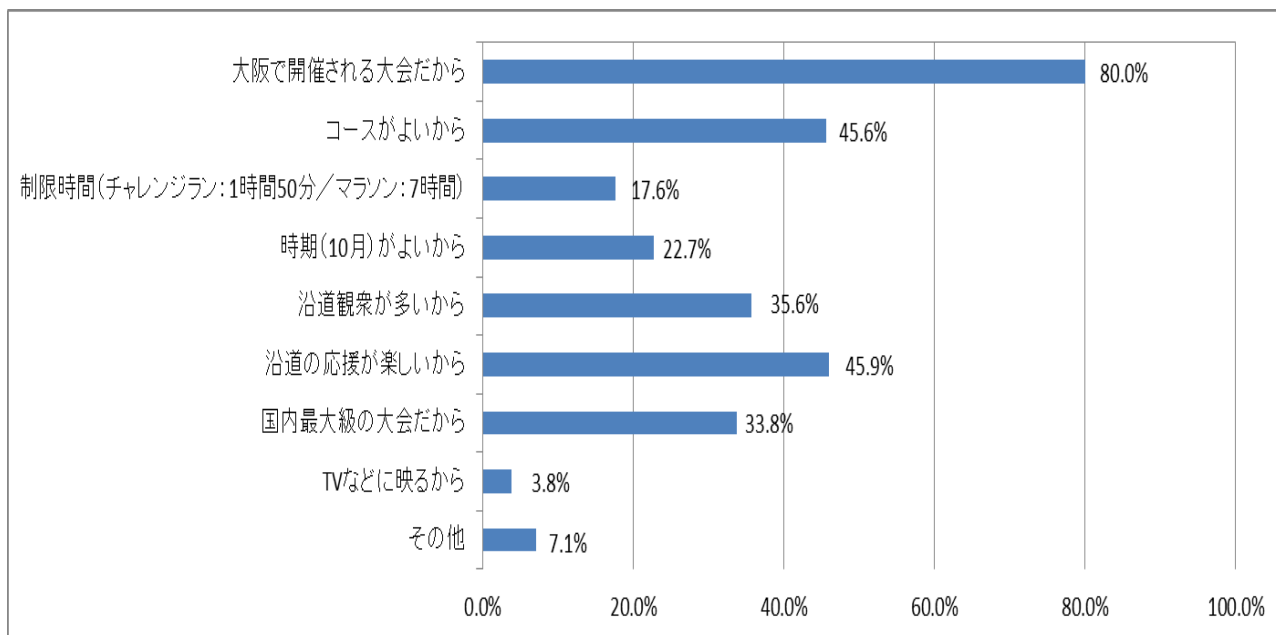
■今後1年間、マラソン大会にどのくらいの頻度で出場する予定ですか？（複数回答可）



今と同じペースで出場するが74.7%と多く、国内の大会での出場回数を増やすが22.9%となっており、市民マラソンへの参加者が増加していく傾向にあることを物語っている。

2. 参加の理由

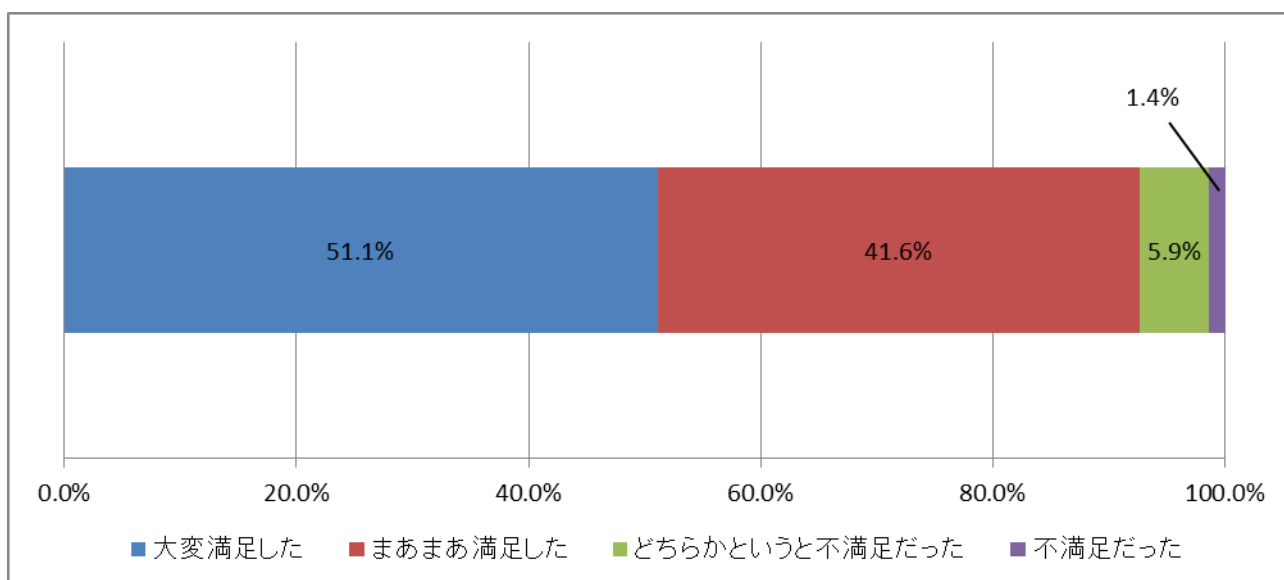
■大阪マラソンを走ろうと思った理由は何ですか？（複数回答可）



大阪で開催されるから（80.0%）、コースがよいから（45.6%）という大阪マラソンの大会内容を参加理由にあげている人が多い。また、沿道観衆が多いから（35.6%）、沿道の応援が楽しいから（45.9%）と祭りとしての大阪マラソンの特徴が理解されているといえる。

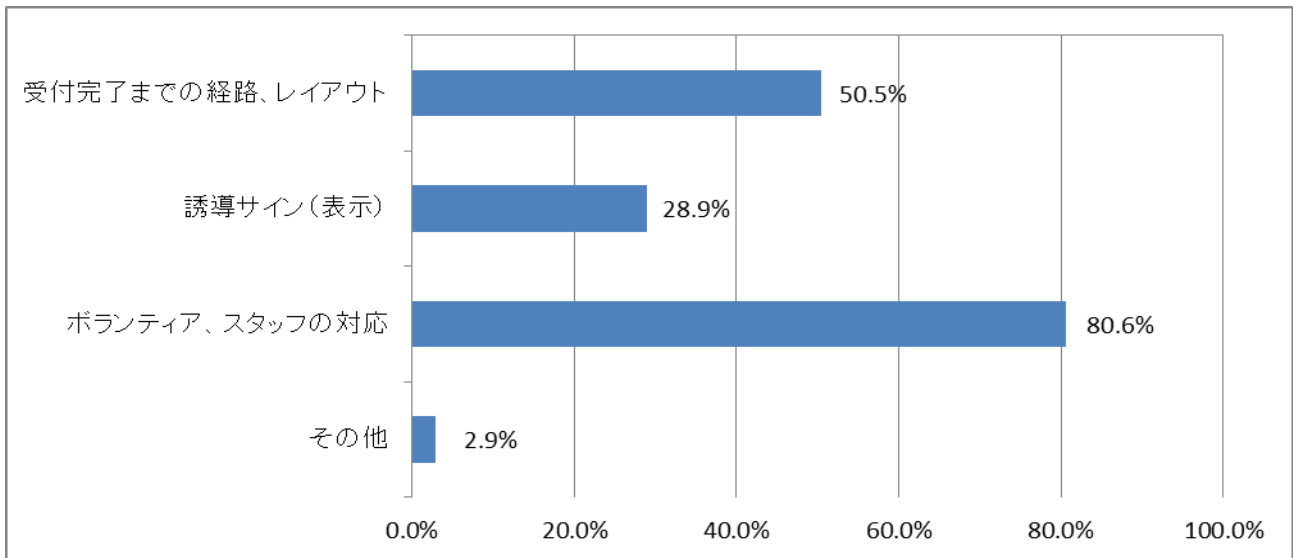
3. 大会運営の評価

■第4回大阪マラソンに満足しましたか？

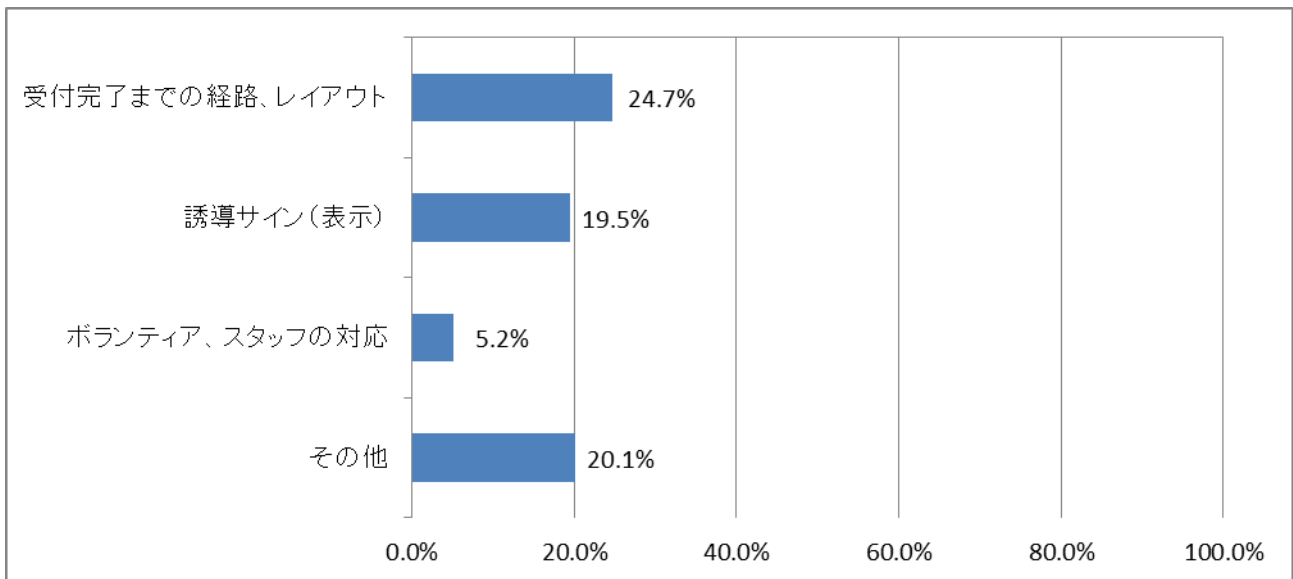


大変満足した（51.1%）、まあまあ満足した（41.6%）と全体の9割が満足している。ただ、まあまあ満足は、何らかの不満があるわけで、その要因について分析する必要がある。

■ランナー受付で良かったことは何ですか？（複数回答可）

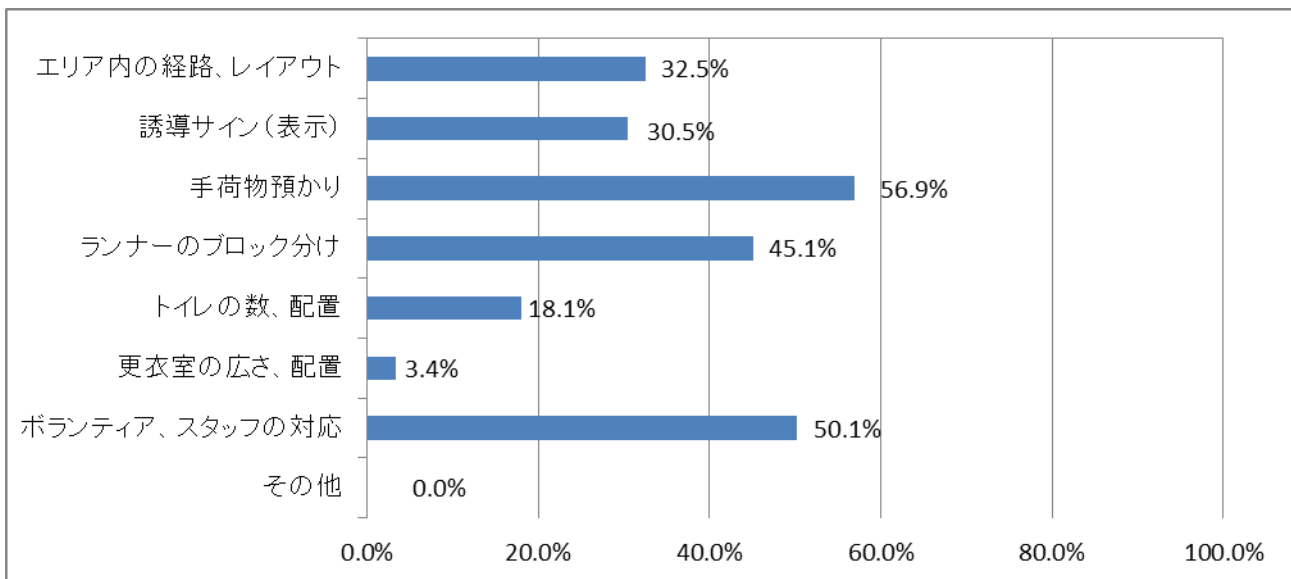


■ランナー受付で改善が必要なことは何ですか？（複数回答可）

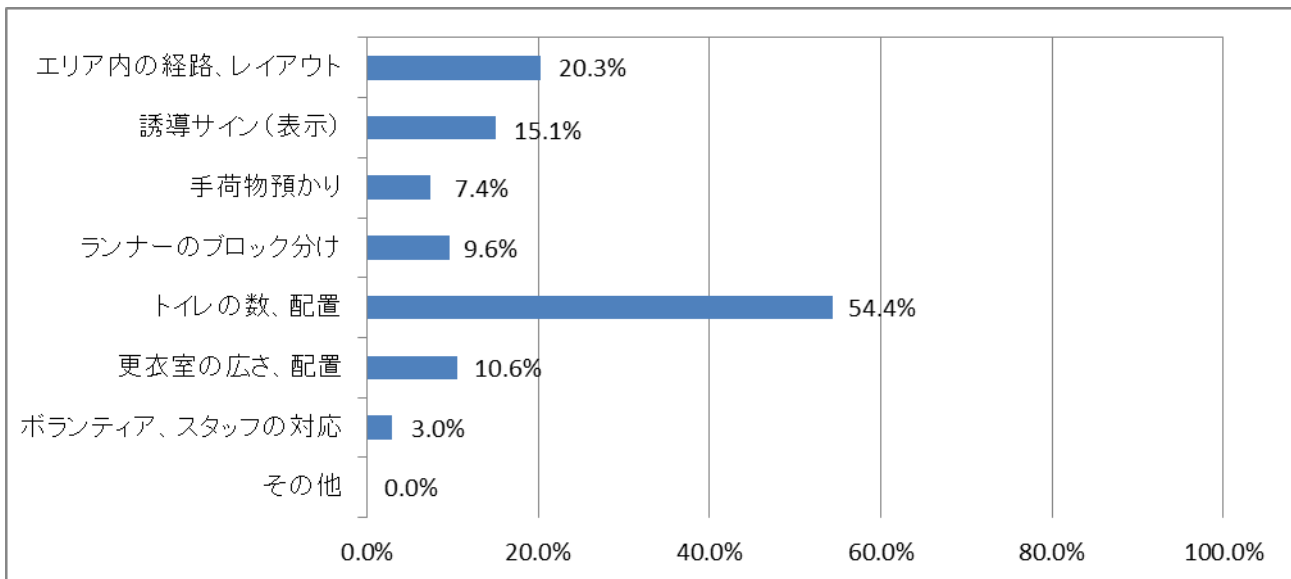


ランナー受付の運営に対する評価では、ボランティア、スタッフの対応の良さが80.6%と多く、スタッフのランナーへの気配りが評価されている。また、受付完了までの経路やレイアウトが良いとする人が50.5%で、改善が必要であるとした人が24.7%であることから、この点に関して、工夫が必要であるといえる。

■スタートエリアで良かったことは何ですか？（複数回答可）

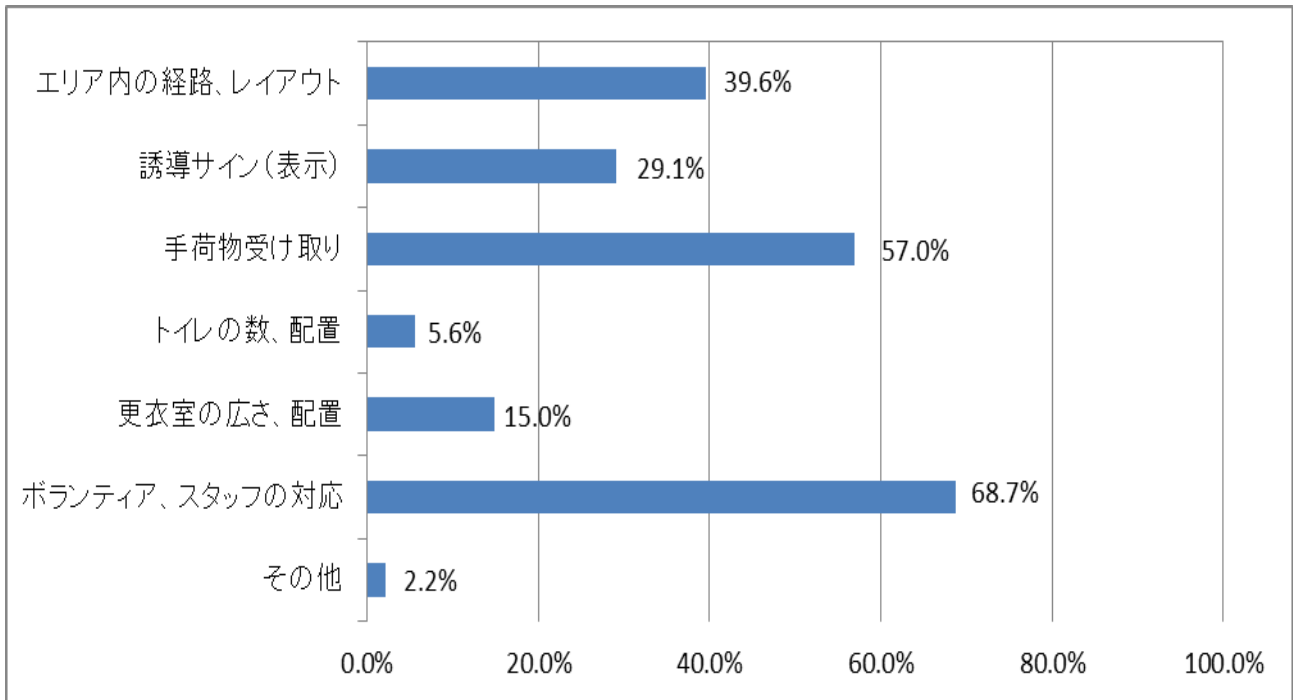


■スタートエリアで改善が必要なことは何ですか？（複数回答可）

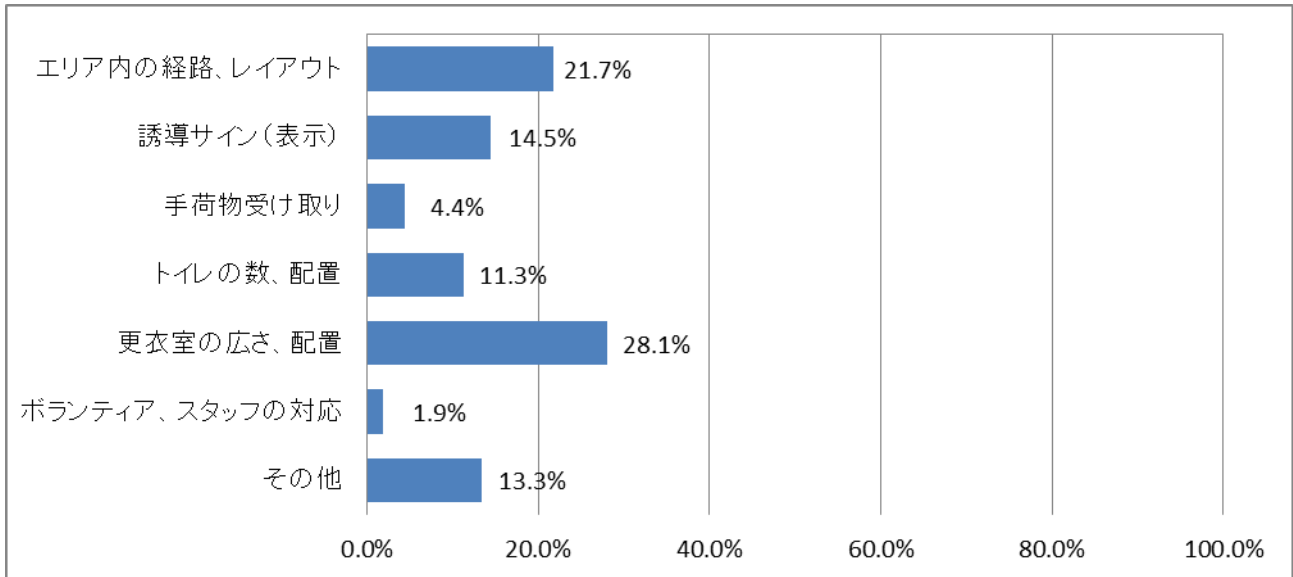


スタートエリアの運営に対する評価では、手荷物預かり（56.9%）、ランナーのブロック分け（45.1%）、ボランティア・スタッフの対応（50.1%）が良かったとする人の割合が多い。一方、トイレの数・配置について54.4%の人は改善が必要であるとしている。

■フィニッシュエリアで良かったことは何ですか？（複数回答可）

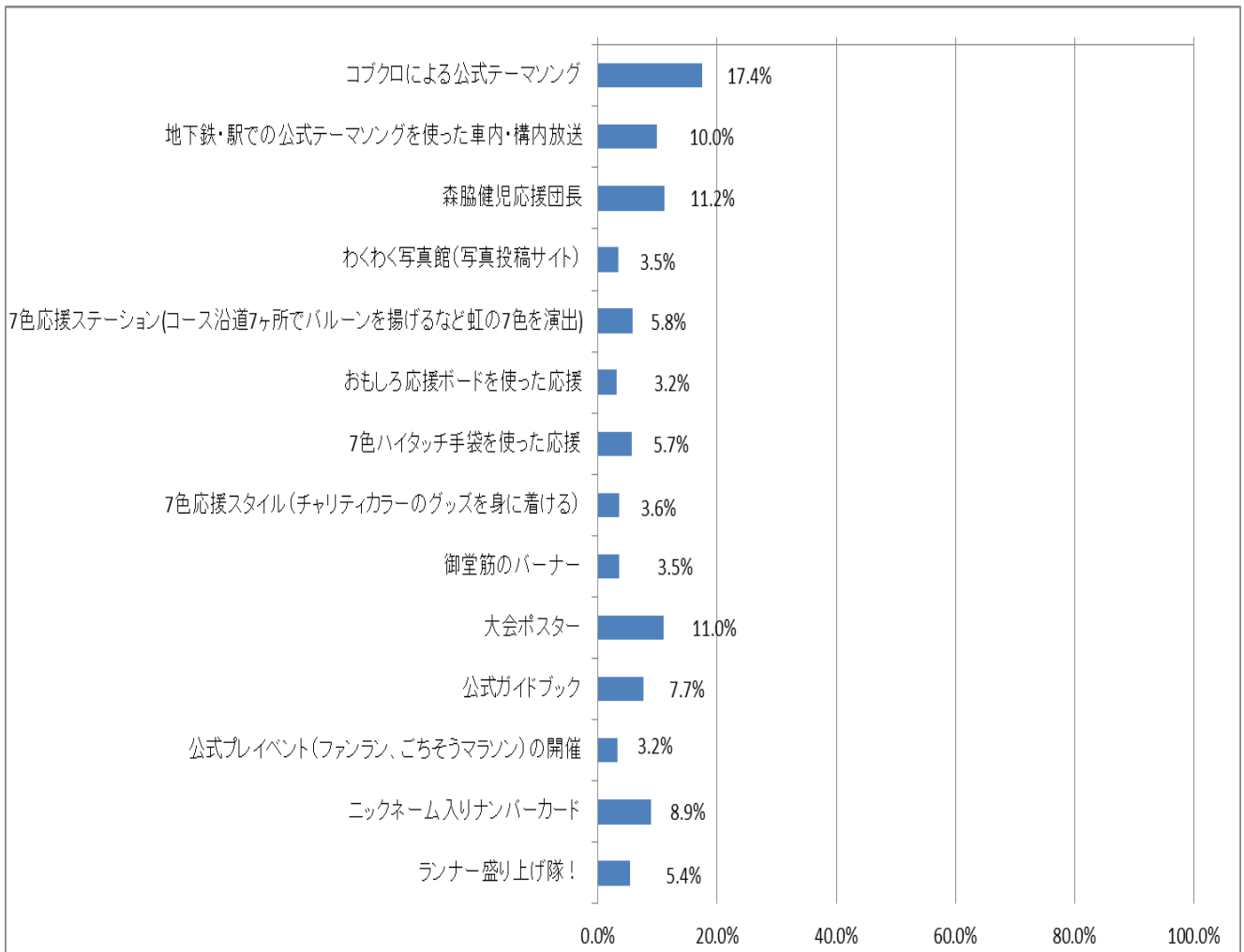


■フィニッシュエリアで改善が必要なことは何ですか？（複数回答可）



フィニッシュエリアの運営に対する評価では、ボランティア・スタッフの対応が良かったとする人が68.7%と高い。また、手荷物の受け取りも57.0%の人が良かったとしており、ボランティアの対応の良さが目立つ。ただ、更衣室の広さ・配置について28.1%の人は改善が必要であると答えており、スタートエリアと違った改善項目となっている。

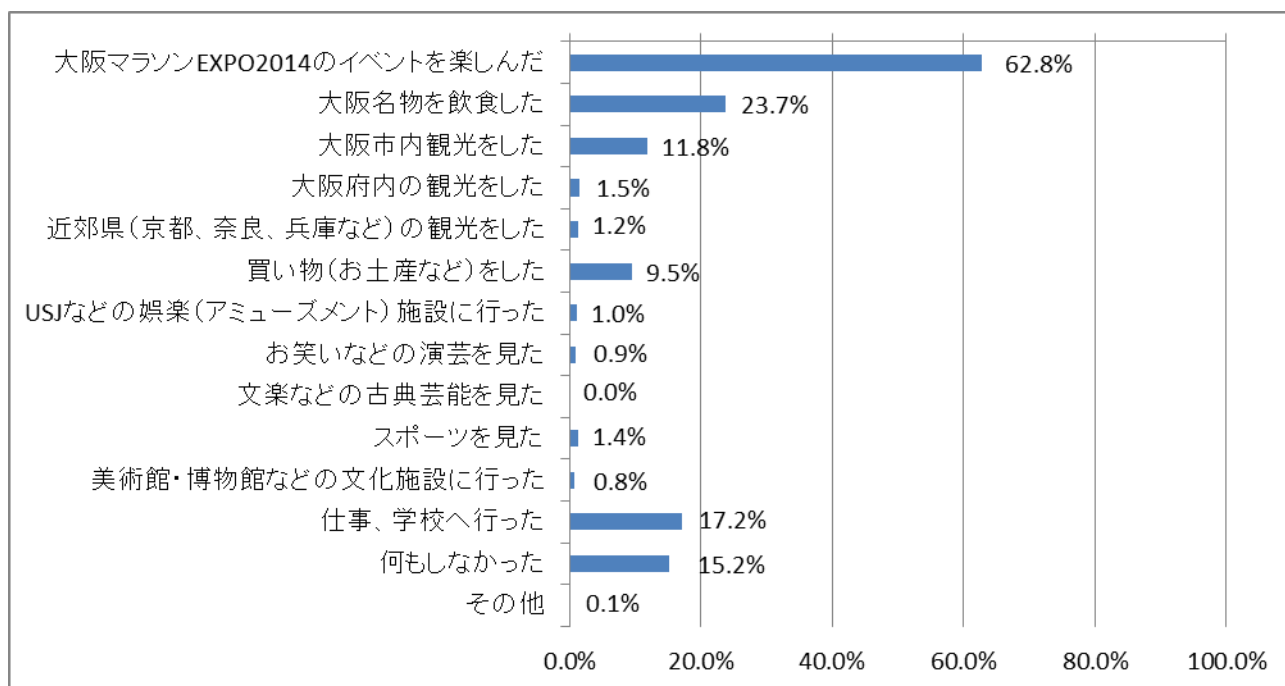
■盛り上げの取り組みで、スタートまでにすでに知っていたものは何ですか？（複数回答可）



コブクロによる公式テーマソングが17.4%と最も高く、森脇健児応援団長が11.2%、大会ポスター11.0%と続いている。しかしながら、すべての項目について1桁の割合が多く認知度は低いと言える。質問項目に注力すれば大阪マラソンへの関心が高まり、より多くの人々の参画が見込めると考える。

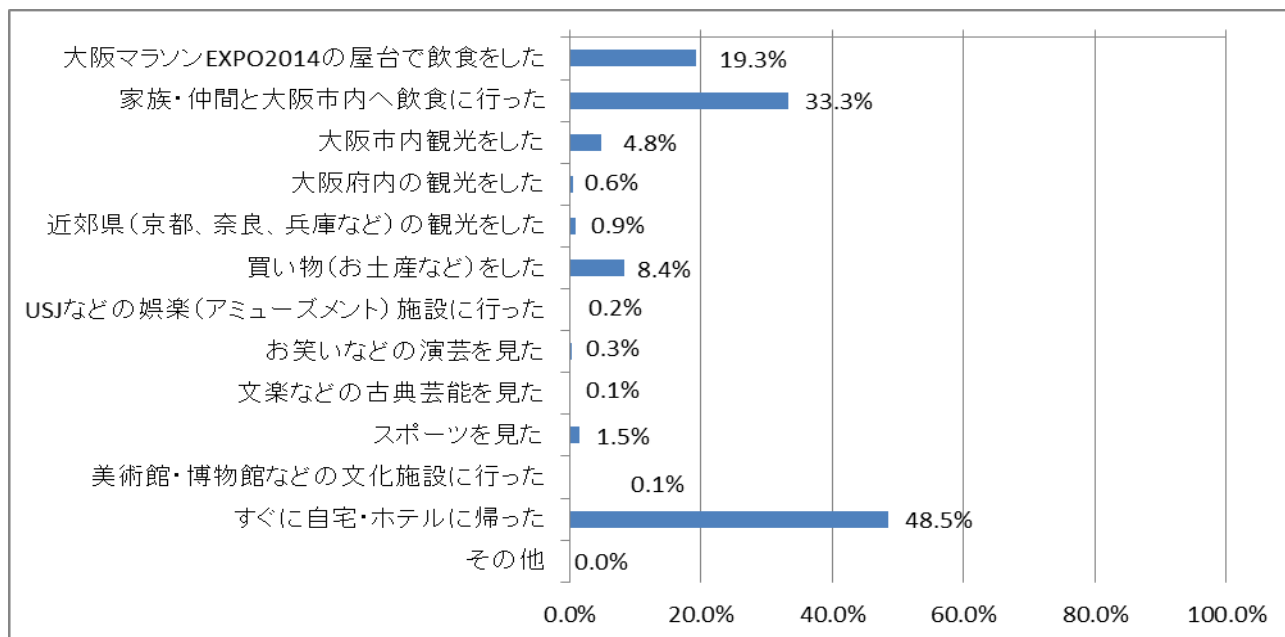
4. 一般ランナーの活動について

■前日(25日あるいは24日)は大阪で何をしましたか？ (複数回答可)



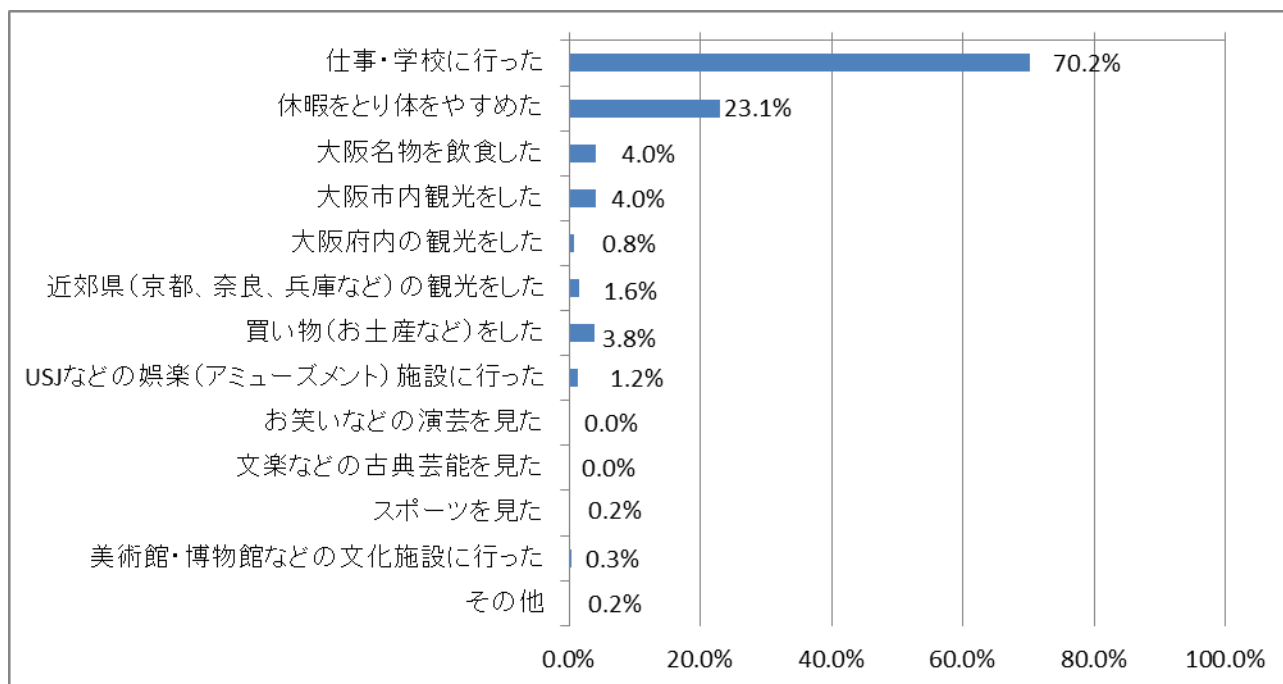
大阪マラソン EXPO2014 のイベントを楽しんだ人が 62.8%と一番が多い。また、大阪名物を飲食した(23.7%)、大阪市内観光をした(11.8%)となっており、スポーツツーリズムの傾向はみられる。ただ、仕事、学校へ行った 17.2%、何もしなかった 15.2%と二極化している傾向がみられる。

■当日(26日)のマラソンのあとは何をしましたか？ (複数回答可)



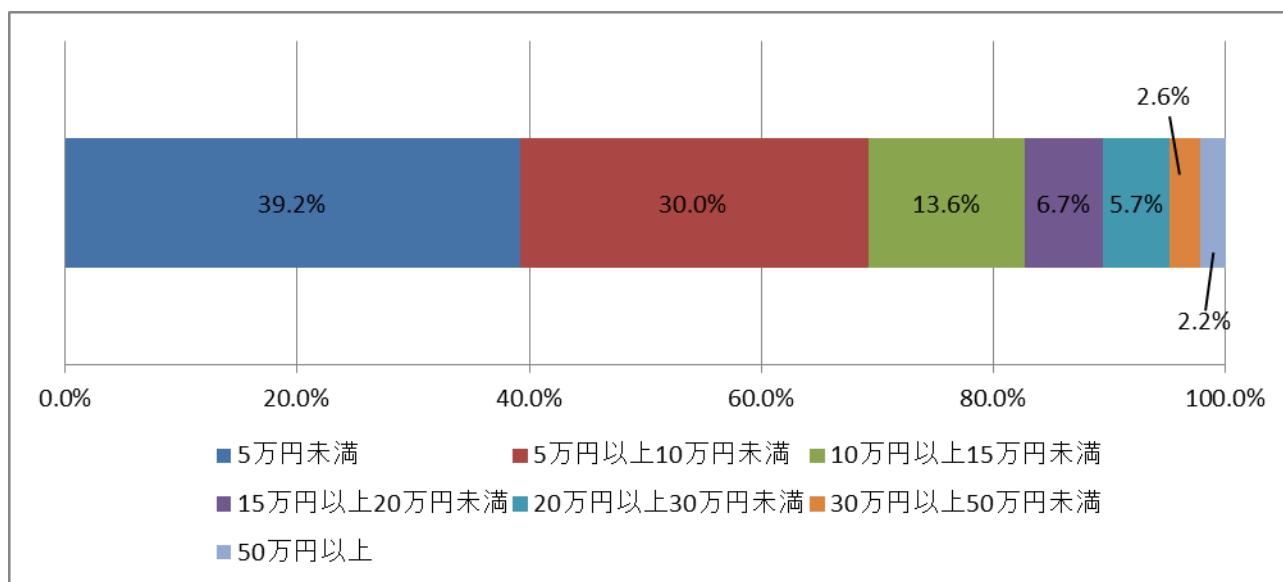
すぐ自宅・ホテルに帰った人が 48.5%と圧倒的に多い。一方、家族・仲間と大阪市内へ飲食に行った 33.3%、EXPO2014 で飲食した 19.3%と前日より増えており、大会後は飲食中心の活動となっている。

■翌日(27日)は何をしましたか？(複数回答可)



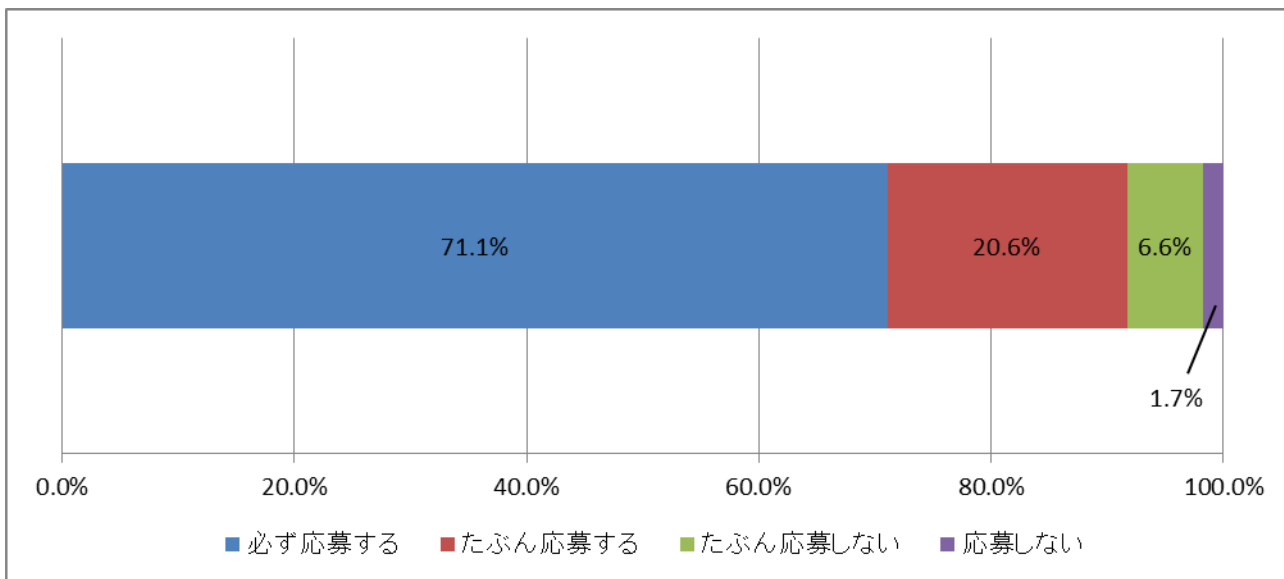
仕事・学校に行った70.2%と割合が圧倒的に多い。ただ、休暇をとり体をやすめた人も23.1%おり、大阪マラソン後の活動に変化がみられた。

■あなたは、この1年間でマラソンのために概算でどれだけの経費を使いましたか？(ウェア、シューズの購入など事前準備費用、宿泊交通費、食費、お土産など滞在期間中の費用一切。参加料は除く)



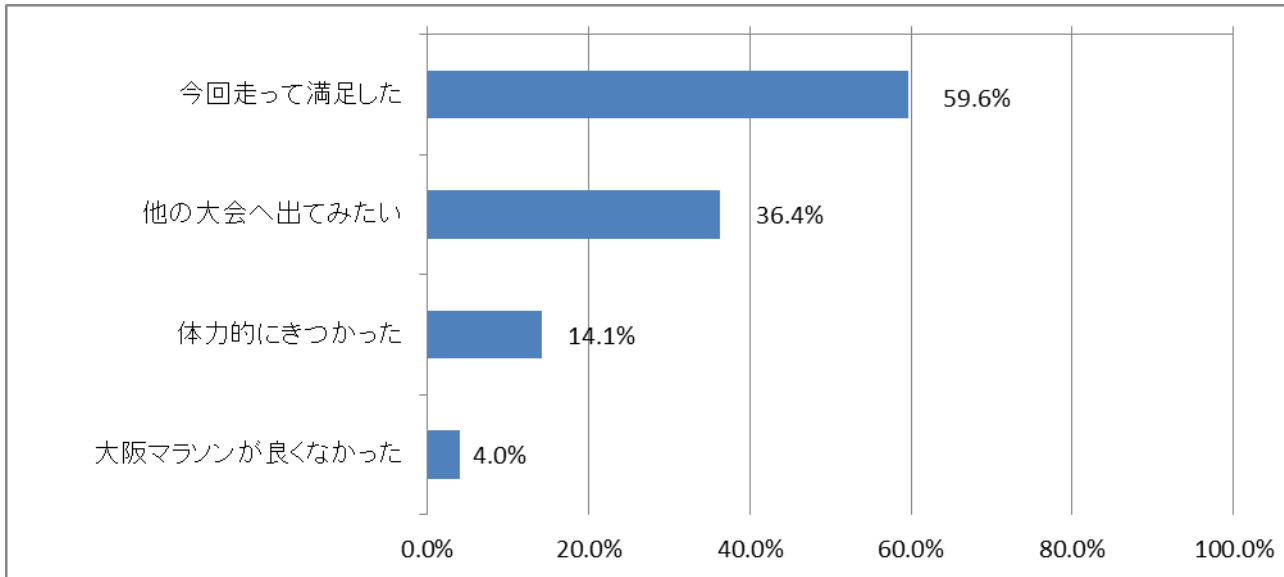
5万円未満の人が39.2%、5万円以上10万円未満が30.0%となっており、7割の人がそれほどお金をかけていないという結果である。この経済的な負担が少ないことは、市民スポーツとして広がりを見せる大きな要因の一つであると考えられる。

■来年の第5回大阪マラソンへ応募しますか？



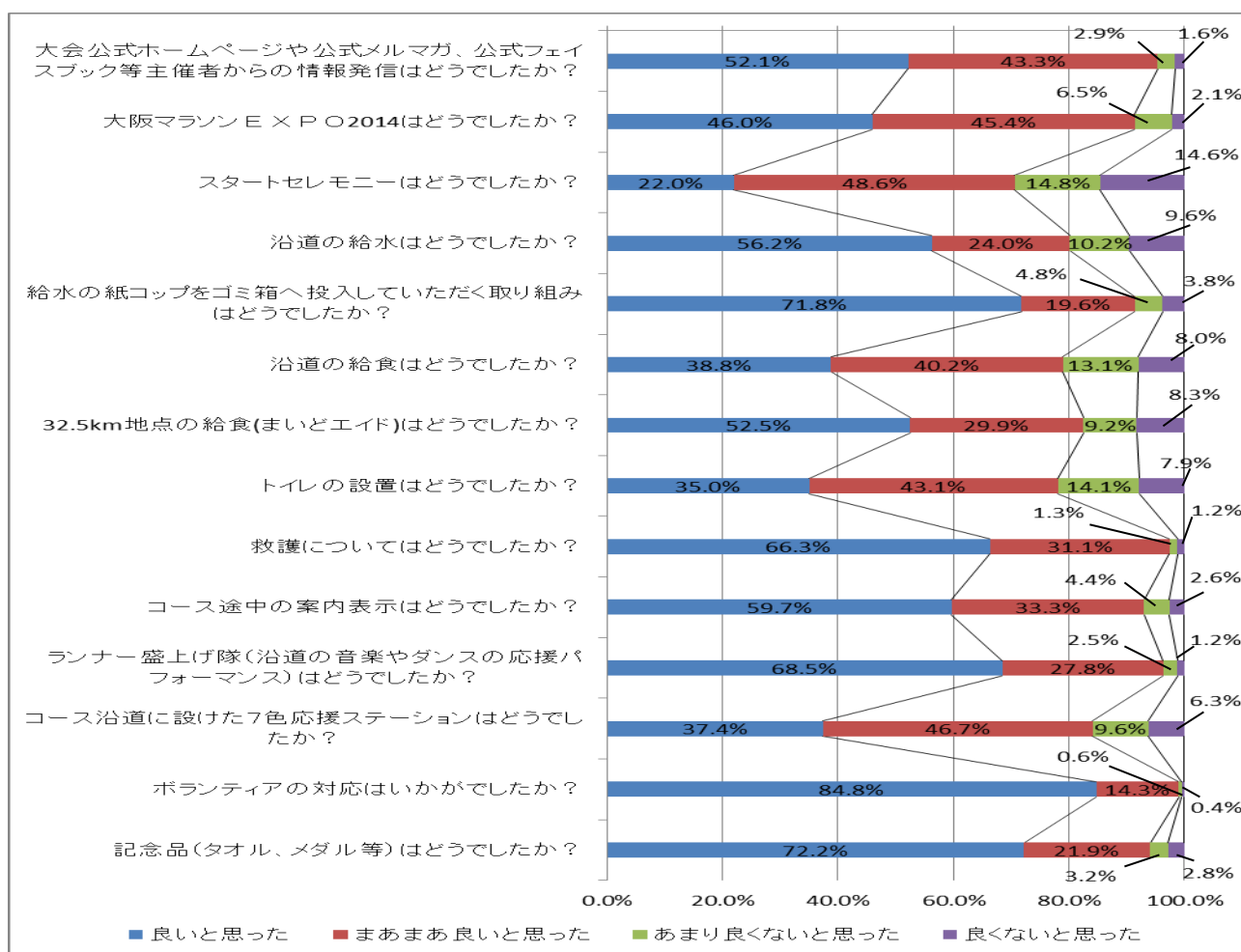
必ず応募する71.1%、たぶん応募する20.6%と9割以上が応募すると希望していることから、今回の大阪マラソンへの満足度が感じられると同時に、リピーターの可能性が大きいことがうかがえる。

■前設の質問で、③たぶん応募しない④応募しないと答えた方の応募されない理由は何ですか？（複数回答可）



応募しない理由は、大阪マラソンが良くなかったからが4.0%と割合が少なく、否定的な理由ではない。むしろ、今回走って満足したからが59.6%で、他の大会へ出てみたいからが36.4%であることから、大阪マラソンを走ったという経験に満足し、他の大会で違う経験をしてみたいとする経験的満足感からの理由であると考えられる。

■大会の運営全体について



「良いと思った」人だけで見ると、ボランティアの対応が84.8%と最も多く、大阪マラソンのボランティアが高く評価されていると言える。

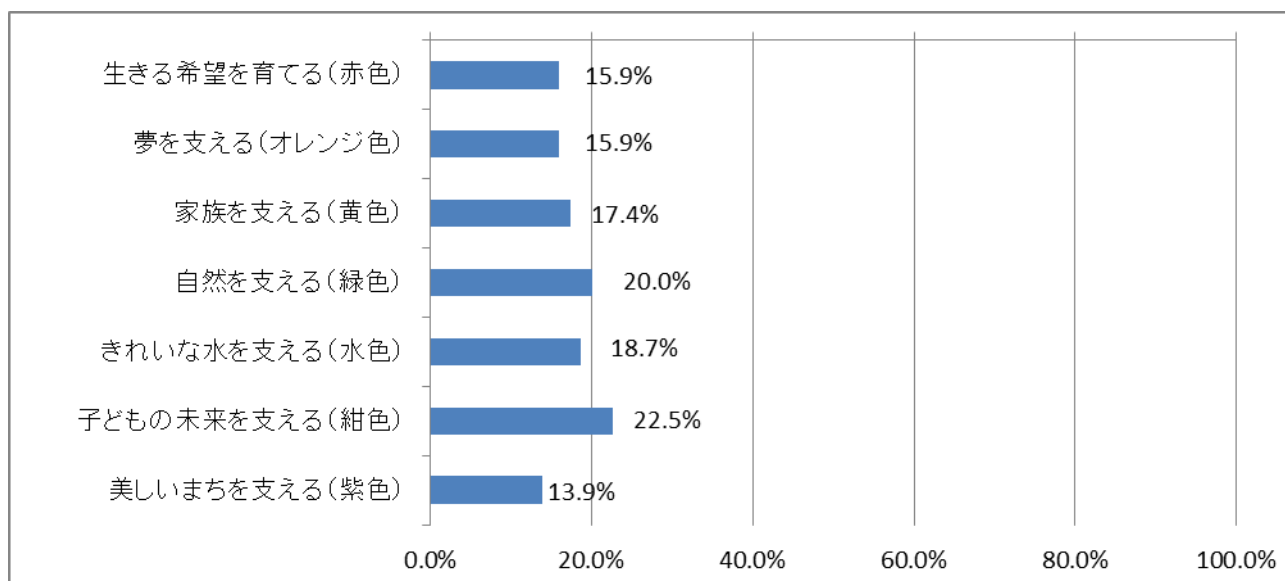
次に、記念品（メダル、タオル）が良いと思った人は72.2%あり、記念品も評判が良い。また、紙コップをゴミ箱に自分で投入する取り組みについても、71.8%の人が良いと答えており、環境への取り組みが評価されている。

さらに、ランナー盛り上げ隊（沿道の音楽やダンスの応援パフォーマンス）を良いとしている人は68.5%で、応援に元気づけられた人が多いということである。また、安全面での救護に対して66.3%の人が良かったと評価しているという結果であった。

一方、スタートセレモニーについては、22.0%の人しか「良いと思った」と答えていないのは、スタートまでの距離があり、ほとんどの人が見ることができなかつたことに起因しているのではないかと考えられる。トイレの設置については、良いと思った人が35.0%で、これは積年の課題ともなっているが、その使い方の工夫をすることで満足度を上げていく工夫が必要であろう。コースに設けた7色応援ステーションが良いと答えた人は37.4%で、これはランナーの認知度の低さからきているように思える。沿道の給食が良いと思った人は38.8%で、給食をとれなかつた人もいて、満足度を下げていると考えられる。しかし、32.5 km地点での給食（まいどエイド）は、工夫が凝らされている分、52.5%の人が良いと答えており、評価は高いと言える。

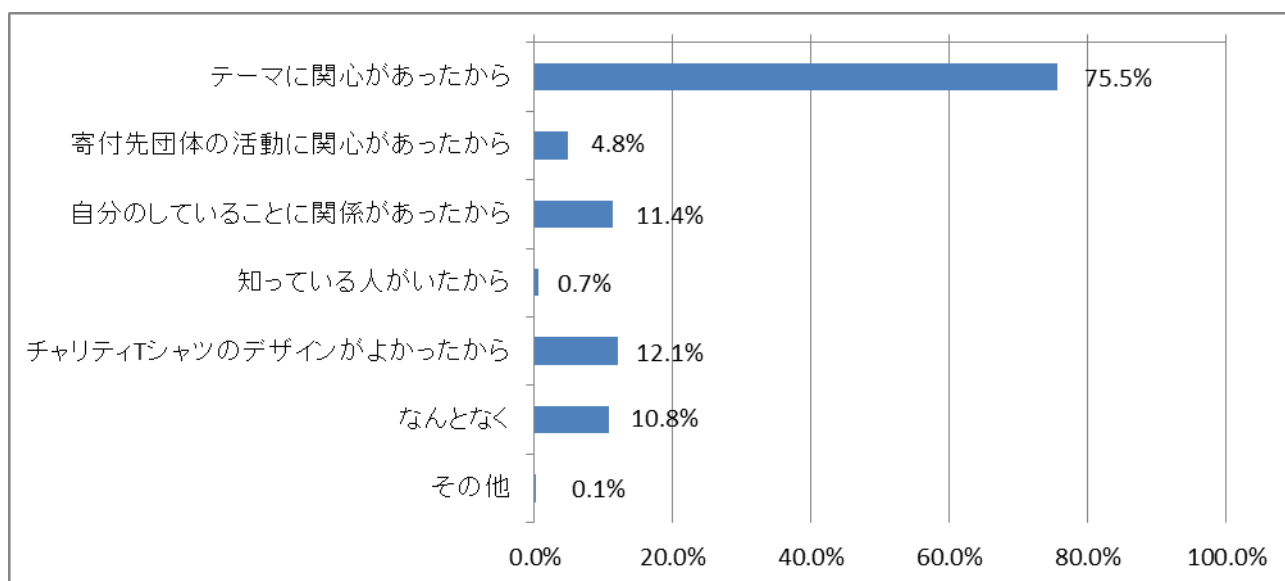
5. チャリティについて

■どのテーマにチャリティしましたか？（複数回答可）



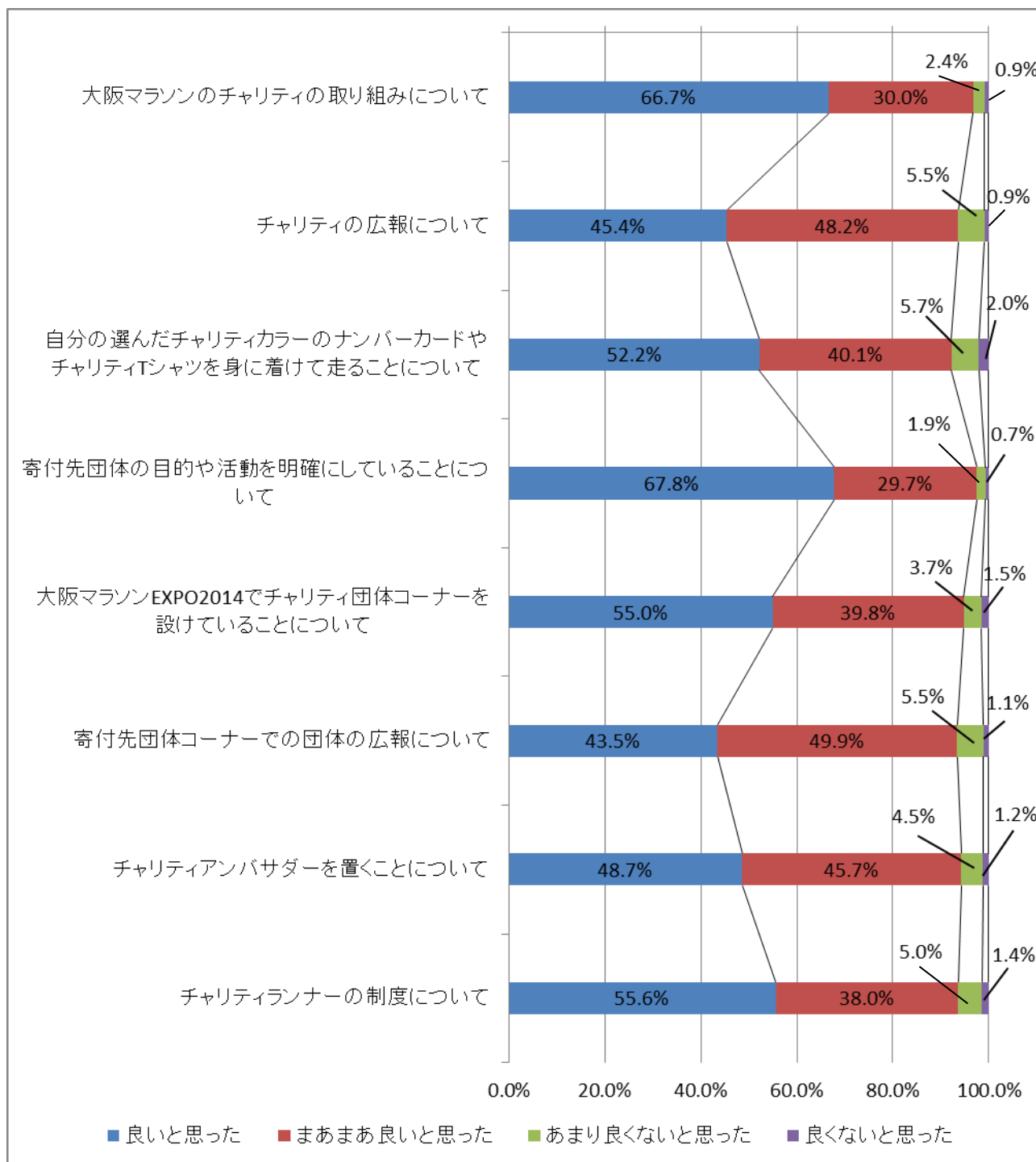
どの項目も割合が均等であることから、比較的テーマに偏りがなくチャリティの参加があったと言える。

■そこに決めたのはなぜですか？（複数回答可）



テーマに関心があったからの割合が75.5%と圧倒的に多い。また、自分のしていることに関係があったからは11.4%と、何らかの関連あるテーマにチャリティをしていることがわかる。一方、チャリティTシャツのデザインが良かったからという理由で選んでいる人も12.1%あり、チャリティグッズの効果も見逃せない。

■大阪マラソンのチャリティの取り組みについての評価



「良いと思った」人だけで比較してみると、寄付先団体の目的や活動を明確にしていることが良いとする人が67.8%あり、自分のチャリティがどのように使われているかを知っていることが寄付行為では大切であると思われる。と同時に、寄付先団体は自分たちの活動を知らせ、それに賛同してもらうことが必要であると考えられる。その意味で、大阪マラソンEXPO2014でチャリティ団体コーナーを設けていることに対して55.0%と評価が高い。ただ、そのコーナーでの団体の広報については、43.5%の人しか評価しておらず、これからは広報の仕方の工夫が必要であるといえる。

6、満足度の判別分析

一般ランナーの満足度の規定要因を明らかにするために、「大変満足した」と答えた人と、それ以外の人（「まあまあ満足した」「どちらかという不満だった」「不満だった」と答えた人）で、大会運営について、どのような項目で満足度に違いがあるのかを判別分析によって明らかにした。

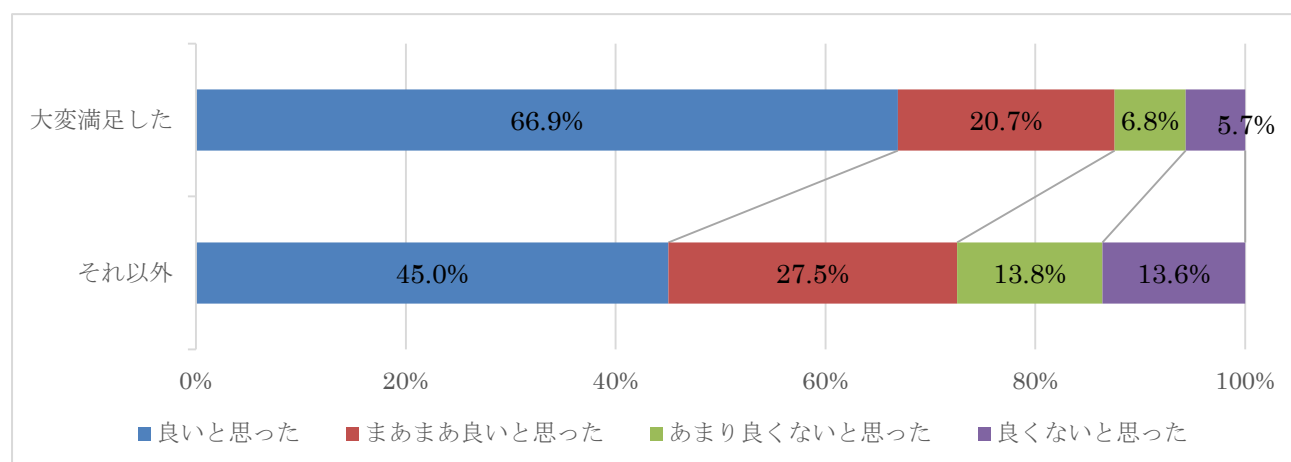
■満足度と大会運営の判別分析

項目	偏相関係数
沿道の給水	0.15983
大阪マラソンEXP02014	0.15858
沿道の給食	0.13752
主催者からの情報発信	0.12438
ランナー盛上げ隊	0.10505
コース途中の案内表示	0.09596
記念品	0.09215
ボランティアの対応	0.09185
32.5km 地点の給食	0.08368
スタートセレモニー	0.08274
救護体制	0.07026
給水の紙コップ	0.05803
7色応援ステーション	0.05611
トイレの設置	0.0539

その結果、1位に「沿道の給水」、2位に「大阪マラソンEXP02014」、3位に「沿道の給食」があがっており、これらに満足度の違いみられた。

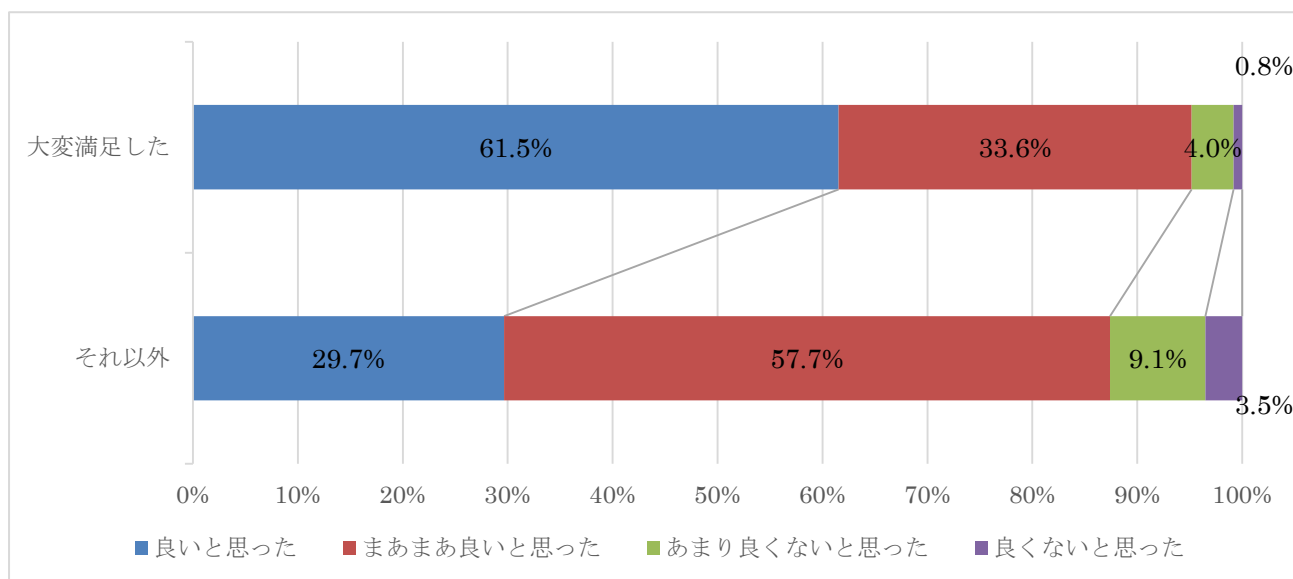
次にその上位三位について内容を見ていく。

■満足度と沿道の給水



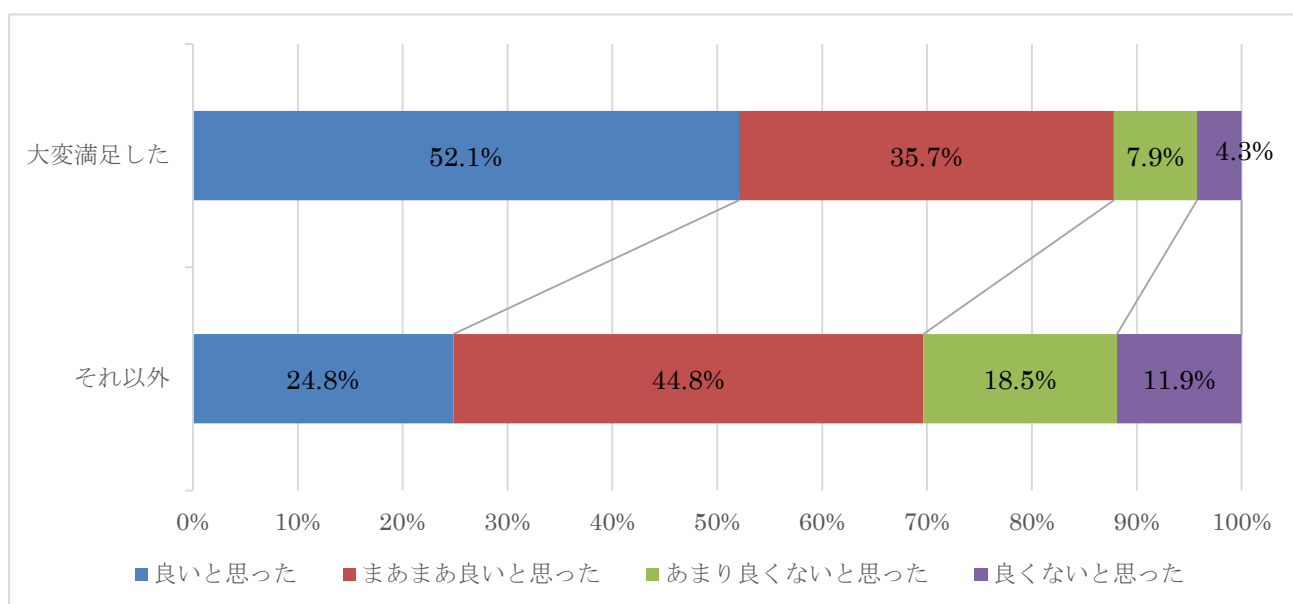
一般ランナーで何らかの不満を持っている人は、沿道の給水について、あまり積極的な評価をしていないということである。

■満足度と大阪マラソン EXP02014



一般ランナーで何らかの不満を持っている人は、大阪マラソン EXP02014 について、あまり高く評価していないということである。

■満足度と沿道の給食



一般ランナーで何らかの不満を持っている人は、沿道の給食について、あまり積極的な評価をしていないということである。

一般ランナーでは、「沿道の給水」、「大阪マラソン EXP02014」、「沿道の給食」が満足度を左右する要因としてあがっており、走ることに関連したサポートのあり方と、前日の EXP0 の工夫が必要であることが示唆された。これに加えて、「主催者からの情報発信」、「ランナー盛り上げ隊」についても、何らかの改善が必要である。ただ、トイレの設置については、不満の規定要因になっていない結果であった。

一般ランナー自由記述（抜粋）

◆賛同のご意見

年代	性別 1. 男性、 2. 女性	ご意見
40	1	大人数のランナーを支える素晴らしいボランティアのいる本当に良い大会だと思います。沿道の皆さんの声援も途切れることなくランナーの力になります。毎年走りたい大会です。
30	2	絶対にまた参加したいです。これからもどんどん大阪マラソンを盛り上げたい。森脇さんもおっしゃっていましたが、大阪のお祭りにしたいですよ。
40	2	今回はあまりにも暑くて、熱中症になりましたが、なんとかゴールできました。ほんとに苦しかったのですが、後半沿道の方々やボランティアの皆さんに、ニックネームゼッケンのおかげで名前を呼んで応援してもらえ、泣きそうになりました。本当に温かかったです。 ということで、またもや街中の雰囲気を楽しむ余裕がなかったので、来年こそリベンジしたいです！エントリーがんばるぞ！！ スタッフのみなさん、応援の皆さん、沿道の皆さん、お疲れ様でした。本当にありがとうございました*¥(^o^)/*。
50	2	とって暑かったけど、沿道の声援に助けられて完走できました。ニックネームカードを申し込んでいたので、自分の名前を呼ばれて、頑張って！と言われると笑顔になれるし、元気がでます。寄付もできて、ほんとにいい制度だと思います。また来年も必ずエントリーします。最後に大会関係者の皆さん、ボランティアの皆さん、本当にありがとうございました。お疲れさまでした～!!
30	1	来年も走りたい！ 沿道の皆さんからの声援が本当に力になりました。 もうダメと思った時、人の声援がこんなにも自分に力を与えるのかということに感動しました。 楽しかったです。
50	1	当日は、暑いなか関係者の皆さん、ボランティアの皆さん、ランナーの皆さん、沿道の皆さんたくさんの感動をありがとうございました。暑さに弱く、走っているとき感謝のことが発せないことが多くありました。ゴールし終わった時は、もう走らなくていいんだという感じともう少し走っていたかったという感じが入り混じった複雑な心境でした。また、大阪の街を走ることがあると思います、その時も応援よろしく願いいたします。ありがとうございました。

30	1	<p>大阪マラソンは非常に素晴らしいマラソン大会でした。運営にかかわった皆さん、そしてボランティアに参加された皆さんには大変感謝しております。ただ最後の楽しみにしていた大阪マラソン独自の給食の量が少なかったために、食べることができませんでした、楽しみにしていた分ショックが大きかったです・・・(笑)、残念でした。来年もエントリーをし、もっとトレーニングをして早いタイムで走り、給食を食べれるように、頑張りたいと思います。運営にかかわった皆さん、ボランティアに参加された皆さん、お疲れ様でした。</p>
50	2	<p>今年は暑くて私も途中で熱中症様な症状になり、沿道で座って休憩していました。スタッフの方や警察の方がいろいろと声をかけてくださり、水を持ってきてくれたりと親切に対応してくださいました。おかげで完走することができ、ゴールでは感激で涙が出ました。沿道では倒れている人が結構いて本当に今年はいろいろ大変だったと思います。スタッフの方の対応にも限度があると思うのでこれ以上大変にならないよう、又ランナーも気持ちよく走れるよう、開催時期をせめて半月でも後ろにずらせてもらった方がもう少し涼しくてトラブルも少なくなるように思います。</p>
20	2	<p>初マラソンが大阪マラソンで本当に良かったと思いました。今まで練習で30キロでも辛い思いをして、このままでは完走できないと思い不安を抱えながらの出場でしたが、沿道の応援や現地に足を運んで来てくれた友達の応援が思っていた以上にパワーが貰え、そのおかげでなんとか完走することができました。私の中では、「30キロの壁」や「35キロの壁」はなく、むしろ30キロからスピードアップできたことに満足しました。ボランティアの方たちも、前々日から支えてくださって、EXPO や給水、ゴール地点どこに行ってもボランティアの人たちに支えられて、この大会が運営できているんだなと感じ、完走率が毎年高いのも大阪ならではの応援があったからではないかと思っています。自分が生まれた街をここまで誇りに思えたのは、人生で初めてです。</p>
30	1	<p>4回目にしてやっと大阪マラソンの抽選に当たりました。 初のフルマラソン挑戦、そして完走。決して一人では成しえなかったことだと思います。 大阪の街並みやスケール感、人情味あふれる沿道での応援の有難さ、ボランティアスタッフや運営本体の方々への感謝の気持ち、自分自身と向き合えたことなどなど、当選日から大会当日を通して様々なことを体感し修練させてもらいました。感動の場を作ってくださいまして、本当にありがとうございました。 この感動の気持ちが、大阪から日本各地へ、そして世界へと繋がっていけばいいなと思います。今後も、何らかの形で少しでもチャリティーに協力できるように日々がんばっていきます。</p>

40	2	<p>たくさんのボランティアの皆さんに助けて頂き、大会参加・完走出来たと確信しています。本当にありがとうございました。本当に感謝しています。紙コップのマナーの悪さはお恥ずかしい限り。スタッフの皆さんが一生懸命片付けされていたことを目の当たりにしました。来年から「マイカップ」制度を設けたらどうでしょう。賛同できる人だけでも表明してその費用分、チャリティに回す事ができます。ぜひ検討して、初の「マイコップ」制度を大阪マラソンで実行してください。</p>
----	---	---

◆改善のご意見

年代	性別 1. 男性、 2. 女性	ご意見
50	1	荷物預けの場所から、スタート位置までの距離が長かった。これは仕方ないんでしょうね。
40	2	混雑するのは、しかたのないことなのですが、走りつかれているのに、コスモスクエアの駅に遠回りで行くのは、改善してほしいです。
40	2	海外では、チャリティマラソンの募金額が、日本より桁違いに多いと、聞いています。ぜひ、大阪マラソンも世界にチャリティマラソンとして、もっと発信したら良いと、思います。世界一の大会に繋がりたいです。
30	1	コースも良く記録が狙える大会だと思いますのでできれば記録書の発行をしてほしい。別の大会のカテゴリーの証明書にしたいため
40	1	ランナーとして参加して、ボランティアや大会関係者の方々の苦労は本当に心からご苦労様と言いたい。ただ、スタート地点(各ブロック)からスタートセレモニーの様子が分かるようにするべき。計2回参加したが、あんなに盛り上がらないスタートはこりごり。みんな無言で1時間も待たされ、無言でスタートが始まる。盛り上がっている？のは大会関係者付近のみ。
50	2	<p>今回、暑かったので、給水が足りなかった。コンビニで水を買って飲んだ人もいたそうです。暑さも想定して、準備をしておいていただきたいです。</p> <p>スタート地点での順路が分かりにくかったので、何度かボランティアさんに質問をしました。案内ボードの充実がされるとより良いと思います。</p> <p>チャリティが売り物のようですが、その内容は一向に浸透しない感じです。マラソンと組み合わせることに、意義があるのか、疑問を持ちました。自分は全く興味がなかったです。</p>

50	1	有名人等と伴走している報道関係者が、横に広がって走っていたり、コースを外れるため急に一般ランナーの前を横切ったりして邪魔に感じるがあった。特に10km付近のコース幅が狭い場所では前に出れなくて困った。
50	1	大阪女子マラソンではありませんが、ゴールは南港ではなくて、長居陸上競技場などメインスタジアムで迎えられるようなコース設定は警備や交通規制の関係で難しいでしょうか？ ご検討ください。
40	2	スタート地点が後方のランナー用にモニター設置すれば良いと思う。AブロックからCブロックくらいまではスタートエリアで盛り上がりやすいけれど、後方は見えないのでモニターがあればその様子を見ながら一緒に盛り上がる事ができるし、より大きな声がスタート地点にどよめきみんなの胸に残る大規模マラソンを体感できるはず！
40	2	ボランティアの配置と人数をもう少し考えたほうが良いのではと思う。忙しいところと、大人数でポーッと座っていて何もしていない人との仕事の差が大きすぎて見えていて不思議に思えた。 スタート整列時、多くのランナーが物を食べたり、スタートまでの保温するための物を身体にまとっていたりしてごみがたくさん出ると思うのですが、それを集めるスタッフもしくはゴミ箱などの設置が少なすぎるのではと思う。 なんでもかんでも仮装禁止というのは納得しかねる。それより大会にノルディックポールを持って参加されていた人がいたが、これは危険ではないのか？現に引っかけりかけたので、こういうものこそ禁止にしてもらいたい。
40	2	EXPO が混み過ぎて疲れた。何か食べたかったけど椅子も空いていなかったし、換気が悪くて気持ち悪くなった。調理するなら換気をしっかりできる場所でやってほしい。煙たかったし服や髪ににおいが付いた。 女子更衣室の入り口付近が混み過ぎ、奥が空いていると誘導してほしい、着替えて帰る時に苦労した。 荷物渡し、速いランナーほど遠くてたくさん歩いたので逆にしてほしい。
30	1	県別でゼッケンを分けてみたり対抗にしてみたりしたら面白いかもしれない。
40	1	嫁さんと子供が応援に来てくれてたが、ランナーズアイが全く使い物にならなかったと大不評でした。同じようなサービスが神戸マラソンにや京都マラソンにもありましたが、それらは問題なく使えたそうです。結局ゴールまで、一度も合うことがありませんでした。

30	1	<p>屋台村の入場受付終了時間および退場時間が早すぎる。制限時間ギリギリでゴールした後、着替えてすぐ行ったのにもう入れなかった。遅い人のことを全然考えていないと思った。また、みんな一斉に退場させられたため駅までの道が込みこみになり結局帰るのに時間がかかってしまった。もう少し会場でゆっくりさせてくれないのでは？</p>
40	1	<p>必要以上にコース上の沿道の応援者とランナーの間パイロンで距離がありました。せっかく応援されている方にたいしてひどくないですか。また、あからさまに沿道にランナーを近寄せなく(誘導させる)スタッフが複数個所で見受けられました。第5回では改善されるようお願いします。</p>
50	2	<p>大会後のお風呂マップや情報があれば(私が知らないだけかもしれませんが)嬉しいです。</p>
30	2	<p>Tシャツのサイズ展開をもっと増やしてほしい。SSサイズにしたけれど細身の女性にとってはMくらいに感じる。参加Tシャツなら仕方ないけど、せっかくチャリティTシャツを買って、それを着たいのに希望のサイズじゃなかったら着れない。</p>

おわりに

調査を終えて、大阪マラソンがより充実し、多くの方に愛される大会になるために、次の3つの提案をしたいと思います。

1、チャリティランナーの誤解：「参加」から「参画」へ

チャリティランナーは、チャリティ団体を代表して走るものです。つまり、チャリティ団体のメッセンジャーなのです。しかし、今回の調査で明らかになったことは、多くチャリティランナーはそのことが理解できずに、チャリティ団体に多くの募金をする人と捉えているということです。だから、ホームページのメッセージの多くは、「私は〇〇団体の趣旨に賛同したので応援します。頑張ってください」と書かれています。本当は、「私は〇〇団体の趣旨に賛同したので、私に募金することで、〇〇団体を応援してください」と書くべきではないでしょうか。つまり、チャリティをしてもらう団体側に立ってのメッセージが少なかったのです。それは、チャリティ活動に「参加」はしていますが、チャリティ団体には「参画」していないのです。チャリティランナーはチャリティ団体のメッセンジャーとしての自覚を持って、多くの人から募金を集めることを通して、チャリティ団体をアピールする活動に参画してほしいと思います。

2、スポーツツーリズムの変化：「もの」から「ひと」へ

海外ランナーの一番の参加動機は「沿道の応援が楽しいと聞いたから」でした。つまり、海外から来て大阪マラソンをスポーツツーリズムとして楽しもうとする人は、観光地という「もの」に惹かれる以上に、日本人との交流という「ひと」にその魅力を感じているということなのです。だから、日本のランナーと交流できなかったことに不満を持っているといえます。観光は風景や文化遺産を観るというSeeingから、旅先でマラソンのような活動をするDoingに代わったといわれます。今や、そのDoingはマラソンという単なる活動ではなく、そのことを通して人と出会い、交流するMeetingを求め始めているといえます。このスポーツツーリズムの新しい潮流を大阪マラソンの特徴としていってほしいものです。

3、市民マラソンの社会的意味の変容：「成長」から「成熟」へ

大阪マラソンが多くの人に愛され、存続していくためには、関わり方の多様性が担保されていなければなりません。つまり、マラソンというスポーツの価値を近代スポーツの競争中心の価値だけに矮小化してはならないということです。周知のとおり、近代は「成長」をキーワードとしてきました。スポーツはその成長が競争という形で最も目に見えて分かりやすいので、近代社会のモデルとして存在してきたのです。マラソンも 42.195 キロの物語のなかで、この成長モデルとして、われわれに感動を提供してきました。しかし、市民マラソンブームの火付け役は、1970年代に始まった健康のためのジョギングだったのです。したがって、早く走るというだけではなく、走ることによる身体の爽快さに、あるいは完走することの達成感に、人々はその価値を求め始めました。そして、現代の「成熟」時代では、個々人が走ることに価値を、それぞれが付与し、自分たちでその物語を作・演出することで楽しむようになったのです。まさしくそれは、成熟時代にふさわしい市民マラソンの成熟と言えます。このようなマラソンの多様な価値観を認め、人々の生活を豊かにするスポーツ文化として、大阪マラソンが存続することを強く望みます。

資料

チャリティランナー意識調査票
海外参加ランナー意識調査票（日本語）
観客意識調査票
参加ランナー意識調査票（一般）
読売新聞掲載紙

第4回大阪マラソン チャリティランナー意識調査

10月26日、「第4回大阪マラソン」が開催されました。如何だったでしょうか？

読売新聞社と関西大学は、「大阪マラソン」がもたらす効果と影響について、大阪マラソン組織委員会の依頼を受けて、共同で意識調査を行っております。

本調査では、チャリティランナーのみなさんに大会の運営等についての調査へのご協力をお願いしています。

調査結果は、読売新聞紙上のほか関連学会などで発表することになっています。また、大阪マラソン組織委員会にも報告し、今後の大会運営に活かしてもらう予定にしています。

ご協力をお願いします。

※この調査は携帯電話からお答えいただくことはできません。ご了承ください。

※今回の意識調査でお答えいただいた内容については、統計的に処理され、個々の内容を明かすことはありませんので、ありのままをお答えください。

<あなた自身について>

1. 年齢（年代）：①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上
2. 性別：①男性 ②女性
3. お住まいの都道府県：①北海道、・・・⑩沖縄県
4. これまでの大阪マラソンへの参加：（複数回答可）
①マラソンランナー（一般）として参加した ②マラソンランナー（チャリティランナー）として参加した ③チャレンジラン（8.8km）ランナーとして参加した ④ボランティアとして参加した ⑤観客として参加した ⑥テレビで見ていた ⑦ランナーとして申し込んだが抽選に外れた ⑧関心がなかった ⑨その他（ ）
5. 市民マラソン参加経験：①今回が初めて ②1～5回 ③6～10回 ④11～15回 ⑤16～20回 ⑥21回以上
6. 今回のフルマラソンのタイム：①3時間未満 ②3時間～3時間30分未満 ③3時間30分～4時間未満 ④4時間～4時間30分未満 ⑤4時間30分～5時間未満 ⑥5時間～5時間30分未満 ⑦5時間30分～6時間未満 ⑧6時間～6時間30分未満 ⑨6時間30分～7時間未満 ⑩未完走
7. チャリティランナー募集をどのようにして知りましたか？
①テレビ ②ラジオ ③大会ホームページ ④その他のウェブサイト ⑤新聞 ⑥雑誌 ⑦府市広報 ⑧ポスター・チラシ ⑨友人 ⑩その他（ ）
8. チャリティ先はどこですか？
①iPS細胞による再生医療・創薬の研究：京都大学iPS細胞研究所
②がん患者とその家族をサポート：特定非営利活動法人がんサポートコミュニティー
③知的障がいを持つアスリートを支援：公益財団法人スペシャルオリンピックス日本
④若年無業の状態にある若者たちへの就労支援：特定非営利活動法人育て上げネット
⑤世界各地の恵まれない人々への医療支援：特定非営利活動法人世界の医療団（認定NPO法人）
⑥難病の子どもとその家族全員をサポート：公益社団法人難病の子どもとその家族へ夢を

- ⑦国内外で森づくりを推進：一般社団法人 more trees
- ⑧東日本大震災で失われた海岸林を再生：公益財団法人オイスカ
- ⑨途上国の人々に安全な水と衛生を届ける：特定非営利活動法人ウォーターエイドジャパン
- ⑩難民や避難民の保護・支援：特定非営利活動法人国連 UNHCR 協会
- ⑪飢餓と貧困で苦しむ地域へ食糧支援：特定非営利活動法人国連 WFP 協会
- ⑫病児保育でひとり親家庭をサポート：仮認定特定非営利活動法人ノーベル
- ⑬若者による街の美化活動：特定非営利活動法人 greenbird

9. その寄付先チャリティ団体に決めた一番の理由は何ですか？

- ①テーマに関心があったから ②寄付先団体の活動に関心があったから ③自分のしていることに関係があったから ④知っている人がいたから ⑤チャリティ T シャツのデザインがよかったから ⑥なんとなく ⑦その他 ()

10. 自身を含め実際に何人のサポーターから寄付をいただきましたか？

() 人

11. 募金活動はどのようにしましたか？（複数回答可）

- ①SNS を活用してお願いした ②街頭（社内・学内等を含む）募金した ③募金のためのイベントを開いた ④家族・親戚にお願いした ⑤知人・友人にお願いした ⑥なにもしなかった ⑦その他 ()

12. チャリティランナーに対して行っていることについて、知っているものは何ですか？（複数回答可）

- ①チャリティランナー用チャリティ T シャツを着用して出場 ②チャリティランナーカードの着用 ③チャリティランナーパス ④受付時の専用レーン ⑤スタート地点での専用ラウンジ ⑥フィニッシュ地点での専用ラウンジ ⑦なないろリストバンド ⑧その他 ()

13. チャリティランナーに対して行っていることについて、良かったものは何ですか？（複数回答可）

- ①チャリティランナー用チャリティ T シャツを着用して出場 ②チャリティランナーカードの着用 ③チャリティランナーパス ④受付時の専用レーン ⑤スタート地点での専用ラウンジ ⑥フィニッシュ地点での専用ラウンジ ⑦なないろリストバンド ⑧その他 ()

14. チャリティランナーとして走ってみて満足しましたか？

- ①大変満足した ②まあまあ満足した ③どちらかという不満だった ④不満だった

15. チャリティランナーとして来年も走りたいですか？

- ①ぜひとも走りたい ②できれば走りたい ③あまり走りたくない ④走りたくない

<チャリティランナー参加の理由>

チャリティランナーとして参加する理由として、次のようなものがあります。それぞれについてどう思われますか？ 次の項目について、(○大いに関係ある ○まあまあ関係ある ○あまり関係ない ○まったく関係ない) の4段階で評価してください。

①チャリティランナーの趣旨に賛同したから。	<input type="radio"/> 大いに関係ある <input type="radio"/> まあまあ関係ある <input type="radio"/> あまり関係ない <input type="radio"/> まったく関係ない
-----------------------	--

② 寄付先団体の趣旨や活動に興味があったから。	<input type="radio"/> 大いに関係ある <input type="radio"/> まあまあ関係ある <input type="radio"/> あまり関係ない <input type="radio"/> まったく関係ない
③ 寄付先団体のことをみんなに知ってほしかったから。	<input type="radio"/> 大いに関係ある <input type="radio"/> まあまあ関係ある <input type="radio"/> あまり関係ない <input type="radio"/> まったく関係ない
④ 寄付先団体に知り合いがいるから。	<input type="radio"/> 大いに関係ある <input type="radio"/> まあまあ関係ある <input type="radio"/> あまり関係ない <input type="radio"/> まったく関係ない
⑤ チャリティを集めるのがおもしろそうだったから。	<input type="radio"/> 大いに関係ある <input type="radio"/> まあまあ関係ある <input type="radio"/> あまり関係ない <input type="radio"/> まったく関係ない
⑥ 7万円払えば出場権を得られるから。	<input type="radio"/> 大いに関係ある <input type="radio"/> まあまあ関係ある <input type="radio"/> あまり関係ない <input type="radio"/> まったく関係ない
⑦ チャリティランナーを体験してみたかったから。	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない
⑧ 知人に勧められたから。	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない
⑨ 募金をしてくれる仲間（サポーター）がいたから。	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない
⑩ 大阪マラソンのチャリティ活動を盛り上げたいと思ったから。	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない

上記以外にチャリティランナーに参加した動機があればお書きください。(自由記述)

--

<チャリティランナーの運営について>

チャリティランナーの運営について、どのように思われますか？ 次の項目について（○満足している ○まあまあ満足だ ○あまり満足ではない ○不満足である）の4段階で評価してください。また、「不満足である」とお答えの方は、差支えがなければその内容についてお書きください。

①チャリティランナーの参加申し込み方法について	○満足している。 ○まあまあ満足している。 ○どちらかというの不満足である。 ○不満足である。 ()
②チャリティページへのアップ等、広報の仕方について	○満足している。 ○まあまあ満足している。 ○どちらかというの不満足である。 ○不満足である。 ()
③募金活動へのサポートについて	○満足している。 ○まあまあ満足している。 ○どちらかというの不満足である。 ○不満足である。 ()
④チャリティの最低金額（7万円）について	○満足している。 ○まあまあ満足している。 ○どちらかというの不満足である。 ○不満足である。 ()
⑤ジャストギビングを通してのチャリティの募金方法について	○満足している。 ○まあまあ満足している。 ○どちらかというの不満足である。 ○不満足である。 ()
⑥寄付先団体によるチャリティランナーの広報について	○満足している。 ○まあまあ満足している。 ○どちらかというの不満足である。 ○不満足である。 ()

⑦ 寄付先団体との事前の交流について	<input type="radio"/> 満足している。 <input type="radio"/> まあまあ満足している。 <input type="radio"/> どちらかというと不満足である。 <input type="radio"/> 不満足である。 ()
⑧ 寄付先団体との当日の交流について	<input type="radio"/> 満足している。 <input type="radio"/> まあまあ満足している。 <input type="radio"/> どちらかというと不満足である。 <input type="radio"/> 不満足である。 ()
⑨ チャリティランナー同士の交流について	<input type="radio"/> 満足している。 <input type="radio"/> まあまあ満足している。 <input type="radio"/> どちらかというと不満足である。 <input type="radio"/> 不満足である。 ()
⑩ チャリティランナーの制度を設置したことについて	<input type="radio"/> 満足している。 <input type="radio"/> まあまあ満足している。 <input type="radio"/> どちらかというと不満足である。 <input type="radio"/> 不満足である。 ()
⑪ 寄付先団体の目的や活動を明確にしていることについて	<input type="radio"/> 満足している。 <input type="radio"/> まあまあ満足している。 <input type="radio"/> どちらかというと不満足である。 <input type="radio"/> 不満足である。 ()
⑫ チャリティアンバサダー※を置くことについて ※チャリティの趣旨に賛同し、PRに協力する各界著名人	<input type="radio"/> 満足している。 <input type="radio"/> まあまあ満足している。 <input type="radio"/> どちらかというと不満足である。 <input type="radio"/> 不満足である。 ()
⑬ 自分の選んだチャリティカラーのナンバーカードやチャリティ T シャツを身に着けて走ることについて	<input type="radio"/> 満足している。 <input type="radio"/> まあまあ満足している。 <input type="radio"/> どちらかというと不満足である。 <input type="radio"/> 不満足である。 ()

チャリティランナーの制度や運営等の改善点についてのご意見があれば、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

第4回大阪マラソン 海外参加ランナー意識調査

10月26日、「第4回大阪マラソン」が開催されました。如何だったでしょうか？

読売新聞社と関西大学は、「大阪マラソン」がもたらす効果と影響について、大阪マラソン組織委員会の依頼を受けて、共同で意識調査を行っております。

本調査では、ランナーのみなさんに、大会の運営等についての調査へのご協力をお願いしています。

調査結果は、読売新聞紙上のほか関連学会などで発表することになっています。また、大阪マラソン組織委員会にも報告し、今後の大会運営に活かしてもらう予定にしています。

ご協力をお願いします。

※この調査は携帯電話からお答えいただくことはできません。ご了承ください。

※今回の意識調査でお答えいただいた内容については、統計的に処理され、個々の内容を明かすことはありませんので、ありのままをお答えください。

<あなた自身について>

1. 年齢（年代）：①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上
2. 性別：①男性、②女性
3. お住まいの国：（ ）
4. 参加種目：①一般、②チャレンジラン
5. これまでの海外での市民マラソン参加経験：①今回が初めて ②1～5回 ③6～10回 ④11～15回 ⑤16～20回 ⑥21回以上
6. これまでの日本での市民マラソン参加経験：①ない ②ある（ ）マラソン
7. 今回のフルマラソンのタイム（チャレンジランを除く）：①3時間未満 ②3時間～3時間30分未満 ③3時間30分～4時間未満 ④4時間～4時間30分未満 ⑤4時間30分～5時間未満 ⑥5時間～5時間30分未満 ⑦5時間30分～6時間未満 ⑧6時間～6時間30分未満 ⑨6時間30分～7時間未満 ⑩未完走
8. ランニングやマラソン大会の情報は何で知りますか？（複数回答可）
①インターネット ②雑誌 ③新聞 ④テレビなどのマスメディア ⑤ポスター・チラシ
⑥友人 ⑦他のマラソン大会 ⑧その他
9. 大阪マラソンをどのようにして知りましたか？
①インターネット ②雑誌 ③新聞 ④旅行者の案内 ⑤ポスター・チラシ ⑥友人
⑦その他（ ）
10. 大阪には何日滞在しましたか？
（ 月 日～ 月 日）
11. 大阪滞在中に、大阪マラソン参加以外に何か活動をしましたか？（複数回答可）
①別にしなかった ②大阪市内観光 ③大阪府下の観光 ④近郊県（京都、奈良、兵庫など）の観光
⑤大阪名物を飲食した ⑥買い物（ショッピング）をした ⑦USJなどの娯楽（アミューズメント）施設に行った ⑧お笑いなどの演芸を見た ⑨文楽などの古典芸能を見た ⑩スポーツを見た

⑪美術館・博物館などの文化施設に行った ⑫その他（ ）

12. あなたは、大阪マラソンのために概算でどれだけの経費を使いましたか？（ウェア、シューズの購入など事前準備費用、宿泊交通費、食費、お土産など滞在期間中の費用一切。参加料は除く）

- ①5万円未満 ②5万円以上10万円未満 ③10万円以上15万円未満 ④15万円以上20万円未満
⑤20万円以上30万円未満 ⑥30万円以上50万円未満 ⑦50万円以上

13. 第4回大阪マラソンに満足しましたか？

- ①大変満足した ②まあまあ満足した ③どちらかという不満だった ④不満だった

14. 大阪マラソンにまた参加したいですか？

- ①ぜひ参加したい ②参加したい ③機会があれば参加してもいい ④参加したくない

<参加目的について>

あなたが大阪マラソンに参加することを決めた理由は何ですか？

次の項目について、(○大いに関係ある ○まあまあ関係ある ○あまり関係ない ○まったく関係ない)の4段階で評価してください。

①海外のマラソンに参加してみたかったから。	<input type="radio"/> 大いに関係ある <input type="radio"/> まあまあ関係ある <input type="radio"/> あまり関係ない <input type="radio"/> まったく関係ない
②コースが平坦で走りやすいと思ったから。	<input type="radio"/> 大いに関係ある <input type="radio"/> まあまあ関係ある <input type="radio"/> あまり関係ない <input type="radio"/> まったく関係ない
③制限時間が7時間だから。	<input type="radio"/> 大いに関係ある <input type="radio"/> まあまあ関係ある <input type="radio"/> あまり関係ない <input type="radio"/> まったく関係ない
④大阪の観光地を走れるから。	<input type="radio"/> 大いに関係ある <input type="radio"/> まあまあ関係ある <input type="radio"/> あまり関係ない <input type="radio"/> まったく関係ない
⑤大阪マラソンに参加した人に勧められたから。	<input type="radio"/> 大いに関係ある <input type="radio"/> まあまあ関係ある <input type="radio"/> あまり関係ない <input type="radio"/> まったく関係ない
⑥参加人数が多い(規模が大きい)から。	<input type="radio"/> 大いに関係ある <input type="radio"/> まあまあ関係ある <input type="radio"/> あまり関係ない <input type="radio"/> まったく関係ない

⑦大都市で開催されるマラソンだから。	<input type="radio"/> 大いに関係ある <input type="radio"/> まあまあ関係ある <input type="radio"/> あまり関係ない <input type="radio"/> まったく関係ない
⑧沿道の応援が楽しいと聞いたから	<input type="radio"/> 大いに関係ある <input type="radio"/> まあまあ関係ある <input type="radio"/> あまり関係ない <input type="radio"/> まったく関係ない
⑨大阪に来たかったから。	<input type="radio"/> 大いに関係ある <input type="radio"/> まあまあ関係ある <input type="radio"/> あまり関係ない <input type="radio"/> まったく関係ない
⑩チャリティの趣旨に賛同したから。	<input type="radio"/> 大いに関係ある <input type="radio"/> まあまあ関係ある <input type="radio"/> あまり関係ない <input type="radio"/> まったく関係ない
⑪マラソンへの参加で旅行を楽しくしたいと思ったから。	<input type="radio"/> 大いに関係ある <input type="radio"/> まあまあ関係ある <input type="radio"/> あまり関係ない <input type="radio"/> まったく関係ない
⑫開催時期（10月時期）がよいから。	<input type="radio"/> 大いに関係ある <input type="radio"/> まあまあ関係ある <input type="radio"/> あまり関係ない <input type="radio"/> まったく関係ない
⑬ボランティア等のサポート体制が充実しているから。	<input type="radio"/> 大いに関係ある <input type="radio"/> まあまあ関係ある <input type="radio"/> あまり関係ない <input type="radio"/> まったく関係ない
⑭参加手続きが簡単だから。	<input type="radio"/> 大いに関係ある <input type="radio"/> まあまあ関係ある <input type="radio"/> あまり関係ない <input type="radio"/> まったく関係ない

上記以外に参加を決めた理由があればお書きください。（自由記述）

<参加後の感想>

第4回大阪マラソンを走ってみて、次のような意見があります。それぞれについてどう思われますか？

次の項目について、(○まったくそう思う ○まあまあそう思う ○あまりそう思わない ○まったくそう思わない) の4段階で評価してください。

①日本のランナーと交流できてよかった。	○まったくそう思う ○まあまあそう思う ○あまりそう思わない ○まったくそう思わない
②コース設定がよかった。	○まったくそう思う ○まあまあそう思う ○あまりそう思わない ○まったくそう思わない
③併設イベント (EXPO2014) が楽しかった。	○まったくそう思う ○まあまあそう思う ○あまりそう思わない ○まったくそう思わない
④制限時間が7時間でよかった。	○まったくそう思う ○まあまあそう思う ○あまりそう思わない ○まったくそう思わない
⑤記念品等のグッズが良かった。	○まったくそう思う ○まあまあそう思う ○あまりそう思わない ○まったくそう思わない
⑥大阪の観光地を走れたのがよかった。	○まったくそう思う ○まあまあそう思う ○あまりそう思わない ○まったくそう思わない
⑦友人に勧めたいと思った。	○まったくそう思う ○まあまあそう思う ○あまりそう思わない ○まったくそう思わない
⑧参加人数が多い (規模が大きい) ところがよかった。	○まったくそう思う ○まあまあそう思う ○あまりそう思わない ○まったくそう思わない

<p>⑨一般の観客の応援が良かった。</p>	<p><input type="radio"/>まったくそう思う <input type="radio"/>まあまあそう思う <input type="radio"/>あまりそう思わない <input type="radio"/>まったくそう思わない</p>
<p>⑩ランナー盛上げ隊！（沿道の音楽やダンスの応援パフォーマンス）が良かった。</p>	<p><input type="radio"/>まったくそう思う <input type="radio"/>まあまあそう思う <input type="radio"/>あまりそう思わない <input type="radio"/>まったくそう思わない</p>
<p>⑪自分の選んだチャリティカラーのナンバーカードやチャリティTシャツを身に着けて走ることがよかった。</p>	<p><input type="radio"/>まったくそう思う <input type="radio"/>まあまあそう思う <input type="radio"/>あまりそう思わない <input type="radio"/>まったくそう思わない</p>
<p>⑫インターネットでランナーの位置が分かるのが良かった。</p>	<p><input type="radio"/>まったくそう思う <input type="radio"/>まあまあそう思う <input type="radio"/>あまりそう思わない <input type="radio"/>まったくそう思わない</p>
<p>⑬給水・給食が良かった。</p>	<p><input type="radio"/>まったくそう思う <input type="radio"/>まあまあそう思う <input type="radio"/>あまりそう思わない <input type="radio"/>まったくそう思わない</p>
<p>⑭救護等の安全対策が充実していた。</p>	<p><input type="radio"/>まったくそう思う <input type="radio"/>まあまあそう思う <input type="radio"/>あまりそう思わない <input type="radio"/>まったくそう思わない</p>
<p>⑮ボランティア等のサポート体制が充実していてよかった。</p>	<p><input type="radio"/>まったくそう思う <input type="radio"/>まあまあそう思う <input type="radio"/>あまりそう思わない <input type="radio"/>まったくそう思わない</p>
<p>⑯旅行気分を味わえてよかった。</p>	<p><input type="radio"/>まったくそう思う <input type="radio"/>まあまあそう思う <input type="radio"/>あまりそう思わない <input type="radio"/>まったくそう思わない</p>
<p>⑰チャリティのために走るマラソン大会の趣旨が良かった。</p>	<p><input type="radio"/>まったくそう思う <input type="radio"/>まあまあそう思う <input type="radio"/>あまりそう思わない <input type="radio"/>まったくそう思わない</p>

上記以外に参加後の感想があればお書きください。(自由記述)

<大阪マラソンへの要望>

大会運営に関して改善してほしいことなどご意見があれば、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

第4回大阪マラソン 観客意識調査

読売新聞社と関西大学は、「大阪マラソン」がもたらす効果と影響について、大阪マラソン組織委員会の依頼を受けて、共同意識調査を行うことになりました。

今回は、コースの沿道で応援される観客の方々に、応援の仕方や応援についての意識に関する調査を行いたいと思います。

調査結果は、読売新聞紙上のほか関連学会などで発表することになっています。また、大阪マラソン組織委員会にも報告し、今後の大会運営に活かしてもらう予定にしています。ご協力をお願いします。

※今回の意識調査でお答えいただいた内容については、統計的に処理され、個々の内容を明かすことはありません。

<あなた自身について> ※当てはまる番号に○をしてください。

◆年齢(年代): ①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上

◆性別: ①男性 ②女性

◆お住まいはどちらですか？

①マラソンコース付近 ②大阪市内 ③大阪府内 ④その他の都道府県()
⑤海外()

<大阪マラソンの応援について>

1. 大阪マラソンについてどのようにして知りましたか？

①家族 ②近所の人 ③友人・知人 ④新聞 ⑤テレビ ⑥広報誌
⑦駅のポスター ⑧インターネット ⑨公式フェイスブック ⑩大会ガイドブック
⑪大阪マラソン看板(交通規制など) ⑫その他()

2. 今日ほどなたと、何人でお越しになりましたか？

①ひとりで ②家族と()人 ③友人・知人と()人 ④会社などの同僚と()人
⑤マラソン仲間と()人 ⑥その他()と()人

3. だれを応援しましたか？(複数回答可)

①家族 ②知人・友人 ③チャリティランナー ④ランナーみんな ⑤その他()

4. チャリティランナーを知っていますか？

①知っている ②知らない

4-1. (①と答えた人のみ) どうしてお知りになりましたか？

①大阪マラソンのホームページで ②新聞で ③チャリティ団体の呼び掛けや活動 ④知人や友人から
⑤その他()

5. 募金(チャリティ)はされましたか？

①事前にネットで行った ②24, 25日にインテックス大阪のチャリティコーナーで直接募金した
③応援グッズでチャリティをした ④まだしていないが、これからする予定である。 ⑤する予定はない

5-1, (①、②、③、④と答えた人のみ) 募金を行おうと思われたきっかけはなんですか？

- ①ランナーの姿を見て感動したから ②チャリティ団体の活動内容を見て応援したいと思ったから
- ③大阪マラソンはチャリティマラソンと知ったから ④応援グッズがほしかったから
- ⑤その他()

6, 大阪での滞在日数はどのくらいですか？

- ①当日(26日)のみ、②前日(25日)と当日(26日)、③当日(26日)と翌日(27日)、④前日から翌日(25日～27日)、⑤前々日から当日(24日～26日)、⑥その他()

7, 大阪マラソン観戦以外に何か活動をしましたか、あるいは活動する予定ですか？(複数回答可)

- ①別にしなかった ②大阪市内観光 ③大阪府下の観光 ④近郊県(京都、奈良、兵庫など)の観光
- ⑤大阪名物の飲食 ⑥買い物(ショッピング) ⑦USJなどの娯楽(アミューズメント)施設
- ⑧お笑いなどの演芸観賞 ⑨文楽などの古典芸能観賞 ⑩スポーツを観賞
- ⑪美術館・博物館などの文化施設 ⑫その他()

8, 応援を終えた後、どうしますか？

- ①そのまま帰る ②応援した友人・知人と飲食をする ③自分たちだけで飲食をする
- ④応援で知り合いになった人と飲食に行く

9, なぜ、この場所を選んだのですか？(複数回答可)

- ①すいていると思ったから ②知り合いがいるから ③来やすかったから
- ④観光スポットだから ⑤一番おもしろそうな場所と思ったから ⑥ここが良いとすすめられたから
- ⑦ランナーがよく見える場所だから ⑧なんとなく ⑨その他()

10, 何箇所で応援しますか？ あるいはしましたか？

()

11, これまで、大阪マラソンには参加されましたか？(複数回答可)

- ①マラソン・ランナーとして参加した ②チャレンジラン・ランナーとして参加した ③ボランティアとして参加した
- ④観客として参加した ⑤テレビで見っていた ⑥関心がなかった
- ⑦ランナーとして申し込んだが抽選に外れた ⑧その他()

12, あなたが大阪マラソンを応援しようと思われた理由は何ですか？(3つまで)

- ①出場している知人を応援したいから
- ②大阪を盛り上げたいから
- ③ランナーから元気をもらいたいから
- ④人から勧められたり誘われたりしたから
- ⑤時間に余裕がある(あった)から
- ⑥話題になっていたから
- ⑦大阪マラソンの応援は楽しいと聞いたから
- ⑧ランナーとして参加できなかったから
- ⑨テレビに映るかもしれないから
- ⑩招待・ゲスト・チャリティランナーに会いたいから
- ⑪思い出や記念になるから
- ⑫その他()

13. 大阪マラソン以外のマラソンの観戦経験はありますか？

①ある()マラソン ②ない

14. 大阪マラソンの応援をしてどのように感じられましたか？

1) 応援の場所はどうでしたか？

①良かった ②あまり良くなかった()

2) 応援の仕方やマナーはどうでしたか？

①良かった ②あまり良くなかった()

3) ランナー盛り上げ隊はどうでしたか？

①良かった ②あまり良くなかった()

4) 係員やボランティアの対応はどうでしたか？

①良かった ②あまり良くなかった()

5) ランナーの走り(仮装を含む)はどうでしたか？

①良かった ②あまり良くなかった()

6) 7色応援スタイル(チャリティカラーのアイテムを持って応援する)

①良かった ②あまり良くなかった()

7) 応援グッズはどうでしたか？

①良かった ②あまり良くなかった()

ご協力ありがとうございました。

調査地点：_____

調査時間：_____ 時 _____ 分

第4回大阪マラソン 参加ランナー意識調査

10月26日、「第4回大阪マラソン」が開催されました。如何だったでしょうか？

読売新聞社と関西大学は、「大阪マラソン」がもたらす効果と影響について、大阪マラソン組織委員会の依頼を受けて、共同で意識調査を行っております。

本調査では、ランナーのみなさんに、大会の運営等についての調査へのご協力をお願いしています。

調査結果は、読売新聞紙上のほか関連学会などで発表することにしています。また、大阪マラソン組織委員会にも報告し、今後の大会運営に活かしてもらう予定にしています。

ご協力をお願いします。

※この調査は携帯電話からお答えいただくことはできません。ご了承ください。

※今回の意識調査でお答えいただいた内容については、統計的に処理され、個々の内容を明かすことはありませんので、ありのままをお答えください。

<あなた自身について>

- 年齢(年代)：①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上
- 性別：①男性 ②女性
- お住まいの都道府県：①北海道、・・・⑩沖縄県
- 参加種目：①登録 ②一般 ③車いす ④チャレンジラン
- 参加申し込み：①個人 ②ペア ③グループ
- スタート地点(ブロック)：①A ②B ③C ④D ⑤E ⑥F ⑦G ⑧H ⑨I ⑩J ⑪K ⑫L ⑬M ⑭N ⑮O ⑯P ⑰Q
- これまでの大阪マラソンへの参加：(複数回答可)
①マラソンランナー(一般)として参加した ②マラソンランナー(チャリティランナー)として参加した ③チャレンジラン(8.8km)ランナーとして参加した ④ボランティアとして参加した ⑤観客として参加した ⑥テレビで見ていた ⑦ランナーとして申し込んだが抽選に外れた ⑧関心がなかった ⑨その他()
- 市民マラソン参加経験：①今回が初めて ②1～5回 ③6～10回 ④11～15回 ⑤16～20回 ⑥21回以上
- 今回のフルマラソンのタイム(チャレンジランナーを除く)：①3時間未満 ②3時間～3時間30分未満 ③3時間30分～4時間未満 ④4時間～4時間30分未満 ⑤4時間30分～5時間未満 ⑥5時間～5時間30分未満 ⑦5時間30分～6時間未満 ⑧6時間～6時間30分未満 ⑨6時間30分～7時間未満 ⑩未完走
- 第4回大阪マラソンランナー募集をどのようにして知りましたか？
①テレビ ②ラジオ ③大会ホームページ ④その他のウェブサイト ⑤新聞 ⑥雑誌 ⑦府市広報 ⑧ポスター・チラシ ⑨友人 ⑩その他()
- 大阪マラソンを走ろうと思った理由は何ですか？(複数回答可)
①大阪で開催される大会だから ②コースがよいから ③制限時間(チャレンジラン：1時間50分

／マラソン：7時間） ④時期（10月）がよいから ⑤沿道観衆が多いから ⑥沿道の応援が楽しいから ⑦国内最大級の大会だから ⑧TVなどに映るから ⑨その他（ ）

12. 第4回大阪マラソンに満足しましたか？

①満足した ②まあまあ満足した ③どちらかというと不満足だった ④不満足だった

13. ランナー受付で良かったことは何ですか？（複数回答可）

①受付完了までの経路、レイアウト ②誘導サイン（表示） ③ボランティア、スタッフの対応 ④その他（ ）

14. ランナー受付で改善が必要なことは何ですか？（複数回答可）

①受付完了までの経路、レイアウト ②誘導サイン（表示） ③ボランティア、スタッフの対応 ④その他（ ）

15. スタートエリアで良かったことは何ですか？（複数回答可）

①エリア内の経路、レイアウト ②誘導サイン（表示） ③手荷物預かり ④ランナーのブロック分け ⑤トイレの数、配置 ⑥更衣室の広さ、配置 ⑦ボランティア、スタッフの対応 ⑧その他（ ）

16. スタートエリアで改善が必要なことは何ですか？（複数回答可）

①エリア内の経路、レイアウト ②誘導サイン（表示） ③手荷物預かり ④ランナーのブロック分け ⑤トイレの数、配置 ⑥更衣室の広さ、配置 ⑦ボランティア、スタッフの対応 ⑧その他（ ）

17. フィニッシュエリアで良かったことは何ですか？（複数回答可）

①エリア内の経路、レイアウト ②誘導サイン（表示） ③手荷物受け取り ④トイレの数、配置 ⑤更衣室の広さ、配置 ⑥ボランティア、スタッフの対応 ⑦その他（ ）

18. フィニッシュエリアで改善が必要なことは何ですか？（複数回答可）

①エリア内の経路、レイアウト ②誘導サイン（表示） ③手荷物受け取り ④トイレの数、配置 ⑤更衣室の広さ、配置 ⑥ボランティア、スタッフの対応 ⑦その他（ ）

19. 大阪マラソンの盛り上げの取り組みについて、スタートまでにすでに知っていたものは何ですか？（複数回答可）

①コブクロによる公式テーマソング ②地下鉄・駅での公式テーマソングを使った車内・構内放送 ③森脇健児応援団長 ④わくわく写真館（写真投稿サイト） ⑤7色応援ステーション（コース沿道7か所でバルーンを揚げるなど虹の7色を演出） ⑥おもしろ応援ボードを使った応援 ⑦7色ハイタッチ手袋を使った応援 ⑧7色応援スタイル（チャリティカラーのグッズを身に着ける） ⑨御堂筋のバナー ⑩大会ポスター ⑪公式ガイドブック ⑫公式プレイベント（ファンラン、ごちそうマラソン）の開催 ⑬ニックネーム入りナンバーカード ⑭ランナー盛り上げ隊！

20. 大阪マラソンの盛り上げの取り組みについて、良かったものは何ですか？（複数回答可）

①コブクロによる公式テーマソング ②地下鉄・駅での公式テーマソングを使った車内・構内放送 ③森脇健児応援団長 ④わくわく写真館（写真投稿サイト） ⑤7色応援ステーション（コース沿道7か所でバルーンを揚げるなど虹の7色を演出） ⑥おもしろ応援ボードを使った応援 ⑦7色ハイタッチ手袋を使った応援 ⑧7色応援スタイル（チャリティカラーのグッズを身に着ける） ⑨御堂筋のバナー ⑩大会ポスター ⑪公式ガイドブック ⑫公式プレイベント（ファンラン、ご

ちそうマラソン) の開催 ⑬ニックネーム入りナンバーカード ⑭ランナー盛上げ隊!

21. 前日 (25 日あるいは 24 日) は大阪で何をしましたか? (複数回答可)
- ①大阪マラソン EXPO2014 のイベントを楽しんだ ②大阪名物を飲食した ③大阪市内観光をした
④大阪府内の観光をした ⑤近郊区 (京都、奈良、兵庫など) の観光をした ⑥買い物 (お土産など)
をした ⑦USJ などの娯楽 (アミューズメント) 施設に行った ⑧お笑いなどの演芸を見た ⑨文楽
などの古典芸能を見た ⑩スポーツを見た ⑪美術館・博物館などの文化施設に行った ⑫仕事、学
校へ行った ⑬何もしなかった ⑭その他 ()
22. 当日 (26 日) のマラソンのあとは何をしましたか? (複数回答可)
- ①大阪マラソン EXPO2014 の屋台で飲食をした ②家族・仲間と大阪市内へ飲食に行った ③大阪
市内観光をした ④大阪府内の観光をした ⑤近郊区 (京都、奈良、兵庫など) の観光をした
⑥買い物 (お土産など) をした ⑦USJ などの娯楽 (アミューズメント) 施設に行った ⑧お笑いな
どの演芸を見た ⑨文楽などの古典芸能を見た ⑩スポーツを見た ⑪美術館・博物館などの文化施
設に行った ⑫すぐに自宅・ホテルに帰った ⑬その他 ()
23. 翌日 (27 日) は何をしましたか? (複数回答可)
- ①仕事・学校に行った ②休暇をとり体をやすめた ③大阪名物を飲食した ④大阪市内観光をした
⑤大阪府内の観光をした ⑥近郊区 (京都、奈良、兵庫など) の観光をした ⑦買い物 (お土産など)
をした ⑧USJ などの娯楽 (アミューズメント) 施設に行った ⑨お笑いなどの演芸を見た ⑩文楽
などの古典芸能を見た ⑪スポーツを見た ⑫美術館・博物館などの文化施設に行った ⑬その他
()
24. あなたは、この 1 年間でマラソンのために概算でどれだけの経費を使いましたか? (ウエア、シ
ューズの購入など事前準備費用、宿泊交通費、食費、お土産など滞在期間中の費用一切。参加料は除
く)
- ①5 万円未満 ②5 万円以上 10 万円未満 ③10 万円以上 15 万円未満 ④15 万円以上 20 万円未満
⑤20 万円以上 30 万円未満 ⑥30 万円以上 50 万円未満 ⑦50 万円以上
25. 第 5 回大阪マラソンへ応募しますか?
- ①必ず応募する ②たぶん応募する ③たぶん応募しない ④応募しない
26. 25 の質問で③④と答えた方に伺います。応募されない理由は何ですか? (複数回答可)
- ①今回走って満足した ②他の大会へ出てみたい ③体力的にきつかった ④大阪マラソンが良く
なかった
27. あなたはこの 1 年間にどのくらいマラソン大会 (ハーフマラソン以上) へ出場されましたか?
- ①大阪マラソンのみ ②2 回以上 5 回未満 ③5 回以上 10 回未満 ④10 回以上
28. 今後 1 年間、マラソン大会 (ハーフマラソン以上) にどのくらいの頻度で出場する予定ですか? (複
数回答可)
- ①今と同じペースで出場する ②国内の大会での出場回数を増やす ③もっと長距離の大会 (トレ
イルラン、ウルトラマラソン、トライアスロン) へ出場する ④海外マラソンへの出場を増やす
⑤今後出場しない

<大会について>

29. 大会について、どのように思われますか？ 次の項目について（○良いと思った ○まあまあ良いと思った ○あまり良くないと思った ○良くないと思った）の4段階で評価してください。また、「良くないと思った」とお答えの方は、差支えがなければその内容についてお書きください。

<p>①大会公式ホームページや公式メルマガ、公式フェイスブックなど主催者からの情報発信はどうでしたか？</p>	<p>○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。 ()</p>
<p>②大阪マラソン EXPO2014 はどうでしたか？</p>	<p>○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。 ()</p>
<p>③スタートセレモニーはどうでしたか？</p>	<p>○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。 ()</p>
<p>④沿道の給水はどうでしたか？</p>	<p>○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。 ()</p>
<p>⑤給水の紙コップをごみ箱へ投入していただく取り組みはどうでしたか？</p>	<p>○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。 ()</p>
<p>⑥沿道の給食はどうでしたか？</p>	<p>○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。 ()</p>
<p>⑦32.5km 地点の給食（まいどエイド）はどうでしたか？</p>	<p>○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。 ()</p>

<p>⑧トイレの設置はどうでしたか？</p>	<p>○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。 ()</p>
<p>⑨救護についてはどうでしたか？</p>	<p>○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。 ()</p>
<p>⑩コース途中の案内表示はどうでしたか？</p>	<p>○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。 ()</p>
<p>⑪ランナー盛上げ隊（沿道の音楽やダンスの応援パフォーマンス）はどうでしたか？</p>	<p>○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。 ()</p>
<p>⑫コース沿道に設けた7色応援ステーションはどうでしたか？</p>	<p>○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。 ()</p>
<p>⑬ボランティアの対応はいかがでしたか？</p>	<p>○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。 ()</p>
<p>⑭記念品（タオル、メダル等）はどうでしたか？</p>	<p>○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。 ()</p>

上記以外に大会運営についてご意見があればお書きください。(自由記述)

--

<チャリティについて>

30. どのテーマにチャリティしましたか？(複数回答可)

- ①生きる希望を育てる(赤色) ②夢を支える(オレンジ色) ③家族を支える(黄色) ④自然を支える(緑色) ⑤きれいな水を支える(水色) ⑥子どもの未来を支える(紺色) ⑦美しいまちを支える(紫色)

31. そこに決めたのはなぜですか？(複数回答可)

- ①テーマに関心があったから ②寄付先団体の活動に関心があったから ③自分のしていることに関係があったから ④知っている人がいたから ⑤チャリティTシャツのデザインがよかったから ⑥なんとなく ⑦その他()

32. チャリティは何口しましたか？()口

33. 大阪マラソンのチャリティの取り組みについて、スタートまでにすでに知っていたものは何ですか？(複数回答可)

- ①7つのチャリティーカラーとテーマ ②チャリティランナー(大阪マラソンチャリティ活動への理解を深め、寄付先団体を支援し70000円以上の寄付を集める) ③なないろチャリティTシャツ ④チャリティアンバサダー(チャリティの趣旨に賛同し、PRに協力する各界著名人) ⑤売上の一部が寄付される「ニックネーム入りナンバーカード」 ⑥7色応援チャリティグッズ(一定額以上のチャリティ募金にご協力いただいた方へお渡し) ⑦その他()

34. チャリティTシャツは購入されましたか？ ①購入した ②購入しなかった ③知らなかった

35. ニックネーム入りナンバーカードは購入されましたか？ ①購入した ②購入しなかった ③知らなかった

36. チャリティについて、どのように思われますか？次の項目について(○良いと思った ○まあまあ良いと思った ○あまり良くないと思った ○良くないと思った)の4段階で評価してください。また、「良くないと思った」とお答えの方は、差支えがなければその内容についてお書きください。

<p>①大阪マラソンのチャリティの取り組みについて</p>	<p>○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。 ()</p>
<p>②チャリティの広報について</p>	<p>○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。 ()</p>

<p>③自分の選んだチャリティカラーのナンバーカードやチャリティ T シャツを身に着けて走る ことについて</p>	<p>○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。 ()</p>
<p>④寄付先団体の目的や活動を明確にしていることについて</p>	<p>○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。 ()</p>
<p>⑤大阪マラソン EXPO2014 でチャリティ団体コーナーを設けていることについて</p>	<p>○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。 ()</p>
<p>⑥寄付先団体コーナーでの団体の広報について</p>	<p>○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。 ()</p>
<p>⑦チャリティアンバサダーを置くことについて</p>	<p>○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。 ()</p>
<p>⑧チャリティランナーの制度について</p>	<p>○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。 ()</p>

上記以外で、チャリティについてのご意見があれば、ご自由にお書きください。

<大阪マラソンへの要望>

大会に関してご意見があれば、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。



走って支えて皆が主役



第4回大会 本社・関西大共同調査

国内外から集まった約3万人のランナーが秋晴れの大坂市内を駆け抜けた第4回大阪マラソン(昨年10月26日、読売新聞社共催)。読売新聞と関西大の共同調査では、前年より2倍超に増えた海外ランナーたちが、大阪らしい温かな応援を満喫した姿が浮かんだ。チャリティーランナーも出場枠が拡大され、趣旨に賛同した人々が募金活動に励んだ。第5回は全体の定員が3万2000人に増え、10月25日に開かれる。〈本記事38面〉

一般ランナー

大阪マラソンを走ろうと思った理由は

大坂で開催される大会だから	80
沿道の応援が楽しいから	46
コースがよいから	46
沿道の観衆が多いから	36
国内最大級の大会だから	34
時期がよいから	23
制限時間	4
TVなどに映るから	4
その他	7

第5回大阪マラソンに応募しますか

応募しない	2
たぶん応募しない	7
必ず応募する	71
たぶん応募する	20

チャリティーランナー

参加理由

「大いに関係ある」「まあまあ関係ある」の合計が多い	94%
「大いに関係ある」	52%
「まあまあ関係ある」	42%
「あまり関係ない」「まったく関係ない」	6%

寄付先団体の趣旨や活動に興味があったから

94%
56%
38%

大阪マラソンのチャリティー活動を盛り上げた

87%
33%
54%

募金活動はどのようにしましたか

知人・友人にお願いした	42%
家族・親戚にお願いした	36%
何もなかった	36%
SNSを活用してお願いした	32%
街頭(社内・学内含む)募金	5%
募金のためのイベントを開いた	2%
その他	4%

海外ランナー

海外での市民マラソン参加経験

今年大阪が初めて	11%
1-5回	48%
6-10回	38%
11-15回	1%
16-20回	1%
21回以上	1%

参加目的

「大いに関係ある」「まあまあ関係ある」の合計が多い	93%
「大いに関係ある」	62%
「まあまあ関係ある」	31%
「あまり関係ない」「まったく関係ない」	7%

参加後の感想

「まったくそう思う」「まあまあ思う」の合計が多い	99%
「まったくそう思う」	68%
「まあまあ思う」	31%
「あまり思わない」「まったく思わない」	1%

第4回大会は、約3万人のランナーが参加し、大阪市内を駆け抜けた。沿道の応援が、ランナーたちにとって大きな励みとなった。また、チャリティーランナーの増加も、大会の盛り上げに大きく貢献した。

チャリティーランナーの増加は、大阪マラソンの社会的意義を高めることに貢献している。多くのランナーが、寄付先団体の活動に興味を持ち、積極的に参加している。これは、大阪マラソンが単なるスポーツイベントを超え、社会貢献の場となっていることを示している。

海外ランナーの増加は、大阪マラソンの国際的な認知度を高めることに貢献している。多くの海外ランナーが、大阪の街並みや沿道の応援を堪能し、大阪マラソンを最高の体験として記憶している。これは、大阪マラソンが国際的なスポーツイベントとして確立していることを示している。

大阪、ありがとう★口コミで広めたい★「金額より人数」目標

海外ランナーと、チャリティーランナーから寄せられた感想を紹介する。

【海外ランナー】
★素晴らしい大会でした。人々がとてもフレンドリーで、大会はよく準備されており、楽しいコースでした。大阪、ありがとう。(香港)
★海外ランナーに大阪の良さをどんどんアピールし、東京に負けない大会に育ててください。教員ながら、友人に大阪の良さ、楽しさを口コミで広めたいと思います。(米国)

金額より人数」目標をチャレンジしました。うれしいことに100人以上の方から寄付をいただきました。

★やはり7万円は高額なので、本当に集まるかどうか不安でした。身近な人たちから寄付の協力をもらっただけでもうれしいのですが、知り合いではない方からも寄付をいただいた時は、うれしさが倍でなく、驚きもありました。

【チャリティーランナー】
★満足していますが、初参加でチャリティーの方法が勉強不足のため、(自分以外に)寄付を集めることができませんでした。取り組み方がわからなかったと周知してもらえるとありがたいです。

「おせっかいな沿道象徴的」にも調査を実施しました。アンケート理由を「沿道の応援が楽しい」と聞いたランナーは約7割です。また、「大阪の街並みや沿道の応援が楽しかった」と聞いたランナーも約7割です。これは、大阪マラソンが単なるスポーツイベントを超え、大阪の街並みや沿道の応援を楽しむことができるイベントとなっていることを示している。

観客

これまでの大阪マラソンへの参加は

30	観客として参加
24	テレビで見ていた
15	関心があった
9	マラソンランナーとして参加
7	ランナーの増進に外れた(大会当日)
4	ボランティアとして参加
2	チャレンジに参加
10	その他

大阪での滞在日数は

大会当日のみ(1日)	53
前日と当日(2日)	11
当日と翌日(2日)	3
前日と翌日(3日)	2
前々日から当日(3日)	3
その他	28

第4回は約30万人の観客が沿道から応援した。調査の結果、大阪市内から来たランナーは約7割、海外からは約3割だった。また、沿道の応援が楽しかったという声が多く聞かれた。これは、大阪マラソンが単なるスポーツイベントを超え、大阪の街並みや沿道の応援を楽しむことができるイベントとなっていることを示している。

調査の責任者 杉本厚夫教授

(関西大人間健康学部長)

「おせっかいな沿道象徴的」にも調査を実施しました。アンケート理由を「沿道の応援が楽しい」と聞いたランナーは約7割です。また、「大阪の街並みや沿道の応援が楽しかった」と聞いたランナーも約7割です。これは、大阪マラソンが単なるスポーツイベントを超え、大阪の街並みや沿道の応援を楽しむことができるイベントとなっていることを示している。

チャリティーランナー

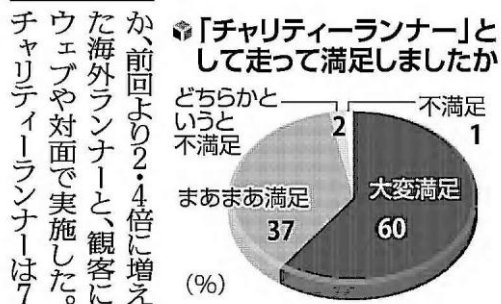
「満足」97%

本社・関大調査

調査は一般ランナー、チャリティーランナーのほ



昨年10月26日に開かれた第4回大阪マラソン（読売新聞社共催）について、読売新聞社と関西大がランナーを対象に実施した共同調査の間報告がまとまった。寄付金を集め出場するチャリティーランナーの満足度は97%、一般ランナーの満足度は93%に上った。〈詳報22面〉



か、前回より2.4倍に増えた海外ランナーと、観客にウェブや対面で実施した。チャリティーランナーは7万円以上の寄付を広く集めて出場権が得られる制度で、第4回から本格的に運営され達成者は375人。満足度を尋ねたところ「大変満足」は60%、「まあまあ満足」は37%だった。一般ランナーでは「大変満足」は51%、「まあまあ満足」は42%となった。また、大会当日、観客に「チャリティーの寄付をしたか」を聞くと、「した」

と答えた人は25%、4人に1人に上っていた。第5回大阪マラソンは10月25日に開催。ランナーの参加申し込みは4月6日から始まる。

調査研究スタッフ

<関西大学スタッフ>

調査・報告書作成: 人間健康学部 杉本厚夫及びゼミ生

<読売新聞社スタッフ>

編集特集制作: 読売新聞大阪本社 編集局

調査実施・調整: 読売新聞大阪本社 広告局